```
[Check]
                                                                                                                        Ver. 1. 10 2016/11/30
     \bigcirc
 20
           【想定するサーバのスペックとネットワーク構成】
     \bigcirc
 30
 40
     \bigcirc
          CPU: 2Core 以上
          Memory: 2GB 以上
                                                      この手順書では、
                                                                        2GB にて例示
     \bigcirc
 50
     \bigcirc
          DVD ドライブ: 1台
 60
                            (1st Disk, OS 用)
                                                   ※
 70
     \bigcirc
          HDD 1: 8GB 以上
                                                       この手順書では、 40GB にて例示
 80
     \bigcirc
          HDD 2: 1GB 以上
                            (swap 用)
                                                   *
                                                       この手順書では、 1GB にて例示
                            (2nd Disk, データ用)
                                                   ※ この手順書では、100GB にて例示
 90
     \bigcirc
         HDD 3: 1GB 以上
         HDD 4: 1GB 以上
                            (3rd Disk, データ用)
                                                   *
                                                      この手順書では、100GB にて例示
100
     \bigcirc
                            (4th Disk, データ用)
                                                   ※ この手順書では、100GB にて例示
         HDD 5: 1GB 以上
110
     \bigcirc
120
         HDD 6: 1GB 以上 (5th Disk, データ用) ※ この手順書では、100GB にて例示
     \bigcirc
         NIC 1: 1Gbps 以上、サービス用セグメント
                                                           (IBM Bluemix(SoftLayer) では Private VLAN) へ接続
130
     \bigcirc
         NIC 2: 1Gbps 以上、インターコネクト用セグメント (IBM Bluemix (SoftLayer) では Public VLAN) へ接続
140
     \bigcirc
          NIC 3: 1Gbps 以上、サービス用セグメント (IBM Bluemix(SoftLayer) では Private VLAN) へ接続
150
     \bigcirc
          NIC 4: 1Gbps 以上、インターコネクト用セグメント (IBM Bluemix(SoftLayer) では Public VLAN) へ接続
160
     \bigcirc
     \bigcirc
170
     \bigcirc
180
                                                                                                           [インターコネクト・セグメント]
                         (eth1, eth3) bond1
     \bigcirc
                                               クラスタ ID: 1
190
                                                                          bond1 (eth1, eth3)
                                                                                                                          192. 168. 1. 0/24
     \bigcirc
200
                                                                                                                                MTU: 9000
              iscsitgt01a.example.com
                                                                              iscsitgt01s.example.com
     \bigcirc
210
     \bigcirc
220
                                                                                                                       InitiatorName:
     \bigcirc
                   1st Disk: OS
                                                                                  1st Disk: OS
230
                                                               Oracle Linux 7.3
                                    Oracle Linux 7.3
                                                                                                          /dev/sda
                                                                                                                            initiator01
     \bigcirc
240
                                                                                                                            initiator02
                                                                                       Swap Disk
250
     \bigcirc
                   Swap Disk
                                                                                                                            initiator03
                                                                                                          /dev/sdb
     \bigcirc
260
                                                                                                                            initiator04
     \bigcirc
                                 LVM(vg0)
270
                   2nd Disk
                                                                          LVM(vg0)
                                                                                       2nd Disk
                                                                                                          /dev/sdc
280
     \bigcirc
                   3rd Disk
                                                                                        3rd Disk
                                                                                                          /dev/sdd
                                     DRBD
                                                                          DRBD
                                                                                                                      NTP1: 10. 0. 77. 54
     \bigcirc
290
                   4th Disk
                                 LVM(vg1)
                                                                          LVM(vg1)
                                                                                       4th Disk
                                                                                                          /dev/sde
                                                                                                                      NTP2:
     \bigcirc
300
                   5th Disk
                                                                                       5th Disk
                                                                                                          /dev/sdf
                                                                                                                      NTP3:
     \bigcirc
310
                                     iSCSI
                                                                         iSCSI
                                                                                                                      NTP4:
320
     \bigcirc
                                  1un0, 1, 2, 3
                                                                       1un0, 1, 2, 3
     \bigcirc
330
                                   Snapshot
                                                                        Snapshot
                                                                                                           Router
                                                                                                                      DNS1: 10, 0, 80, 11
     \bigcirc
340
                                                                                                               . 1
                                                                                                                      DNS2: 10.0.80.12
350
     \bigcirc
                                      .57
                                                                          .58
                                               VIP
                                                                                                                   [サービス・セグメント]
                                                                          bond0 (eth0, eth2)
     \bigcirc
                         (eth0, eth2) bond0
360
                                               .59
     \bigcirc
370
                                                                                                                          10. 110. 88. 0/26
                                               iscsitgt01.example.com
380
     \bigcirc
                                                                                                                                MTU: 9000
     \bigcirc
```

390

400

 \bigcirc

```
※ 当文書内で緑色にした部分は、環境に合わせて読み替えたり、カスタマイズ(名前を変えたり、実行するしないを選択)
410
              する部分を表します。ただし、日付や注目していない UUID 等は除きます。
420
430
           ※ IBM Bluemix(SoftLaver) のベアメタルサーバで NIC を冗長化した場合、
440
               「NIC 1 (eth0)」と「NIC 3 (eth2)」、「NIC 2 (eth1)」と「NIC 4 (eth3)」が LAG で束ねられています。
450
             本手順書では、LAG の設定がない前提としますが、LAG 対応させるための設定方法は注記しておきます。
460
           ※ IBM Bluemix (SoftLayer) の仮想サーバは、ベアメタルサーバと比較して、主に以下の相違点があります。
470
               ・ 「NIC 3」と 「NIC 4」を追加できません。
480
               ・MTU は 1500 までしかサポートされません。
490
               ・ローカルストレージのデバイス名が異なります。
500
510
        【共有ストレージの構成】
520
    \bigcirc
530
       /dev/sdc
                         LVM 物理ボリューム
540
    \bigcirc
550
    \bigcirc
       /dev/sdd
                        LVM 物理ボリューム
                        LVM 物理ボリューム
560
    \bigcirc
       /dev/sde
    \bigcirc
       /dev/sdf
                        LVM 物理ボリューム
570
                        LVM ボリュームグループ
580
    \bigcirc
       vg0
590
   \bigcirc
       /dev/vg0/1v-drbd0
                        LVM 論理ボリューム(DRBD 用ブロックデバイスとして使用)
                        DRBD リソース(LVM 物理ボリュームとして使用)
    \bigcirc
       /dev/drbd0
600
   \bigcirc
                         610
       vg1
                        DRBD 上の LVM 論理ボリューム (LUN としてエクスポート)
       /\text{dev}/\text{vg1}/1\text{v}-1\text{un0000}
620
    \bigcirc
                        DRBD 上の LVM 論理ボリューム (LUN としてエクスポート)
       /\text{dev}/\text{vg1}/1\text{v}-1\text{un}0001
630
    \bigcirc
                         DRBD 上の LVM 論理ボリューム (LUN としてエクスポート)
640
    \bigcirc
       dev/vg1/1v-1un0002
                         DRBD トの LVM 論理ボリューム (LIN としてエクスポート)
650
    \bigcirc
       dev/vg1/1v-1un0003
660
670
```

```
\bigcirc
          【OS のインストールと初期設定】
680
690
         インストーラを DVD ドライブにセットし、サーバを起動します。
700
710
720 a, s
         # V834394-01. iso (Oracle Linux 7.3)
730
         インストーラの起動メニューが表示されたら60秒以内に「Tab」キーを押下します。
740
     \bigcirc
750
760 a, s
         # Tab
770
         起動オプションを以下のように編集し、「Enter」キーを押下します。
780
790
         # vmlinuz ··· rd. live. check quiet
800 a, s
810 a, s
820 a, s
         # vmlinuz ··· net.ifnames=0 biosdevname=0 selinux=0 vconsole.keymap=jp106
830
             ※ 英語キーボードとして認識されている状態なので、「=」を入力するには「^」を押下します。
840
850
         anaconda の「Welcome」画面が出てきたら「Ctrl + Alt + F3」キーを押下し、シェルに移行します。
860
870
880 a, s
         \# Ctrl + Alt + F3
890
          [anaconda root@localhost /]#
900
         HDD の情報を確認します。
910
     \bigcirc
920
930 a, s
         fdisk -1 | grep Disk | sort
         Disk /dev/mapper/live-base: 2147 MB, 2147483648 bytes, 4194304 sectors
940
         Disk /dev/mapper/live-rw: 2147 MB, 2147483648 bytes, 4194304 sectors
950
960
         Disk /dev/sda: 42.9 GB, 17179869184 bytes, 33554432 sectors
970
         Disk /dev/sdb: 1073 MB, 1073741824 bytes, 2097152 sectors
980
         Disk /dev/sdc: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
         Disk /dev/sdd: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
990
1000
         Disk /dev/sde: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
         Disk /dev/sdf: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
1010
1020
         パーティションを作成します。
1030
     \bigcirc
1040
         fdisk -H 64 -S 32 /dev/sda
1050 a, s
1060
         Welcome to fdisk (util-linux 2.23.2).
1070
```

```
1080
           Changes will remain in memory only, until you decide to write them.
1090
           Be careful before using the write command.
1100
1110
           Device does not contain a recognized partition table
           Building a new DOS disklabel with disk identifier 0x2a058c02.
1120
1130
1140 a, s
           Command (m for help): o
1150
           Building a new DOS disklabel with disk identifier 0xc9c2368a.
1160
           Command (m for help): n
1170 a, s
1180
           Partition type:
1190
                  primary (0 primary, 0 extended, 4 free)
1200
                  extended
           Select (default p): [Enter]
1210 a, s
1220
           Using default response p
           Partition number (1-4, default 1): [Enter]
1230 a, s
           First sector (2048-83886079, default 2048): [Enter]
1240 a, s
1250
           Using default value 2048
1260 a, s
           Last sector, +sectors or +size (K, M, G) (2048-83886079, default 83886079): +500M
1270
           Partition 1 of type Linux and of size 500 MiB is set
1280
           Command (m for help): a
1290 a, s
1300
           Selected partition 1
1310
1320 a, s
           Command (m for help): n
1330
           Partition type:
                  primary (1 primary, 0 extended, 3 free)
1340
1350
                  extended
           Select (default p): [Enter]
1360 a, s
           Using default response p
1370
           Partition number (2-4, default 2): [Enter]
1380 a, s
           First sector (1026048-83886079, default 1026048): [Enter]
1390 a, s
1400
           Using default value 1026048
           Last sector, +sectors or +size {K, M, G} (1026048-83886079, default 83886079): [Enter]
1410 a, s
           Using default value 83886079
1420
           Partition 2 of type Linux and of size 39.5 GiB is set
1430
1440
           Command (m for help): p
1450 a, s
1460
1470
           Disk /dev/sda: 42.9 GB, 42949672960 bytes, 83886000 sectors
```

```
1480
           Units = sectors of 1 * 512 = 512 bytes
           Sector size (logical/physical): 512 bytes / 512 bytes
1490
1500
           I/O size (minimum/optimal): 512 bytes / 512 bytes
1510
           Disk label type: dos
1520
           Disk identifier: 0xc9c2368a
1530
1540
              Device Boot
                                Start
                                              End
                                                       Blocks
                                                                Id System
1550
           /dev/sda1
                                 2048
                                          1026047
                                                       512000
                                                                 83 Linux
1560
           /dev/sda2
                              1026048
                                         83886079
                                                     41430016
                                                                83 Linux
1570
           Command (m for help): w
1580 a, s
1590
           The partition table has been altered!
1600
1610
           Calling ioctl() to re-read partition table.
1620
           Syncing disks.
1630
           fdisk -H 64 -S 32 /dev/sdb
1640 a, s
1650
           Welcome to fdisk (util-linux 2.23.2).
1660
1670
           Changes will remain in memory only, until you decide to write them.
1680
           Be careful before using the write command.
1690
1700
           Device does not contain a recognized partition table
1710
           Building a new DOS disklabel with disk identifier 0x2a058c02.
1720
1730 a, s
           Command (m for help): o
1740
           Building a new DOS disklabel with disk identifier 0xb3afd860.
1750
1760 a, s
           Command (m for help): n
1770
           Partition type:
                  primary (0 primary, 0 extended, 4 free)
1780
1790
                  extended
           Select (default p): [Enter]
1800 a, s
1810
           Using default response p
           Partition number (1-4, default 1): [Enter]
1820 a, s
           First sector (2048-2097151, default 2048): [Enter]
1830 a, s
1840
           Using default value 2048
           Last sector, +sectors or +size {K, M, G} (2048-2097151, default 2097151): [Enter]
1850 a, s
1860
           Using default value 2097151
1870
           Partition 1 of type Linux and of size 1023 MiB is set
```

```
1880
1890 a, s
           Command (m for help): t
1900
           Selected partition 1
           Hex code (type L to list all codes): 82
1910 a, s
           Changed type of partition 'Linux' to 'Linux swap / Solaris'
1920
1930
           Command (m for help): p
1940 a, s
1950
1960
           Disk /dev/sdb: 1073 MB, 1073741824 bytes, 2097152 sectors
1970
           Units = sectors of 1 * 512 = 512 bytes
1980
           Sector size (logical/physical): 512 bytes / 512 bytes
1990
           I/O size (minimum/optimal): 512 bytes / 512 bytes
           Disk label type: dos
2000
2010
           Disk identifier: 0xb3afd860
2020
2030
              Device Boot
                                             End
                                                               Id System
                               Start
                                                      Blocks
                                                      1047552
2040
           /dev/sdb1
                                2048
                                          2097151
                                                                82 Linux swap / Solaris
2050
2060 a, s
           Command (m for help): w
           The partition table has been altered!
2070
2080
2090
           Calling ioctl() to re-read partition table.
2100
           Syncing disks.
2110
2120 a, s
           fdisk -1 | grep /dev/ | sort
2130
           /dev/sda1
                                 2048
                                          1026047
                                                                83 Linux
                                                       512000
                             1026048
                                                                83 Linux
2140
           /dev/sda2
                                         83886079
                                                     41430016
2150
           /dev/sdb1
                                 2048
                                         2097151
                                                      1047552
                                                                82 Linux swap / Solaris
2160
           Disk /dev/mapper/live-base: 2147 MB, 2147483648 bytes, 4194304 sectors
2170
           Disk /dev/mapper/live-rw: 2147 MB, 2147483648 bytes, 4194304 sectors
2180
           Disk /dev/sda: 42.9 GB, 42949672960 bytes, 83886080 sectors
2190
           Disk /dev/sdb: 1073 MB, 1073741824 bytes, 2097152 sectors
2200
           Disk /dev/sdc: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
2210
           Disk /dev/sdd: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
2220
           Disk /dev/sde: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
2230
           Disk /dev/sdf: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
2240
2250
            「Ctrl + Alt + F6」キーを押下し、anaconda の「welcome」画面に戻ります。
      \bigcirc
2260
2270 a, s
           # Ctrl + Alt + F6
```

```
2280
          「English (United States)」が選択されていることを確認し、「Continue」を選択します。
2290
     \bigcirc
2300
         # Continue
2310 a, s
2320
2330
          「DATE & TIME」を選択し、「Asia / Tokyo」を選択します。
2340
         # DATE & TIME: Asia / Tokyo
2350 a, s
2360
          「KEYBOARD」を選択し、「Japanese (OADG 109A)」のみ選ばれているように選択します。
2370
2380
         # KEYBOARD: Japanese (OADG 109A)
2390 a, s
2400
          「INSTALLATION DESTINATION」を選択し、以下のように設定します。
2410
2420
2430
           デバイス名 FS
                          MountPoint ラベル
         # /dev/sdal xfs /boot
2440 a, s
                                 /boot
        # /dev/sda2 xfs /
2450 a, s
2460 a, s
         # /dev/sdb1 swap
                                 swap
2470
          「Begin Install」を選択します。
2480
2490
2500 a, s
         # Begin Install
2510
          「ROOT PASSWORD」を選択し、パスワードを設定します。
2520
2530
         # ROOT PASSWORD: *****
2540 a, s
2550
          「Reboot」ボタンが表示されるのを待ち、「Reboot」を選択します。
2560
2570
2580 a, s
         # Reboot
2590
         再起動処理中に Eject されたインストーラをDVDドライブから取り外します。
2600
2610
2620 a, s
         # Eject DVD
2630
         再起動完了後、コンソールにてログインします。
2640
     \bigcirc
2650
2660
         Oracle Linux Server 7.3
         Kernel 4. 1. 12-61. 1. 18. el7uek. x86_64 on an x86_64
2670
```

```
2680
2690 a, s
          localhost login: root
          Password: ******
2700 a, s
          [root@localhost ~] #
2710
2720
          MAC アドレスを確認します。
2730
     \bigcirc
2740
2750 a, s
          ip addr show
2760
          1: lo: <LOOPBACK, UP, LOWER UP> mtu 65536 qdisc noqueue state UNKNOWN
2770
             link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00
2780
             inet 127.0.0.1/8 scope host lo
                valid_lft forever preferred_lft forever
2790
2800
             inet6 ::1/128 scope host
                valid lft forever preferred lft forever
2810
2820
          2: eth0: <BROADCAST, MULTICAST, UP, LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP qlen 1000
2830
             link/ether 00:0c:29:08:b8:5f brd ff:ff:ff:ff:ff
2840
          3: eth1: <BROADCAST, MULTICAST, UP, LOWER UP> mtu 1500 qdisc mq state UP qlen 1000
2850
             link/ether 00:0c:29:08:b8:41 brd ff:ff:ff:ff:ff
2860
          4: eth2: <BROADCAST, MULTICAST, UP, LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP qlen 1000
2870
             link/ether 00:0c:29:08:b8:4b brd ff:ff:ff:ff:ff
2880
          5: eth3: <BROADCAST, MULTICAST, UP, LOWER UP> mtu 1500 qdisc mg state UP glen 1000
2890
             link/ether 00:0c:29:08:b8:55 brd ff:ff:ff:ff:ff
2900
         MAC アドレスをもとに、 LAN ケーブルの結線(組み合わせ)を設計通りに修正します。
2910
2920
2930
                 この後の手順で、NIC デバイス名の方を入れ替えても構いません。
2940
2950
          IP アドレスを一時的に設定します。
2960
2970
         ip addr add 10.110.88.57/26 dev eth0
2980
         ip addr add 10.110.88.58/26 dev eth0
2990
3000
              ※ デバイス名が意図するものとずれている場合、デバイス名は適宜変更する必要があります。
3010
3020
          必要に応じて、デフォルトゲートウェイを一時的に設定します。
3030
3040
3050
          ip route add default via 10.110.88.1
3060
          root にて、ssh でログインします。
3070
```

```
3080
3090
           ssh root@10, 110, 88, 57
           The authenticity of host '10.110.88.57 (10.110.88.57)' can't be established.
3100
3110
           ECDSA kev fingerprint is 95:bc:49:71:b2:a3:dd:ab:63:ad:35:e4:fe:4d:fc:82.
3120
          Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
           Warning: Permanently added '10.110.88.57' (ECDSA) to the list of known hosts.
3130
3140
          root@10.110.88.57's password: ******
3150
           Last login: Sat Oct 29 18:33:24 2016
3160
3170
          ssh root@10.110.88.58
           The authenticity of host '10.110.88.58 (10.110.88.58)' can't be established.
3180
           ECDSA kev fingerprint is 8f:f6:81:0f:44:e1:83:d5:0a:9d:3f:90:7c:3e:93:73.
3190
3200
          Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
           Warning: Permanently added '10.110.88.58' (ECDSA) to the list of known hosts.
3210
3220
          root@10.110.88.58's password: ******
3230
           Last login: Sat Oct 29 18:33:24 2016
3240
           ストレージの情報を確認します。
3250
3260
           fdisk -1 | grep /dev/ | sort
3270 a, s
3280
           /dev/sda1
                                2048
                                         1026047
                                                      512000
                                                               83 Linux
3290
           /dev/sda2
                             1026048
                                        83886079
                                                    41430016
                                                               83 Linux
           /dev/sdb1
                                2048
                                                     1047552
3300
                                         2097151
                                                               82 Linux swap / Solaris
           Disk /dev/sda: 42.9 GB, 42949672960 bytes, 83886080 sectors
3310
3320
           Disk /dev/sdb: 1073 MB, 1073741824 bytes, 2097152 sectors
3330
           Disk /dev/sdc: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
3340
           Disk /dev/sdd: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
3350
           Disk /dev/sde: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
           Disk /dev/sdf: 107.4 GB. 107374182400 bytes. 209715200 sectors
3360
3370
3380 a, s
           blkid
3390
           /dev/sda2: LABEL="/" UUID="6fa3bde3-dc77-461d-8ae4-5a6ea5efba4c" TYPE="xfs"
           /dev/sda1: LABEL="/boot" UUID="11b16718-fa37-4aed-baff-2b643304e705" TYPE="xfs"
3400
           /dev/sdb1: LABEL="swap" UUID="d561d285-585b-4790-9690-1b55598de94b" TYPE="swap"
3410
3420
3430 a, s
           cat /etc/fstab
3440
3450
           # /etc/fstab
3460
           # Created by anaconda on Fri Nov 25 11:55:06 2016
3470
```

```
# Accessible filesystems, by reference, are maintained under '/dev/disk'
3480
           # See man pages fstab(5), findfs(8), mount(8) and/or blkid(8) for more info
3490
3500
3510
           UUID=6fa3bde3-dc77-461d-8ae4-5a6ea5efba4c /
                                                                             xfs
                                                                                     defaults
                                                                                                     0 \quad 0
3520
           UUID=11b16718-fa37-4aed-baff-2b643304e705 /boot
                                                                             xfs
                                                                                     defaults
                                                                                                     0 0
3530
           UUID=d561d285-585b-4790-9690-1b55598de94b swap
                                                                                     defaults
                                                                                                     0 0
                                                                             swap
3540
           キーボード、ロケールの情報を確認します。
3550
3560
3570 a, s
           cat /etc/vconsole.conf
           KEYMAP="jp-OADG109A"
3580
           FONT="latarcyrheb-sun16"
3590
3600
           cat /etc/locale.conf
3610 a, s
           LANG="en US. UTF-8"
3620
3630
           localectl status
3640 a, s
              System Locale: LANG=en US. UTF-8
3650
3660
                  VC Keymap: jp-OADG109A
3670
                 X11 Layout: jp
                X11 Variant: OADG109A
3680
3690
           タイムゾーンの情報を確認します。
3700
      3710
           cat /etc/adjtime
3720 a, s
3730
           0.000.0
3740
              0
           UTC
3750
3760
3770 a, s
           hwclock --debug
3780
           hwclock from util-linux 2.23.2
           Using /dev interface to clock.
3790
3800
           Last drift adjustment done at 0 seconds after 1969
3810
           Last calibration done at 0 seconds after 1969
           Hardware clock is on UTC time
3820
           Assuming hardware clock is kept in UTC time.
3830
3840
           Waiting for clock tick...
3850
           ...got clock tick
           Time read from Hardware Clock: 2016/11/25 04:31:00
3860
           Hw clock time: 2016/11/25 04:31:00 = 1480048260 seconds since 1969
3870
```

```
Fri 25 Nov 2016 01:31:00 PM JST -0.239477 seconds
3880
3890
3900 a, s
          ls -1 /etc/localtime
3910
          lrwxrwxrwx 1 root root 32 Nov 25 11:58 /etc/localtime -> .../usr/share/zoneinfo/Asia/Tokyo
3920
3930 a, s
          timedatectl status
                Local time: Fri 2016-11-25 13:31:44 JST
3940
3950
            Universal time: Fri 2016-11-25 04:31:44 UTC
3960
                  RTC time: Fri 2016-11-25 04:31:43
3970
                 Time zone: Asia/Tokyo (JST, +0900)
3980
               NTP enabled: n/a
          NTP synchronized: no
3990
4000
           RTC in local TZ: no
4010
                DST active: n/a
4020
          kdump の設定を確認します。
4030
      \bigcirc
4040
          systemctl is-enabled kdump.service
4050 a, s
4060
          enabled
4070
4080 a, s
          kdumpctl status
          Kdump is operational
4090
4100
          SELinux を無効化します。
4110
      \bigcirc
4120
          sed -i -e 's/SELINUX=.*$/SELINUX=disabled/' /etc/sysconfig/selinux
4130 a, s
4140
               ※ カーネルパラメータで無効化していますが、運用上紛らわしいので設定ファイルも変更します。
4150
4160
          SELinux の設定を確認します。
4170
4180
          grep -v ^# /etc/sysconfig/selinux
4190 a, s
          SELINUX=disabled
4200
4210
          SELINUXTYPE=targeted
4220
          getenforce
4230 a, s
          Disabled
4240
4250
4260
          管理者用一般ユーザを作成します。
4270
```

```
sed -i -e 's/CREATE MAIL SPOOL=.*$/CREATE MAIL SPOOL=no/' /etc/default/useradd
4280 a, s
4290
          groupadd -g 1000 admin
4300 a, s
          useradd -g admin -G wheel -u 1000 admin
4310 a, s
          echo 'password' | passwd --stdin admin
4320 a, s
          Changing password for user admin.
4330
          passwd: all authentication tokens updated successfully.
4340
4350
4360 a, s
          id admin
          uid=1000 (admin) gid=1000 (admin) groups=1000 (admin), 10 (wheel)
4370
4380
          wheel グループのユーザがパスワードなしで sudo コマンドを使えるように設定します。
4390
      \bigcirc
4400
          echo '%wheel ALL=(ALL) NOPASSWD: ALL' > /etc/sudoers.d/wheel
4410 a, s
4420
          管理者用一般ユーザにて、ssh でログインします。
4430
4440
4450
          ssh admin@10, 110, 88, 57
          admin@10.110.88.57's password: ******
4460
4470
4480
          ssh admin@10.110.88.58
4490
          admin@10.110.88.58's password: ******
4500
          wheel グループのユーザのみが su コマンドを使えるように設定します。
4510
      4520
          sudo sed -i -e '/ #auth. *required. *pam_wheel. so use_uid$/ s/#//' /etc/pam. d/su
4530 a, s
          echo "SU WHEEL ONLY ves" | sudo tee -a /etc/login.defs
4540 a, s
4550
          root アカウントでのパスワード認証による ssh 接続を禁止します。
4560
     \bigcirc
4570
          sudo sed -i -e 's/^#PermitRootLogin .*$/PermitRootLogin without-password/' /etc/ssh/sshd config
4580 a, s
          sudo systemctl restart sshd
4590 a, s
4600
          参照・監視用一般ユーザを作成します。
4610
4620
          sudo groupadd -g 1001 monitor
4630 a, s
          sudo useradd -g monitor -u 1001 monitor
4640 a, s
          echo 'password' | passwd --stdin monitor
4650 a, s
          Changing password for user monitor.
4660
          passwd: all authentication tokens updated successfully.
4670
```

```
4680
          id monitor
4690 a, s
          uid=1001 (monitor) gid=1001 (monitor) groups=1001 (monitor)
4700
4710
          NIC のデバイス名をバス情報に基づいて固定します。
4720
      \bigcirc
4730
4740 a, s
          sudo cp /dev/null /etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules
4750 a, s
          NUM=0
          while:
4760 a, s
4770 a, s
          do
            ip addr show eth$NUM > /dev/null 2>&1 | break
4780 a, s
            BUS=$(ethtool -i eth$NUM | grep bus-info | awk '{print $2}')
4790 a. s
            cat << EOF | sudo tee -a /etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules
4800 a, s
          SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="$BUS", ATTR{type}=="1", NAME="eth$NUM"
4810 a, s
4820 a, s
          EOF
            NUM=\$((NUM+1))
4830 a, s
4840 a, s
          done
          SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="0000:04:00.0", ATTR{type}=="1", NAME="eth0"
4850
          SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="0000:0b:00.0", ATTR{type}=="1", NAME="eth1"
4860
          SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="0000:13:00.0", ATTR{type}=="1", NAME="eth2"
4870
          SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="0000:1b:00.0", ATTR{type}=="1", NAME="eth3"
4880
4890
                  このファイルを編集して、NIC デバイス名を入れ替えても構いません。
4900
               ※ KERNELS=="<バス情報>" を ATTR {address}=="<MAC アドレス>" に入れ替えても構いません。
4910
4920
4930
          OS 起動時のカーネルパラメータを変更します。
4940
          sudo sed -i -e '/^GRUB_CMDLINE_LINUX=/ s/ *biosdevname=[^ "]*//' /etc/default/grub
4950 a, s
          sudo sed -i -e '/^GRUB CMDLINE LINUX=/ s/ *net\foats.ifnames=[^ "]*//' /etc/default/grub
4960 a.s
          sudo sed -i -e '/^GRUB CMDLINE LINUX=/ s/rhgb quiet/ipv6.disable=1/' /etc/default/grub
4970 a, s
          sudo grub2-mkconfig -o /boot/grub2/grub.cfg
4980 a, s
          Generating grub configuration file ...
4990
          Found linux image: /boot/vmlinuz-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64
5000
5010
          Found initrd image: /boot/initramfs-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64.img
          Found linux image: /boot/vmlinuz-3.10.0-514.el7.x86 64
5020
5030
          Found initrd image: /boot/initramfs-3.10.0-514.el7.x86 64.img
          Found linux image: /boot/vmlinuz-0-rescue-06dccd866dbd479b8a41b818455151b2
5040
          Found initrd image: /boot/initramfs-0-rescue-06dccd866dbd479b8a41b818455151b2.img
5050
5060
          done
5070
```

```
5080
               「net.ifnames=0」「biosdevname=0」があると、前項の udev 設定が機能しません。
           ※ IPv6 を無効化しています。
5090
5100
5110
          NIC を設定します。
      \bigcirc
5120
5130 a, s
           BONDO BONDING OPTS="resend igmp=1 updelay=0 use carrier=1 miimon=100 downdelay=0 xmit hash policy=0"
           BONDO_BONDING_OPTS="$BONDO_BONDING_OPTS primary_reselect=0 fail_over_mac=0 arp_validate=0"
5140 a, s
                                                                                                    ※ LAG(LACP) の場合は「mode=802.3ad」
5150 a, s
           BONDO_BONDING_OPTS="$BONDO_BONDING_OPTS mode=active-backup primary=eth0"
           BONDO BONDING OPTS="$BONDO BONDING OPTS lacp rate=0 arp interval=0 ad select=0"
5160 a, s
5170 a, s
5180 a, s
           BOND1_BONDING_OPTS="resend_igmp=1 updelay=0 use_carrier=1 miimon=100 downdelay=0 xmit_hash_policy=0"
           BOND1 BONDING OPTS="$BOND1 BONDING OPTS primary reselect=0 fail over mac=0 arp validate=0"
5190 a, s
           BOND1_BONDING_OPTS="$BOND1_BONDING_OPTS mode=active-backup primary=eth1"
                                                                                                    ※ LAG(LACP) の場合は「mode=802.3ad」
5200 a, s
           BOND1_BONDING_OPTS="$BOND1_BONDING_OPTS lacp_rate=0 arp_interval=0 ad_select=0"
5210 a, s
5220 a, s
           cat << EOF | sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond0
5230 a, s
5240 a, s
           DEVICE=bond0
          NAME=bond0
5250 a, s
5260 a, s
           TYPE=Bond
          UUID=$ (uuidgen)
5270 a, s
           BONDING OPTS="$BONDO BONDING OPTS"
5280 a, s
           BONDING_MASTER=yes
5290 a, s
           ONBOOT=ves
5300 a, s
5310 a, s
           BOOTPROTO=none
5320 a, s
           DEFROUTE=ves
5330 a, s
           PEERDNS=no
           PEERROUTES=no
5340 a, s
5350 a, s
           IPV4_FAILURE_FATAL=yes
           IPV6INIT=no
5360 a, s
5370 a, s
           IPV6 AUTOCONF=no
          IPV6 DEFROUTE=no
5380 a, s
           IPV6_PEERDNS=no
5390 a, s
           IPV6 PEERROUTES=no
5400 a, s
5410 a, s
           IPV6 FAILURE FATAL=no
5420 a, s
           EOF
5430 a, s
                        sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond1
5440 a, s
           cat << EOF
           DEVICE=bond1
5450 a. s
          NAME=bond1
5460 a, s
           TYPE=Bond
5470 a, s
```

```
5480 a, s
           UUID=$ (uuidgen)
           BONDING_OPTS="$BOND1_BONDING_OPTS"
5490 a, s
5500 a, s
           BONDING MASTER=yes
5510 a, s
           ONBOOT=yes
5520 a, s
           BOOTPROTO=none
5530 a, s
           DEFROUTE=no
5540 a, s
           PEERDNS=no
5550 a, s
           PEERROUTES=no
5560 a, s
           IPV4_FAILURE_FATAL=yes
5570 a, s
           IPV6INIT=no
5580 a, s
           IPV6_AUTOCONF=no
5590 a, s
           IPV6 DEFROUTE=no
           IPV6_PEERDNS=no
5600 a, s
5610 a, s
           IPV6_PEERROUTES=no
5620 a, s
           IPV6_FAILURE_FATAL=no
5630 a, s
           EOF
5640 a, s
                         sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0
5650 a, s
           cat << EOF
5660 a, s
           DEVICE=eth0
           NAME=eth0
5670 a, s
5680 a, s
           TYPE=Ethernet
5690 a, s
           UUID=$ (uuidgen)
5700 a, s
           MASTER=bond0
5710 a, s
           SLAVE=yes
5720 a, s
           ONBOOT=yes
5730 a, s
           MTU=9000
5740 a, s
           EOF
5750 a, s
                         sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth2
5760 a, s
           cat << EOF
5770 a, s
           DEVICE=eth2
           NAME=eth2
5780 a, s
5790 a, s
           TYPE=Ethernet
           UUID=$ (uuidgen)
5800 a, s
5810 a, s
           MASTER=bond0
5820 a, s
           SLAVE=yes
5830 a, s
           ONBOOT=yes
5840 a, s
           MTU=9000
5850 a, s
           EOF
5860 a, s
           cat << EOF | sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth1
5870 a, s
```

```
5880 a, s
           DEVICE=eth1
           NAME=eth1
5890 a, s
5900 a, s
           TYPE=Ethernet
5910 a, s
           UUID=$ (uuidgen)
5920 a, s
           MASTER=bond1
5930 a, s
           SLAVE=yes
           ONBOOT=yes
5940 a, s
5950 a, s
           MTU=9000
5960 a, s
           EOF
5970 a, s
                         sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth3
5980 a, s
           cat << EOF
           DEVICE=eth3
5990 a, s
6000 a, s
           NAME=eth3
6010 a, s
           TYPE=Ethernet
6020 a, s
           UUID=$ (uuidgen)
           MASTER=bond1
6030 a, s
           SLAVE=yes
6040 a, s
           ONBOOT=yes
6050 a, s
6060 a, s
           MTU=9000
6070 a, s
           EOF
6080 a, s
6090
           # for Active
           cat << EOF | sudo tee -a /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond0
6100
           IPADDR=10. 110. 88. 57
6110
6120
       a PREFIX=26
6130
           GATEWAY=10. 110. 88. 1
       a DNS1=10. 0. 80. 11
6140
6150
           DNS2=10. 0. 80. 12
          DOMAIN=example.com
6160
          MTU=9000
6170
           EOF
6180
       а
6190
       a
           cat << EOF | sudo tee -a /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond1
6200
6210
           IPADDR=192, 168, 1, 2
6220
           PREFIX=24
           MTU=9000
6230
       a
6240
       а
           EOF
6250
       а
           # for Stand-by
6260
           cat << EOF | sudo tee -a /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond0
6270
```

```
6280
           IPADDR=10. 110. 88. 58
6290
           PREFIX=26
6300
          GATEWAY=10. 110. 88. 1
6310
           DNS1=10. 0. 80. 11
6320
           DNS2=10. 0. 80. 12
6330
           DOMAIN=example.com
6340
           MTU=9000
6350
           EOF
       S
6360
       S
6370
                        sudo tee -a /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond1
           cat << EOF
6380
           IPADDR=192. 168. 1. 3
          PREFIX=24
6390
       S
          MTU=9000
6400
6410
          EOF
6420
6430
           NIC オフロード機能を無効化します。
6440
           cat << 'EOF' | sudo tee /etc/NetworkManager/dispatcher.d/00-ethertool
6450 a, s
6460 a, s
           #!/bin/sh
           if [ "$2" == "up" ]; then
6470 a, s
            if ["\{1:0:3\}" == "eth"]; then
6480 a, s
               ethtool -K $1 ¥
6490 a, s
6500 a, s
                 rx off ¥
6510 a, s
                 tx off ¥
6520 a, s
                 sg off ¥
6530 a, s
                 tso off ¥
6540 a, s
                 ufo off ¥
                 gso off ¥
6550 a, s
6560 a, s
                 gro off ¥
6570 a, s
                 lro off ¥
6580 a, s
                 rxvlan off ¥
                 txvlan off ¥
6590 a, s
6600 a, s
                 ntuple off ¥
6610 a, s
                 rxhash off ¥
                 highdma off ¥
6620 a, s
6630 a, s
                 rx-vlan-filter off ¥
                 tx-gso-robust off ¥
6640 a, s
                 tx-fcoe-segmentation off ¥
6650 a, s
6660 a, s
                 fcoe-mtu off ¥
                 tx-nocache-copy off ¥
6670 a, s
```

```
loopback off ¥
6680 a, s
6690 a, s
                 rx-fcs off ¥
6700 a, s
                 rx-all off
               #ethtool -K $1 vlan-challenged off tx-lockless off netns-local off
6710 a, s
               ethtool -G $1 rx 4096 tx 4096 rx-jumbo 2048
6720 a, s
6730 a, s
             fi
6740 a, s
           fi
6750 a, s
           EOF
           sudo chmod 755 /etc/NetworkManager/dispatcher.d/00-ethertool
6760 a, s
6770
                    「VMXNET 3」「e1000e」「igb」「ixgbe」でのみ動作確認しました。
6780
                  NIC のリンク速度、duplex モードを設定したい場合はこのスクリプトに組み込みます。
6790
6800
           hosts を設定します。
6810
      \bigcirc
6820
           cat << 'EOF'
6830 a, s
                          sudo tee /etc/hosts
           127. 0. 0. 1
                           localhost localhost. localdomain localhost4 localhost4. localdomain4
6840 a, s
                           localhost localhost. localdomain localhost6 localhost6. localdomain6
6850 a, s
           ::1
6860 a, s
           10. 110. 88. 57
                           iscsitgt01a.example.com iscsitgt01a
           10, 110, 88, 58
                           iscsitgt01s.example.com iscsitgt01s
6870 a, s
          10. 110. 88. 59
                           iscsitgt01. example. com iscsitgt01
6880 a, s
                           iscsitgt01a-ic.example.com iscsitgt01a-ic
6890 a, s
           192. 168. 1. 2
                           iscsitgt01s-ic.example.com iscsitgt01s-ic
           192, 168, 1, 3
6900 a.s
6910 a, s
           EOF
6920
           hostname を設定します。
6930
6940
6950
           sudo hostnamectl set-hostname iscsitgt01a.example.com
6960
6970
          sudo hostnamectl set-hostname iscsitgt01s.example.com
6980
           vum リポジトリを設定します。
      \bigcirc
6990
7000
7010 a, s
           cat << 'EOF'
                        sudo tee /etc/vum.repos.d/media.repo
           [media]
7020 a, s
7030 a, s
           name=media
           baseurl=file:///mnt
7040 a, s
           gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-oracle
7050 a, s
           gpgcheck=1
7060 a, s
           enabled=0
7070 a, s
```

```
7080 a, s
          [media-mysq1]
7090 a, s
7100 a, s
          name=media-mysql
          baseurl=file:///mnt/addons/Mysql
7110 a, s
          gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-oracle
7120 a, s
7130 a, s
          gpgcheck=1
7140 a, s
          enabled=0
7150 a, s
7160 a, s
          [media-ha]
7170 a, s
          name=media-ha
          baseurl=file:///mnt/addons/HighAvailability
7180 a, s
          gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-oracle
7190 a, s
          gpgcheck=1
7200 a, s
7210 a, s
          enabled=0
7220 a, s
          [media-rs]
7230 a, s
          name=media-rs
7240 a, s
          baseurl=file:///mnt/addons/ResilientStorage
7250 a, s
7260 a, s
          gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-oracle
          gpgcheck=1
7270 a, s
          enabled=0
7280 a, s
7290 a, s
          EOF
7300
              ※ インストール・メディアを利用可能にします。
7310
7320
7330 a, s
          sudo sed -i -e 's/^/#/' /etc/yum.repos.d/public-yum-ol7.repo
7340
              ※ インターネット接続していないとエラーとなるリポジトリを無効化します。
7350
7360
          以下のインストーラを DVD ドライブにセットします。
7370
7380
7390 a, s
          # V834394-01. iso (Oracle Linux 7.3)
7400
         インストーラをマウントします。
7410
7420
7430 a, s
          sudo mount /dev/cdrom /mnt
          mount: /dev/sr0 is write-protected, mounting read-only
7440
7450
          どのような環境でも共通して導入しておいた方がよいと思われる標準パッケージをインストールします。
7460
7470
```

```
7480 a, s
            sudo yum -y --disablerepo=\frac{\pmax}* --enablerepo=media, media-mysql install \frac{\pmax}{2}
7490 a, s
             @development ¥
7500 a, s
             @base ¥
7510 a, s
             OpenIPMI ¥
7520 a, s
             aide ¥
7530 a, s
             dos2unix ¥
7540 a, s
             dropwatch ¥
7550 a, s
             dstat ¥
7560 a, s
             expect ¥
7570 a, s
             filebench ¥
7580 a, s
             freeipmi-bmc-watchdog ¥
7590 a, s
             freeipmi-ipmidetectd ¥
7600 a, s
             ftp ¥
7610 a, s
             haproxy ¥
7620 a, s
             hdparm ¥
7630 a, s
             iotop ¥
7640 a, s
             ipmitool ¥
7650 a, s
             iptables-services ¥
7660 a, s
             iptraf-ng ¥
7670 a, s
             iptstate ¥
7680 a, s
             ipvsadm ¥
7690 a, s
             iscsi-initiator-utils ¥
7700 a, s
             keepalived ¥
             kernel-uek-devel ¥
7710 a, s
7720 a, s
             latrace ¥
7730 a, s
             1ftp ¥
7740 a, s
             lm_sensors ¥
             logwatch ¥
7750 a, s
7760 a, s
             1rzsz ¥
             1trace ¥
7770 a, s
7780 a, s
             net-snmp-utils ¥
7790 a, s
             nmap ¥
             openss1-devel ¥
7800 a, s
7810 a, s
             oprofile ¥
7820 a, s
             pax ¥
7830 a, s
             perf ¥
             prelink ¥
7840 a, s
7850 a, s
             screen ¥
7860 a, s
             sg3 utils ¥
7870 a, s
             snapper ¥
```

```
telnet ¥
7880 a, s
7890 a, s
            tmpwatch ¥
7900 a, s
            trace-cmd ¥
7910 a, s
            tree ¥
7920 a, s
            x86info
7930
           インストーラをアンマウントします。
7940
7950
7960 a, s
           sudo umount /mnt
7970
          インストーラをDVDドライブから取り外します。
7980
7990
8000 a, s
          # Eject DVD
8010
8020
          NTP を設定します。
8030
           cat << 'EOF' | sudo tee /etc/chrony.conf
8040 a, s
           server 10.0.77.54 iburst
8050 a, s
8060 a, s
          # server ***. ***. *** iburst
          # server ***. ***. *** iburst
8070 a, s
8080 a, s
           # server ***. ***. *** iburst
8090 a, s
          # Use public servers from the pool.ntp.org project.
8100 a, s
          # Please consider joining the pool (http://www.pool.ntp.org/join.html).
8110 a, s
8120 a, s
8130 a, s
           # Ignore stratum in source selection.
8140 a, s
           stratumweight 0
8150 a, s
          # Record the rate at which the system clock gains/losses time.
8160 a, s
           driftfile /var/lib/chrony/drift
8170 a, s
8180 a, s
           # Enable kernel RTC synchronization.
8190 a, s
8200 a, s
           rtcsync
8210 a, s
8220 a, s
           # In first three updates step the system clock instead of slew
          # if the adjustment is larger than 10 seconds.
8230 a, s
8240 a, s
           makestep 10 3
8250 a, s
8260 a, s
          # Allow NTP client access from local network.
          #allow 192.168/16
8270 a, s
```

```
8280 a, s
8290 a, s
          # Listen for commands only on localhost.
           bindcmdaddress 127.0.0.1
8300 a, s
          #bindcmdaddress ::1
8310 a, s
8320 a, s
          # Serve time even if not synchronized to any NTP server.
8330 a, s
8340 a, s
           #local stratum 10
8350 a, s
          keyfile /etc/chrony.keys
8360 a, s
8370 a, s
          # Specify the key used as password for chronyc.
8380 a, s
8390 a, s
           commandkey 1
8400 a, s
          # Generate command key if missing.
8410 a, s
8420 a, s
           generatecommandkey
8430 a, s
          # Disable logging of client accesses.
8440 a, s
8450 a, s
          noclientlog
8460 a, s
          # Send a message to syslog if a clock adjustment is larger than 0.5 seconds.
8470 a, s
8480 a, s
          logchange 0.5
8490 a, s
          logdir /var/log/chrony
8500 a, s
          #log measurements statistics tracking
8510 a, s
8520 a, s
           EOF
8530 a, s
8540 a, s
          cat << 'EOF'
                        | sudo tee /etc/sysconfig/chronyd
          OPTIONS="-4"
8550 a, s
8560 a, s
          EOF
8570
8580
          不要なサービスを無効化します。
8590
8600 a, s
           sudo systemctl disable dmraid-activation. service
8610 a, s
          sudo systemctl disable firewalld, service
          sudo systemctl disable mdmonitor.service
8620 a, s
          sudo systemctl disable postfix. service
8630 a, s
8640
           ※ 仮想環境の場合は、「smartd.service」も無効化します。RAID コントローラが対応していない場合も無効化します。
8650
8660
          必要なサービスを有効化します。
8670
```

```
8680
8690 a, s
                          sudo systemctl enable psacct. service
8700
8710
                          iSCSI イニシエータ関連サービスの自動起動を無効化します。
8720
8730 a, s
                          sudo systemctl disable iscsi. service
                          Removed symlink /etc/systemd/system/sysinit.target.wants/iscsi.service.
8740
8750
8760 a, s
                          sudo systemctl disable iscsid. socket
                          Removed symlink /etc/systemd/system/sockets.target.wants/iscsid.socket.
8770
8780
8790 a, s
                          sudo systemctl disable iscsiuio. socket
                          Removed symlink /etc/systemd/system/sockets.target.wants/iscsiuio.socket.
8800
8810
8820
               \bigcirc
                          IPv6 無効化に伴う不具合を解消するための設定変更を行います。
8830
                          sudo sed -i -e 's/*#AddressFamily .**$/AddressFamily inet/' /etc/ssh/sshd_config
8840 a, s
                          sudo sed -i -e 's/înet_interfaces .*$/inet_interfaces = 127.0.0.1/' /etc/postfix/main.cf
8850 a, s
8860
                          sudo sed -i -e 's/\underset udp6/\underset udp6/\underset -e 's/\underset tcp6/\underset tcp6/\underset /\underset tcp6/\underset /\underset representation of tcp6/\underset tcp6/\underset /\underset representation of tcp6/\underset representation of tcp6/\underse
8870 a, s
8880
                         再起動します。
8890
               \bigcirc
8900
8910 a, s
                          sudo reboot
8920
                          管理者用一般ユーザにて、ssh でログインします。
8930
8940
8950
                          ssh admin@10.110.88.57
                         admin@10.110.88.57's password: ******
8960
8970
8980
                         ssh admin@10.110.88.58
                         admin@10.110.88.58's password: ******
8990
9000
                         カーネル起動パラメータを確認します。
9010
9020
9030 a, s
                          cat /proc/cmdline
                          BOOT IMAGE=/vmlinuz-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64 root=UUID=657f59aa-f627-4096-9970-9238b234ef00 ro crashkernel=auto selinux=0 ipv6. disable=1
9040
9050
                                                「crashkernel」の値は、搭載メモリサイズに応じて自動的に固定値へ変更される場合があります。
9060
9070
```

```
ネットワーク設定を確認します。
9080
      \bigcirc
9090
9100 a, s
          ip addr show
9110
           1: lo: <LOOPBACK, UP, LOWER_UP> mtu 65536 qdisc noqueue state UNKNOWN
9120
               link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00
9130
               inet 127. 0. 0. 1/8 scope host 10
          2: eth0: <BROADCAST, MULTICAST, SLAVE, UP, LOWER_UP> mtu 9000 qdisc mg master bond0 state UP qlen 1000
9140
9150
               link/ether 00:0c:29:08:b8:5f brd ff:ff:ff:ff:ff
9160
           3: eth1: <BROADCAST, MULTICAST, SLAVE, UP, LOWER UP> mtu 9000 qdisc mg master bond1 state UP qlen 1000
               link/ether 00:0c:29:08:b8:41 brd ff:ff:ff:ff:ff
9170
9180
           4: eth2: <BROADCAST, MULTICAST, SLAVE, UP, LOWER UP> mtu 9000 qdisc mg master bond0 state UP qlen 1000
9190
               link/ether 00:0c:29:08:b8:5f brd ff:ff:ff:ff:ff
          5: eth3: <BROADCAST, MULTICAST, SLAVE, UP, LOWER_UP> mtu 9000 qdisc mg master bond1 state UP qlen 1000
9200
9210
               link/ether 00:0c:29:08:b8:41 brd ff:ff:ff:ff:ff
9220
           6: bond0: <BROADCAST, MULTICAST, MASTER, UP, LOWER UP> mtu 9000 qdisc noqueue state UNKNOWN
9230
               link/ether 00:0c:29:08:b8:5f brd ff:ff:ff:ff:ff
9240
               inet 10.110.88.57/26 brd 10.110.88.63 scope global bond0
           7: bond1: <BROADCAST, MULTICAST, MASTER, UP, LOWER_UP> mtu 9000 qdisc noqueue state UNKNOWN
9250
9260
               link/ether 00:0c:29:08:b8:41 brd ff:ff:ff:ff:ff
9270
               inet 192.168.1.2/24 brd 192.168.0.255 scope global bond1
9280
               ※ IPv6 のリンクローカルアドレスが存在しないことも確認します。
9290
9300
9310 a, s
           cat /proc/net/bonding/bond0
          Ethernet Channel Bonding Driver: v3.7.1 (April 27, 2011)
9320
9330
9340
           Bonding Mode: fault-tolerance (active-backup)
9350
           Primary Slave: eth0 (primary_reselect always)
9360
           Currently Active Slave: eth0
9370
           MII Status: up
          MII Polling Interval (ms): 100
9380
9390
          Up Delay (ms): 0
          Down Delay (ms): 0
9400
9410
           Slave Interface: eth0
9420
9430
           MII Status: up
9440
           Speed: 10000 Mbps
9450
           Duplex: full
           Link Failure Count: 0
9460
9470
           Permanent HW addr: 00:0c:29:08:b8:5f
```

```
9480
          Slave queue ID: 0
9490
9500
          Slave Interface: eth2
9510
          MII Status: up
9520
          Speed: 10000 Mbps
          Duplex: full
9530
9540
          Link Failure Count: 0
9550
          Permanent HW addr: 00:0c:29:08:b8:4b
9560
          Slave queue ID: 0
9570
9580 a, s
          cat /proc/net/bonding/bond1
          Ethernet Channel Bonding Driver: v3.7.1 (April 27, 2011)
9590
9600
9610
          Bonding Mode: fault-tolerance (active-backup)
9620
          Primary Slave: eth1 (primary_reselect always)
          Currently Active Slave: eth1
9630
          MII Status: up
9640
          MII Polling Interval (ms): 100
9650
9660
          Up Delay (ms): 0
          Down Delay (ms): 0
9670
9680
9690
          Slave Interface: eth1
          MII Status: up
9700
          Speed: 10000 Mbps
9710
          Duplex: full
9720
9730
          Link Failure Count: 0
9740
          Permanent HW addr: 00:0c:29:08:b8:41
9750
          Slave queue ID: 0
9760
          Slave Interface: eth3
9770
9780
          MII Status: up
          Speed: 10000 Mbps
9790
9800
          Duplex: full
9810
          Link Failure Count: 0
          Permanent HW addr: 00:0c:29:08:b8:55
9820
          Slave queue ID: 0
9830
9840
9850
               ※ ボンディング設定時は、このコマンドで個々の NIC の MAC アドレスを確認できます。
9860
               ※ LAG(LACP) の場合、以下のように表示されます。
9870
```

```
cat /proc/net/bonding/bond1
9880
                     Ethernet Channel Bonding Driver: v3.7.1 (April 27, 2011)
9890
9900
                     Bonding Mode: IEEE 802.3ad Dynamic link aggregation
9910
9920
                     Transmit Hash Policy: layer2 (0)
                     MII Status: up
9930
                     MII Polling Interval (ms): 100
9940
9950
                     Up Delay (ms): 0
9960
                     Down Delay (ms): 0
9970
9980
                     802.3ad info
                     LACP rate: slow
9990
10000
                     Min links: 0
10010
                     Aggregator selection policy (ad select): stable
10020
                     Active Aggregator Info:
10030
                             Aggregator ID: 1
10040
                             Number of ports: 1
10050
                             Actor Key: 13
10060
                             Partner Key: 1
10070
                             Partner Mac Address: 00:00:00:00:00:00
10080
10090
                     Slave Interface: eth1
                     MII Status: up
10100
                     Speed: 10000 Mbps
10110
10120
                     Duplex: full
10130
                     Link Failure Count: 0
                     Permanent HW addr: 00:0c:29:8b:ff:e8
10140
                     Slave queue ID: 0
10150
                     Aggregator ID: 1
10160
10170
                     Actor Churn State: none
10180
                     Partner Churn State: churned
10190
                     Actor Churned Count: 0
                     Partner Churned Count: 1
10200
10210
                     details actor lacp pdu:
                         system priority: 0
10220
                         port key: 13
10230
10240
                         port priority: 255
10250
                         port number: 1
10260
                         port state: 205
10270
                     details partner lacp pdu:
```

```
10280
                         system priority: 65535
10290
                         oper key: 1
10300
                         port priority: 255
10310
                         port number: 1
10320
                         port state: 3
10330
10340
                     Slave Interface: eth3
10350
                     MII Status: up
10360
                     Speed: 10000 Mbps
10370
                     Duplex: full
10380
                     Link Failure Count: 0
                     Permanent HW addr: 00:0c:29:8b:ff:fc
10390
                     Slave queue ID: 0
10400
10410
                     Aggregator ID: 2
10420
                     Actor Churn State: churned
10430
                     Partner Churn State: churned
                     Actor Churned Count: 1
10440
10450
                     Partner Churned Count: 1
10460
                     details actor lacp pdu:
10470
                         system priority: 0
10480
                         port key: 13
10490
                         port priority: 255
                         port number: 2
10500
10510
                         port state: 197
10520
                     details partner lacp pdu:
10530
                         system priority: 65535
10540
                         oper key: 1
10550
                         port priority: 255
                         port number: 1
10560
10570
                         port state: 3
10580
10590
           ip route show
10600
           default via 10.110.88.1 dev bond0 proto static metric 300
10610
           10.110.88.0/26 dev bond0 proto kernel scope link src 10.110.88.57 metric 300
           192.168.1.0/24 dev bond1 proto kernel scope link src 192.168.0.2 metric 300
10620
10630
10640
           ip route show
10650
           default via 10.110.88.1 dev bond0 proto static metric 300
10660
           10.110.88.0/26 dev bond0 proto kernel scope link src 10.110.88.58 metric 300
10670
           192.168.1.0/24 dev bond1 proto kernel scope link src 192.168.0.3 metric 300
```

```
10680
10690 a, s
           cat /etc/resolv.conf
10700
           # Generated by NetworkManager
10710
           search example.com
10720
           nameserver 10.0.80.11
10730
           nameserver 10.0.80.12
10740
           hostname 設定を確認します。
10750
10760
10770
           hostnamectl status
              Static hostname: iscsitgt01a.example.com
10780
10790
                     Icon name: computer-vm
10800
                       Chassis: vm
10810
                    Machine ID: d7806eba789047baa165a57149c83843
10820
                       Boot ID: b5b36a3403dd403aad4656d2f7f9e7aa
10830
                Virtualization: vmware
10840
             Operating System: Oracle Linux Server 7.3
10850
                   CPE OS Name: cpe:/o:oracle:linux:7:2:server
10860
                        Kernel: Linux 4.1.12-61.1.18.el7uek.x86_64
10870
                  Architecture: x86-64
10880
           hostnamectl status
10890
              Static hostname: iscsitgt01s.example.com
10900
                     Icon name: computer-vm
10910
10920
                       Chassis: vm
10930
                    Machine ID: b325c1c5d682439a91a65f7cfc317b20
10940
                       Boot ID: a419d4d1ef00452f93da10a227365aca
10950
                Virtualization: vmware
             Operating System: Oracle Linux Server 7.3
10960
10970
                  CPE OS Name: cpe:/o:oracle:linux:7:2:server
10980
                        Kernel: Linux 4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64
10990
                  Architecture: x86-64
11000
11010
           NIC のオフロード設定を確認します。
11020
11030 a, s
           ethtool -k eth0
           Features for eth0:
11040
11050
           rx-checksumming: off
11060
           tx-checksumming: off
                    tx-checksum-ipv4: off [fixed]
11070
```

```
11080
                    tx-checksum-ip-generic: off
11090
                    tx-checksum-ipv6: off [fixed]
11100
                    tx-checksum-fcoe-crc: off [fixed]
                    tx-checksum-sctp: off [fixed]
11110
11120
            scatter-gather: off
11130
                    tx-scatter-gather: off
                    tx-scatter-gather-fraglist: off [fixed]
11140
11150
            tcp-segmentation-offload: off
11160
                    tx-tcp-segmentation: off
                    tx-tcp-ecn-segmentation: off [fixed]
11170
11180
                    tx-tcp6-segmentation: off
11190
            udp-fragmentation-offload: off [fixed]
            generic-segmentation-offload: off
11200
11210
            generic-receive-offload: off
            large-receive-offload: off
11220
11230
            rx-vlan-offload: off
11240
            tx-vlan-offload: off
11250
            ntuple-filters: off [fixed]
11260
            receive-hashing: off
11270
            highdma: off
11280
            rx-vlan-filter: on [fixed]
            vlan-challenged: off [fixed]
11290
11300
            tx-lockless: off [fixed]
            netns-local: off [fixed]
11310
            tx-gso-robust: off [fixed]
11320
11330
            tx-fcoe-segmentation: off [fixed]
11340
            tx-gre-segmentation: off [fixed]
11350
            tx-ipip-segmentation: off [fixed]
            tx-sit-segmentation: off [fixed]
11360
11370
            tx-udp tnl-segmentation: off [fixed]
            fcoe-mtu: off [fixed]
11380
11390
            tx-nocache-copy: off
            loopback: off [fixed]
11400
11410
            rx-fcs: off [fixed]
            rx-all: off [fixed]
11420
11430
            tx-vlan-stag-hw-insert: off [fixed]
11440
            rx-vlan-stag-hw-parse: off [fixed]
11450
            rx-vlan-stag-filter: off [fixed]
11460
            12-fwd-offload: off [fixed]
11470
            busy-poll: off [fixed]
```

```
hw-switch-offload: off [fixed]
11480
11490
11500 a, s
            ethtool -k eth1
            ethtool -k eth2
11510 a, s
            ethtool -k eth3
11520 a, s
11530
11540 a, s
            ethtool -g eth0
11550
            Ring parameters for eth0:
11560
            Pre-set maximums:
11570
            RX:
                             4096
11580
            RX Mini:
                             0
11590
            RX Tumbo:
                             2048
11600
            TX:
                             4096
11610
            Current hardware settings:
11620
            RX:
                             4032
11630
            RX Mini:
                             ()
            RX Jumbo:
11640
                             2048
11650
            TX:
                             4096
11660
11670
                 ※ 搭載メモリサイズに応じて結果が異なります。
11680
11690 a, s
            ethtool -g eth1
            ethtool -g eth2
11700 a. s
11710 a, s
            ethtool -g eth3
11720
            NTP の状態を確認します。
11730
11740
11750 a, s
            systemctl status chronyd. service -1
            • chronvd. service - NTP client/server
11760
11770
               Loaded: loaded (/usr/lib/systemd/system/chronyd.service; enabled; vendor preset: enabled)
               Active: active (running) since Fri 2016-11-25 15:23:28 JST; 17min ago
11780
              Process: 601 ExecStartPost=/usr/libexec/chrony-helper update-daemon (code=exited, status=0/SUCCESS)
11790
              Process: 576 ExecStart=/usr/sbin/chronyd $0PTIONS (code=exited, status=0/SUCCESS)
11800
11810
             Main PID: 583 (chronvd)
               CGroup: /system.slice/chronyd.service
11820
                         └583 /usr/sbin/chronyd -4
11830
11840
11850
            Nov 25 15:23:28 iscsitgt01a.example.com systemd[1]: Starting NTP client/server...
            Nov 25 15:23:28 iscsitgt01a.example.com chronyd[584]: chronyd version 2.1.1 starting (+CMDMON +NTP +REFCLOCK +RTC +PRIVDROP +DEBUG +ASYNCDNS +IPV6 +SECHASH)
11860
11870
            Nov 25 15:23:28 iscsitgt01a. example. com chronyd[584]: Generated key 1
```

```
Nov 25 15:23:28 iscsitgt01a.example.com systemd[1]: Started NTP client/server.
11880
             Nov 25 15:23:35 iscsitgt01a. example. com chronyd[584]: Selected source 10.0.77.54
11890
11900
11910 a, s
             chronyc sources
11920
             210 \text{ Number of sources} = 1
11930
             MS Name/IP address
                                         Stratum Poll Reach LastRx Last sample
11940
             * 10. 0. 77. 54
11950
                                                1 10
                                                                      -177us [ -161us] +/- 4360us
11960
11970 a, s
             timedatectl status
11980
                   Local time: Fri 2016-11-25 15:43:54 JST
               Universal time: Fri 2016-11-25 06:43:54 UTC
11990
12000
                     RTC time: Fri 2016-11-25 06:43:54
12010
                    Time zone: Asia/Tokyo (JST, +0900)
12020
                  NTP enabled: yes
            NTP synchronized: yes
12030
12040
              RTC in local TZ: no
12050
                   DST active: n/a
12060
             自動起動するサービスを確認します。
12070
        \bigcirc
12080
12090 a, s
            systemctl list-unit-files | grep enabled |
                                                           LANG=C sort
12100
             NetworkManager-dispatcher.service
                                                            enabled
12110
             NetworkManager.service
                                                            enabled
12120
             abrt-ccpp. service
                                                            enabled
12130
             abrt-oops. service
                                                            enabled
12140
             abrt-vmcore. service
                                                            enabled
12150
             abrt-xorg. service
                                                            enabled
12160
             abrtd. service
                                                            enabled
12170
             atd. service
                                                            enabled
12180
             auditd. service
                                                            enabled
12190
             autovt@. service
                                                            enabled
            chronyd. service
12200
                                                            enabled
12210
             crond. service
                                                            enabled
12220
             dbus-org. freedesktop. NetworkManager. service enabled
12230
             dbus-org. freedesktop. nm-dispatcher. service
                                                            enabled
12240
             default. target
                                                            enabled
12250
             dm-event. socket
                                                            enabled
12260
             getty@. service
                                                            enabled
12270
             irabalance, service
                                                            enabled
```

12280	kdump.service	enabled		
12290	libstoragemgmt.service	enabled enabled		
12300	1m sensors. service	enabled enabled	*	仮想環境の場合、不要
12310	lvm2-lvmetad.socket	enabled	*	LVM を利用しない場合、不要
12320	1vm2-1vmpo11d. socket	enabled	*	LVM を利用しない場合、不要
12330	1vm2-monitor.service	enabled enabled	*	LVM を利用しない場合、不要
12340	microcode. service	enabled	7.	21.11 2.147/10 0.00 0.00
12350	multi-user.target	enabled		
12360	psacct. service	enabled		
12370	remote-fs. target	enabled	*	nfs, iSCSI イニシエータを利用しない場合、不要
12380	rngd. service	enabled	•	
12390	rpcbind. socket	enabled	*	nfs を利用しない場合、不要
12400	rsyslog. service	enabled		
12410	runlevel2. target	enabled		
12420	runlevel3. target	enabled		
12430	runlevel4. target	enabled		
12440	smartd.service	enabled	*	仮想環境、RAID コントローラ未対応の場合、不要
12450	sshd. service	enabled		
12460	sysstat. service	enabled		
12470	systemd-readahead-collect.service	enabled		
12480	systemd-readahead-drop.service	enabled		
12490	systemd-readahead-replay.service	enabled		
12500	tuned. service	enabled		
12510	vmtoolsd.service	enabled	*	ESXi で動かす場合のみ必要
12520				
12530	設定ファイルをバックアップします。			
12540				
12550 a, s	sudo cp -a /etc{,~}			
12560				
12570				

```
【iSCSI Target クラスタのインストールと初期設定】
12580
       \bigcirc
12590
           以下のインストーラを DVD ドライブにセットします。
       \bigcirc
12600
12610
           # V834394-01. iso (Oracle Linux 7.3)
12620 a, s
12630
           インストーラをマウントします。
12640
12650
12660 a, s
           sudo mount /dev/cdrom /mnt
12670
           mount: /dev/sr0 is write-protected, mounting read-only
12680
           当該 OS で必要となる標準パッケージをインストールします。
12690
      \bigcirc
12700
12710 a, s
           sudo yum -y --disablerepo=\frac{\pmax}* --enablerepo=media, media-mysql, media-ha install \frac{\pmax}{2}
12720 a, s
            fence-agents-ipmilan ¥
12730 a, s
            omping ¥
            pcs ¥
12740 a, s
            rubygem-abrt ¥
12750 a, s
12760 a, s
            targetcli
12770
           インターネットと接続可能な端末で以下のコマンドを実行する等して、必要なパッケージを収集します。
12780
12790
          curl -0 http://elrepo.org/linux/elrepo/el7/x86_64/RPMS/drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86_64.rpm
12800
12810
           収集したパッケージをホームディレクトリにコピーし、確認します。
12820
       \bigcirc
12830
12840 a, s
           scp xxxx@yyy:drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86_64.rpm .
12850
12860 a, s
           1s -1 *.rpm
12870
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 410308 Nov 25 16:10 drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86 64.rpm
12880
12890 a, s
           file *.rpm
12900
           drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86 64.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin i386/x86 64 drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo
12910
           drbd 管理ツールをインストールします。Oracle 社サポート外のパッケージです。
12920
      \bigcirc
12930
12940 a, s
           sudo vum -v --disablerepo=\frac{\pma}{*} --enablerepo=media localinstall drbd84-utils-\frac{\pma}{*}.rpm
12950
          インストーラをアンマウントします。
12960
12970
```

```
sudo umount /mnt
12980 a, s
12990
13000
            インストーラをDVDドライブから外します。
13010
13020 a, s
           # Eject DVD
13030
            追加インストールしたパッケージの設定をバックアップします。
13040
13050
13060 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/bash_completion.d/drbdadm
           sudo cp -a /etc{, ~}/corosync
13070 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/dbus-1/system.d/corosync-signals.conf
13080 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/drbd.conf
13090 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/drbd. d
13100 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/ha.d
13110 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/libreport/events.d/ruby_event.conf
13120 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/corosync
13130 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/pacemaker
13140 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/pcsd
13150 a, s
13160 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/pam. d/pcsd
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/corosync
13170 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/corosync-notifyd
13180 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/crm_mon
13190 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/pacemaker
13200 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/pcsd
13210 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/target
13220 a, s
13230 a, s
           sudo cp -a /etc\{,^{\sim}\}/xen
           sudo cp -a /etc/passwd /etc~/passwd $(date +%Y%m%d %H%M%S)
13240 a, s
           sudo cp -a /etc/passwd- /etc~/passwd-_$(date +%Y\m\%d_\%H\\M\%S)
13250 a, s
           sudo cp -a /etc/shadow
                                    /etc~/shadow_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
13260 a, s
           sudo cp -a /etc/shadow- /etc~/shadow-_$(date +%Y\m\%d_\%H\\M\%S)
13270 a, s
                                    /etc~/group_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
13280 a, s
            sudo cp -a /etc/group
           sudo cp -a /etc/group-
                                    /etc~/group-_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
13290 a, s
           sudo cp -a /etc/gshadow /etc~/gshadow_$(date +%Y\m\%d_\%H\\M\%S)
13300 a, s
           sudo cp -a /etc/gshadow- /etc~/gshadow- $(date +%Y%m%d %H%M%S)
13310 a, s
13320 a, s
           カーネルパラメータを設定します。
13330
13340
13350 a. s
            cat << 'EOF' | sudo tee /etc/sysctl.d/tgt.conf
           net.core.netdev max backlog = 250000
13360 a, s
13370 a, s
           net. core. optmem max = 16777216
```

```
net. core. rmem default = 16777216
13380 a, s
13390 a, s
            net. core. rmem_max = 16777216
            net.core.wmem default = 16777216
13400 a, s
            net. core. wmem_max = 16777216
13410 a, s
            net.ipv4.tcp_mem = 39363 209944 314904
13420 a, s
            net.ipv4.tcp_rmem = 8192 87380 16777216
13430 a, s
            net. ipv4. tcp_wmem = 8192 65536 16777216
13440 a, s
13450 a, s
            net.ipv4.tcp_no_metrics_save = 1
            net. ipv4. tcp sack = 0
13460 a, s
            net.ipv4.tcp_timestamps = 0
13470 a, s
13480 a, s
            EOF
13490
            再起動します。
13500
       \bigcirc
13510
13520 a, s
            sudo reboot
13530
            管理者用一般ユーザにて、ssh でログインします。
13540
13550
13560
            ssh admin@10.110.88.57
13570
            admin@10.110.88.57's password: ******
13580
13590
            ssh admin@10.110.88.58
            admin@10.110.88.58's password: ******
13600
13610
            カーネルパラメータを確認します。
13620
13630
            sysctl -a 2> /dev/null | egrep 'net\( \). core\( \). *mem | net\( \). core\( \). *mem | net\( \). ipv4\( \). tcp_no_|net\( \). ipv4\( \). tcp_no_|net\( \). ipv4\( \). tcp_sa|net\( \). ipv4\( \). tcp_ti'
13640 a.s
13650
            net.core.netdev_max_backlog = 250000
            net.core.optmem max = 16777216
13660
13670
            net.core.rmem default = 16777216
13680
            net.core.rmem max = 16777216
            net.core.wmem default = 16777216
13690
13700
            net.core.wmem \max = 16777216
13710
            net. ipv4. tcp mem = 39363
                                               209944 314904
13720
            net. ipv4. tcp no metrics save = 1
13730
            net. ipv4. tcp rmem = 8192
                                               87380
                                                        16777216
13740
            net. ipv4. tcp sack = 0
13750
            net.ipv4.tcp timestamps = 0
13760
            net. ipv4. tcp wmem = 8192
                                               65536
                                                        16777216
13770
```

```
LVM の設定を変更します。
13780
      \bigcirc
13790
            sudo sed -i -e 's/obtain device list from udev = .*$/obtain device list from udev = 0/' /etc/lvm/lvm.conf
13800 a, s
13810 a, s
            sudo sed -i -e 's/use_blkid_wiping = .*$/use_blkid_wiping = 0/' /etc/lvm/lvm.conf
            sudo sed -i -e 's/use_1vmetad = .*$/use_1vmetad = 0/' /etc/1vm/1vm.conf
13820 a, s
            sudo sed -i -e 's/use lympolld = .**/use lympolld = 0/' /etc/lym/lym.conf
13830 a, s
            sudo sed -i -e 's/write_cache_state = .*$/write_cache_state = 0/' /etc/lvm/lvm.conf
13840 a, s
13850 a, s
            sudo sed -i -e 's/readahead = "none"/' /etc/lvm/lvm.conf
            sudo patch --ignore-whitespace /etc/lvm/lvm.conf << 'EOF'
13860 a, s
            diff -upr /etc/lvm/lvm.conf /etc/lvm/lvm.conf.new
13870 a, s
            --- /etc/lvm/lvm.conf 2015-11-21 12:01:29.000000000 +0900
13880 a, s
            +++ /etc/1vm/1vm.conf.new
13890 a, s
                                             2016-09-21 07:52:14.164259555 +0900
            @@ -139,6 +139,7 @@ devices {
13900 a, s
13910 a, s
13920 a, s
                    # This configuration option has an automatic default value.
                    # filter = ["a|.*/|"]
13930 a, s
            +filter = ["r|vg.*|", "a|sd.*|", "a|drbd.*|", "r|.*|"]
13940 a, s
13950 a, s
13960 a, s
                    # Configuration option devices/global_filter.
                    # Limit the block devices that are used by LVM system components.
13970 a, s
            EOF
13980 a, s
13990 a, s
            sudo systemctl stop lvm2-lvmetad. socket
            sudo systemctl stop 1vm2-1vmpolld. socket
14000 a.s
14010 a, s
            sudo systemctl disable lvm2-lvmetad.socket
14020 a, s
            sudo systemctl disable lvm2-lvmpolld.socket
14030 a.s
            sudo rm -f /etc/lvm/cache/.cache
            sudo cp -a /etc/lvm/lvm.conf /etc~/lvm/lvm.conf_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
14040 a, s
14050
           LVM の設定変更を初期化 RAM ディスクに反映します。
14060
14070
14080 a, s
            for i in /boot/initramfs-*
14090 a. s
             KVER=$(echo $i | sed -n 's%/boot/initramfs-\forall (.*\forall ). img%\forall 1\mathcal{kp'})
14100 a, s
             if echo $KVER | grep -q -v rescue; then
14110 a, s
                if echo $KVER | grep -q -v kdump; then
14120 a.s
                  sudo dracut --force /boot/initramfs-$KVER.img $KVER;
14130 a, s
14140 a, s
                fi
14150 a. s
              fi
14160 a, s
            done
```

14170

```
LVM 物理ボリュームを作成します。
14180
14190
14200 a, s
           sudo pvcreate /dev/sdc
14210
             Physical volume "/dev/sdc" successfully created
14220
14230 a, s
           sudo pvcreate /dev/sdd
             Physical volume "/dev/sdd" successfully created
14240
14250
14260 a, s
           sudo pvcreate /dev/sde
             Physical volume "/dev/sde" successfully created
14270
14280
14290 a, s
           sudo pvcreate /dev/sdf
             Physical volume "/dev/sdf" successfully created
14300
14310
14320
           LVM ボリュームグループを作成します。
14330
           sudo vgcreate -s 4M vg0 /dev/sdc /dev/sdd /dev/sde /dev/sdf
14340 a, s
             Volume group "vg0" successfully created
14350
14360
           LVM 論理ボリュームを作成します。
14370
14380
           sudo lvcreate --name lv-drbd0 --extents 90%FREE vg0
14390 a, s
             Logical volume "lv-drbd0" created.
14400
14410
           LVM の状態を確認します。
14420
14430
14440 a, s
           sudo pvs
14450
             PV
                           Fmt Attr PSize
                       VG
             /dev/sdc vg0 1vm2 a-- 100.00g
14460
14470
             /dev/sdd vg0 1vm2 a-- 100.00g
14480
             /dev/sde vg0 1vm2 a-- 100.00g
             /dev/sdf vg0 1vm2 a-- 100.00g 40.00g
14490
14500
14510 a, s
           sudo vgs
14520
             VG #PV #LV #SN Attr VSize
             vg0 4 1 0 wz--n- 399. 98g 40. 00g
14530
14540
14550 a, s
           sudo 1vs
                                            Pool Origin Data% Meta% Move Log Cpy%Sync Convert
14560
             LV
                      VG
                          Attr
                                     LSize
             1v-drbd0 vg0 -wi-a---- 359.98g
14570
```

```
14580
                              DRBD の設定ファイルを作成します。
14590
                   \bigcirc
14600
                              cat /etc/drbd.conf
14610 a, s
                              # You can find an example in /usr/share/doc/drbd.../drbd.conf.example
14620
14630
                              include "drbd. d/global_common. conf";
14640
                              include "drbd. d/*. res";
14650
14660
                              cat << 'EOF' | sudo tee /etc/drbd. d/global_common.conf
14670 a, s
14680 a, s
                              global {
14690 a, s
                                   usage-count no;
14700 a, s
14710 a, s
                              common {
14720 a, s
                                   handlers {
                                    pri-on-incon-degr "/usr/lib/drbd/notify-pri-on-incon-degr.sh; /usr/lib/drbd/notify-pri-on-incon-degr.sh; /usr/l
14730 a, s
                                    local-io-error "/usr/lib/drbd/notify-io-error.sh; /usr/lib/drbd/notify-emergency-shutdown.sh; echo 1 > /proc/sys/kernel/sysrq; echo o > /proc/sysrq-trigger; halt -f";
14740 a, s
                                        fence-peer "/usr/lib/drbd/crm-fence-peer.sh";
14750 a, s
                                        before-resync-target "/usr/lib/drbd/snapshot-resync-target-lvm.sh -p 4";
14760 a, s
                                        after-resync-target "/usr/lib/drbd/unsnapshot-resync-target-lvm.sh; /usr/lib/drbd/crm-unfence-peer.sh";
14770 a, s
14780 a, s
14790 a, s
                                   startup {
                              #wfc# wfc-timeout 10;
14800 a, s
                              #wfc# degr-wfc-timeout 10;
14810 a, s
14820 a, s
                              #wfc# outdated-wfc-timeout 10;
14830 a, s
14840 a, s
                                   disk {
                                        on-io-error detach;
14850 a, s
14860 a, s
                                        fencing resource-only;
14870 a, s
                                        al-extents 6433;
14880 a, s
                                        c-plan-ahead 20;
14890 a, s
                                        c-delay-target 100;
14900 a, s
                                        c-fill-target 0;
                                        c-max-rate 100M;
14910 a, s
14920 a, s
                                         c-min-rate 1M;
14930 a, s
14940 a, s
                                   net {
14950 a, s
                                        protocol C;
14960 a, s
                                        max-buffers 128k;
                                         sndbuf-size 0;
14970 a, s
```

```
rcvbuf-size 0;
14980 a, s
14990 a, s
                cram-hmac-alg shal;
                shared-secret "password";
15000 a, s
15010 a, s
                congestion-fill 100M;
                congestion-extents 2000;
15020 a, s
                csums-alg md5;
15030 a, s
                verify-alg md5;
15040 a, s
15050 a, s
                use-rle yes;
15060 a, s
15070 a, s
15080 a, s
            EOF
            sudo cp -a /etc/drbd.d/global_common.conf /etc~/drbd.d/global_common.conf_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
15090 a, s
15100 a, s
            cat << 'EOF'
                           sudo tee /etc/drbd. d/r0. res
15110 a, s
15120 a, s
            resource r0 {
              volume 0 {
15130 a, s
                device /dev/drbd0;
15140 a, s
                disk /dev/vg0/lv-drbd0;
15150 a, s
15160 a, s
                meta-disk internal;
15170 a, s
15180 a, s
              on iscsitgt01a.example.com {
                address 192.168.1.2:7788;
15190 a, s
15200 a, s
              on iscsitgt01s.example.com {
15210 a, s
15220 a, s
                address 192.168.1.3:7788;
15230 a, s
15240 a, s
            EOF
15250 a, s
15260
            DRBD リソースを初期化します。
15270
15280
15290 a, s
            sudo drbdadm create-md r0
            initializing activity log
15300
15310
            NOT initializing bitmap
15320
            Writing meta data...
            New drbd meta data block successfully created.
15330
15340
15350
            targetcli から exit する際に自動的に設定を save する挙動を無効化します。
15360
            sudo targetcli set global auto_save_on_exit=false
15370 a, s
```

```
Warning: Could not load preferences file /root/.targetcli/prefs.bin.
15380
           Parameter auto save_on_exit is now 'false'.
15390
15400
           targetcli から target を追加する際に自動的に portal が作成される挙動を無効化します。
15410
15420
15430 a, s
           sudo targetcli set global auto add default portal=false
           Parameter auto_add_default_portal is now 'false'.
15440
15450
           targetcli コマンドのデフォルト設定を確認します。
15460
15470
15480 a, s
           sudo targetcli get global
           GLOBAL CONFIG GROUP
15490
15500
           15510
           auto_add_default_portal=false
15520
           If true, adds a portal listening on all IPs to new targets.
15530
15540
15550
           auto add mapped luns=true
15560
15570
           If true, automatically create node ACLs mapped LUNs after creating a new target LUN or a new node ACL
15580
15590
           auto_cd_after_create=false
15600
           If true, changes current path to newly created objects.
15610
15620
15630
           auto_enable_tpgt=true
15640
           If true, automatically enables TPGTs upon creation.
15650
15660
15670
           auto_save_on_exit=false
15680
           If true, saves configuration on exit.
15690
15700
15710
           color command=cvan
15720
15730
           Color to use for command completions.
15740
15750
           color default=none
15760
15770
           Default text display color.
```

```
15780
15790
            color keyword=cyan
15800
15810
            Color to use for keyword completions.
15820
15830
            color mode=true
15840
15850
            Console color display mode.
15860
15870
            color_parameter=magenta
15880
            Color to use for parameter completions.
15890
15900
15910
            color_path=magenta
15920
            Color to use for path completions
15930
15940
15950
            export_backstore_name_as_model=true
15960
15970
            If true, the backstore name is used for the scsi inquiry model name.
15980
15990
            logfile=/root/. targetcli/log. txt
16000
            Logfile to use.
16010
16020
16030
            loglevel console=info
16040
            Log level for messages going to the console.
16050
16060
16070
            loglevel_file=debug
16080
16090
            Log level for messages going to the log file.
16100
16110
            prompt_length=30
16120
            Max length of the shell prompt path, 0 for infinite.
16130
16140
16150
            tree_max_depth=0
16160
            Maximum depth of displayed node tree.
16170
```

```
16180
16190
            tree round nodes=true
16200
16210
           Tree node display style.
16220
16230
            tree show root=true
16240
16250
            Whether or not to display tree root.
16260
16270
            tree_status_mode=true
16280
            Whether or not to display status in tree.
16290
16300
            LIO のリソース・エージェントを作成します。
16310
16320
16330 a, s
            cat << 'EOF LIO' | sudo tee /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/LIO
            #!/bin/bash
16340 a, s
16350 a, s
16360 a, s
                  LIO OCF RA. manages iSCSI target LIO.
16370 a, s
                (c) 2009-2010 Florian Haas, Dejan Muhamedagic,
16380 a, s
16390 a, s
                              and Linux-HA contributors
16400 a.s
                   modified by Katsuaki Hamada (hamada@pc-office.net), 21 Nov 2016
16410 a, s
16420 a, s
16430 a, s
            # This program is free software; you can redistribute it and/or modify
           # it under the terms of version 2 of the GNU General Public License as
16440 a, s
            # published by the Free Software Foundation.
16450 a, s
16460 a.s
16470 a, s
           # This program is distributed in the hope that it would be useful, but
           # WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
16480 a, s
           # MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
16490 a.s
16500 a, s
            # Further, this software is distributed without any warranty that it is
16510 a, s
           # free of the rightful claim of any third person regarding infringement
16520 a. s
           # or the like. Any license provided herein, whether implied or
16530 a, s
           # otherwise, applies only to this software file. Patent licenses, if
16540 a, s
16550 a, s
           # any, provided herein do not apply to combinations of this program with
           # other software, or any other product whatsoever.
16560 a, s
16570 a, s
```

```
16580 a, s
           # You should have received a copy of the GNU General Public License
16590 a, s
           # along with this program; if not, write the Free Software Foundation,
16600 a, s
           # Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston MA 02111-1307, USA.
16610 a, s
16620 a, s
16630 a, s
            # Initialization:
16640 a, s
            : ${OCF_FUNCTIONS_DIR=${OCF_ROOT}/lib/heartbeat}
16650 a, s
            . ${OCF FUNCTIONS DIR}/ocf-shellfuncs
16660 a, s
16670 a, s
16680 a, s
            # Lockfile, used for selecting a target ID
           LOCKFILE=${HA RSCTMP}/target.lock
16690 a, s
16700 a, s
16710 a, s
16720 a, s
            meta data() {
16730 a, s
                    cat <<END
           <?xm1 version="1.0"?>
16740 a, s
           <!DOCTYPE resource-agent SYSTEM "ra-api-1.dtd">
16750 a, s
16760 a, s
           <resource-agent name="LIO" version="1.0">
           <version>0.9
16770 a, s
16780 a, s
           <longdesc lang="en">
16790 a, s
16800 a.s
            Manages iSCSI target LIO. An iSCSI target is a collection of SCSI Logical
           Units (LUs) exported via a daemon that speaks the iSCSI protocol.
16810 a, s
16820 a, s
            <shortdesc lang="en">iSCSI target export agent/shortdesc>
16830 a, s
16840 a, s
            coarameters>
16850 a, s
           cparameter name="ign" required="0" unique="1">
16860 a, s
           <longdesc lang="en">
16870 a, s
           The target iSCSI Qualified Name (IQN). Should follow the conventional
16880 a, s
           ign. yyyy-mm. <reversed domain name&gt; [:identifier] syntax.
16890 a, s
           16900 a, s
            <shortdesc lang="en">iSCSI target IQN</shortdesc>
16910 a, s
           <content type="string" />
16920 a, s
           </parameter>
16930 a, s
16940 a, s
            </parameters>
16950 a, s
16960 a, s
            <actions>
           <action name="start" timeout="10" />
16970 a, s
```

```
<action name="stop" timeout="10" />
16980 a, s
            <action name="status" timeout="10" interval="10" depth="0" />
16990 a, s
17000 a, s
            <action name="monitor" timeout="10" interval="10" depth="0" />
            <action name="meta-data" timeout="5" />
17010 a, s
            <action name="validate-all" timeout="10" />
17020 a, s
            </actions>
17030 a, s
            </resource-agent>
17040 a, s
17050 a, s
            END
17060 a, s
17070 a, s
17080 a, s
17090 a, s
17100 a, s
            LIO_usage() {
              cat <<END
17110 a, s
17120 a, s
            usage: $0 {start | stop | status | monitor | validate-all | meta-data}
17130 a, s
            Expects to have a fully populated OCF RA-compliant environment set.
17140 a, s
17150 a, s
            END
17160 a, s
17170 a, s
            LIO_start() {
17180 a, s
17190 a, s
              LIO_monitor
              [ $? = $OCF_SUCCESS ] && return $OCF_SUCCESS
17200 a, s
              /usr/bin/targetctl restore
17210 a, s
17220 a, s
              LIO monitor
17230 a, s
17240 a, s
17250 a, s
            LIO_stop() {
              LIO monitor
17260 a, s
              [ $? -eq $OCF_NOT_RUNNING ] || /usr/bin/targetctl clear
17270 a, s
              return $OCF SUCCESS
17280 a, s
17290 a, s
17300 a, s
17310 a, s
            LIO monitor() {
              for i in /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*
17320 a, s
17330 a, s
                [ -d $i ] && [ $(cat $i/tpgt_1/enable) -eq 1 ] && return $OCF_SUCCESS
17340 a, s
17350 a, s
              return $OCF NOT RUNNING
17360 a, s
17370 a, s
```

```
17380 a, s
           LIO_validate() {
17390 a, s
             if! ocf is probe; then
17400 a, s
               # Do we have all required binaries?
17410 a, s
               check_binary targetct1
17420 a, s
17430 a, s
             fi
             return $OCF_SUCCESS
17440 a, s
17450 a, s
17460 a, s
17470 a, s
           case $1 in
17480 a, s
             meta-data)
                        meta_data; exit $0CF_SUCCESS;;
             usage help) LIO usage; exit $0CF SUCCESS;;
17490 a, s
17500 a, s
           esac
17510 a, s
17520 a, s
           # Everything except usage and meta-data must pass the validate test
           LIO_validate
17530 a, s
17540 a, s
           case $__OCF_ACTION in
17550 a, s
17560 a, s
             start)
                             LIO_start;;
17570 a, s
             stop)
                            LIO_stop;;
            monitor status) LIO_monitor;;
17580 a, s
                            ocf_log err "Reloading..."; LIO_start;;
17590 a, s
             reload)
17600 a, s
             validate-all)
                            LIO_usage; exit $OCF_ERR_UNIMPLEMENTED;;
17610 a, s
             *)
17620 a, s
           esac
17630 a, s
           rc=$?
           ocf_log debug "${OCF_RESOURCE_INSTANCE} $__OCF_ACTION : $rc"
17640 a, s
17650 a, s
           exit $rc
17660 a, s
           EOF LIO
           sudo chmod 755 /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/LIO
17670 a, s
17680
           VIP に関するリソース・エージェント(IPaddr2)の名前を変更します。
17690
17700
           sed -e 's/IPaddr2/VIP/g' /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/IPaddr2 | sudo tee /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/VIP > /dev/null
17710 a, s
           sudo chmod 755 /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/VIP
17720 a, s
17730
               ※ LVM, LIO, VIP リソース・エージェント名文字数を統一し、「sudo pcs status」等の実行結果を見やすくします。
17740
               ※ サポート問い合わせ時は、IPaddr2 を上記のコマンドで変更している点を伝えないと話が通じないものと思われます。
17750
17760
           pcs の利用環境を整えます。
17770
```

```
17780
            echo 'password' | sudo passwd --stdin hacluster
17790 a, s
17800
            Changing password for user hacluster.
17810
            passwd: all authentication tokens updated successfully.
17820
17830 a, s
                                       /etc~/shadow $(date +%Y%m%d %H%M%S)
            sudo cp -a /etc/shadow
                                       /etc~/shadow-_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
17840 a, s
            sudo cp -a /etc/shadow-
17850
            sudo usermod -a -G haclient admin
17860 a, s
17870
17880 a, s
            id admin
            uid=1000 (admin) gid=1000 (admin) groups=1000 (admin), 10 (wheel), 189 (haclient)
17890
17900
17910 a, s
            sudo usermod -a -G haclient monitor
17920
17930 a, s
            id monitor
17940
            uid=1001 (monitor) gid=1001 (monitor) groups=1001 (monitor), 189 (haclient)
17950
17960 a, s
            sudo cp -a /etc/group
                                      /etc~/group_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
                                     /etc~/group-_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
17970 a, s
            sudo cp -a /etc/group-
17980
17990 a, s
            sudo systemctl start pcsd
            sudo systemctl enable pcsd
18000 a.s
18010
            Created symlink from /etc/systemd/system/multi-user.target.wants/pcsd.service to /usr/lib/systemd/system/pcsd.service.
18020
            Corosvnc のサービス設定を変更します。
18030
       \bigcirc
18040
            sed -e 's/#Restart=on-failure.*$/Restart=on-failure/' ¥
18050 a, s
             -e 's/^#RestartSec=.*$/RestartSec=70/' ¥
18060 a. s
             -e's%^#ExecStartPre=/sbin/modprobe softdog soft_margin=.*$%ExecStartPre=/sbin/modprobe softdog soft_margin=6%' \tilde{4}
18070 a, s
             /usr/lib/systemd/system/corosync.service | sudo tee /etc/systemd/system/corosync.service
18080 a, s
18090
            [Unit]
18100
            Description=Corosync Cluster Engine
            ConditionKernelCommandLine=!nocluster
18110
            Requires=network-online.target
18120
            After=network-online.target
18130
18140
18150
            [Service]
            ExecStart=/usr/share/corosync/corosync start
18160
18170
            ExecStop=/usr/share/corosync/corosync stop
```

```
Type=forking
18180
18190
18200
            # The following config is for corosync with enabled watchdog service.
18210
18220
              When corosync watchdog service is being enabled and using with
18230
              pacemaker. service, and if you want to exert the watchdog when a
18240
              corosync process is terminated abnormally,
18250
           # uncomment the line of the following Restart= and RestartSec=.
18260
            Restart=on-failure
18270
            # Specify a period longer than soft_margin as RestartSec.
18280
            RestartSec=70
            # rewrite according to environment.
18290
18300
           ExecStartPre=/sbin/modprobe softdog soft margin=6
18310
18320
           [Install]
18330
            WantedBy=multi-user.target
18340
                ※ カーネル内のソフトウェア watchdog 機能を有効化します。
18350
                ※ Corosync プロセス障害検知時間を6秒以内とします。
18360
18370
18380 a, s
           cat /etc/sysconfig/corosync
           # Corosync init script configuration file
18390
18400
18410
            # COROSYNC INIT TIMEOUT specifies number of seconds to wait for corosync
           # initialization (default is one minute).
18420
18430
           COROSYNC INIT TIMEOUT=60
18440
18450
            # COROSYNC_OPTIONS specifies options passed to corosync command
            # (default is no options).
18460
           # See "man corosync" for detailed descriptions of the options.
18470
           COROSYNC OPTIONS=""
18480
18490
           Pacemaker のサービス設定を変更します。
18500
18510
           sed -e "s%" # ExecStopPost=/bin/sh -c 'pidof crmd | killall -TERM corosync' $%ExecStopPost=/bin/sh -c 'pidof crmd | killall -TERM corosync' %" ¥
18520 a. s
            /usr/lib/systemd/system/pacemaker.service | sudo tee /etc/systemd/system/pacemaker.service
18530 a, s
18540
18550
            Description=Pacemaker High Availability Cluster Manager
18560
18570
           After=dbus. service
```

```
18580
            After=basic. target
18590
            After=syslog. service
18600
            After=network.target
18610
            After=corosync.service
18620
18630
            Requires=dbus. service
            Requires=basic.target
18640
18650
            Requires=corosync.service
18660
            # if you use crm mon, uncomment the line below.
18670
            # Wants=crm mon.service
18680
            [Install]
18690
            WantedBy=multi-user.target
18700
18710
18720
            [Service]
            Type=simple
18730
18740
            KillMode=process
18750
            NotifyAccess=main
18760
            EnvironmentFile=-/etc/sysconfig/pacemaker
18770
            EnvironmentFile=-/etc/sysconfig/sbd
18780
            SuccessExitStatus=100
18790
18800
            ExecStart=/usr/sbin/pacemakerd -f
18810
            # If pacemakerd doesn't stop, its probably waiting on a cluster
18820
18830
            # resource. Sending -KILL will just get the node fenced
18840
            SendSIGKILL=no
18850
            # If we ever hit the StartLimitInterval/StartLimitBurst limit and the
18860
18870
            # admin wants to stop the cluster while pacemakerd is not running, it
            # might be a good idea to enable the ExecStopPost directive below.
18880
18890
18900
            # Although the node will likely end up being fenced as a result so its
18910
            # not on by default
18920
            # ExecStopPost=/usr/bin/killall -TERM crmd attrd fenced cib pengine 1rmd
18930
18940
18950
            # If you want Corosync to stop whenever Pacemaker is stopped,
18960
            # uncomment the next line too:
18970
            #
```

```
ExecStopPost=/bin/sh -c 'pidof crmd || killall -TERM corosync'
18980
18990
19000
                         # Uncomment this for older versions of systemd that didn't support
19010
                         # TimeoutStopSec
19020
                         # TimeoutSec=30min
19030
19040
                         # Pacemaker can only exit after all managed services have shut down
19050
                         # A HA database could conceivably take even longer than this
19060
                         TimeoutStopSec=30min
19070
                         TimeoutStartSec=60s
19080
19090
                         # Restart options include: no, on-success, on-failure, on-abort or always
19100
                         Restart=on-failure
19110
19120
                         # crm perror() writes directly to stderr, so ignore it here
                         # to avoid double-logging with the wrong format
19130
                         StandardError=null
19140
19150
19160
                         # if you use crm_mon, uncomment the line below.
                         # ExecStopPost=/bin/sh -c 'systemctl status crm mon >/dev/null && systemctl stop crm mon'
19170
19180
                                   ※ Pacemaker サービス停止時に Corosync サービスを停止します。
19190
19200
                         sudo sed -i -e 's/# PCMK_fail_fast=.*$/PCMK_fail_fast=yes/' /etc/sysconfig/pacemaker
19210 a, s
                         sudo cp -a /etc/sysconfig/pacemaker /etc~/sysconfig/pacemaker_$(date +\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\pi}{\pi}\frace{\
19220 a, s
19230 a, s
                         cat /etc/sysconfig/pacemaker
                         # For non-systemd based systems, prefix export to each enabled line
19240
19250
19260
                         # Turn on special handling for CMAN clusters in the init script
19270
                         # Without this, fenced (and by inference, cman) cannot reliably be made to shut down
19280
                         # PCMK STACK=cman
19290
19300
                         #==#==# Variables that control logging
19310
19320
                         # Enable debug logging globally or per-subsystem
                         # Multiple subsystems may me listed separated by commas
19330
19340
                         # eg. PCMK debug=crmd, pengine
19350
                         # PCMK debug=yes no crmd pengine cib stonith-ng attrd pacemakerd
19360
19370
                         # Send INFO (and higher) messages to the named log file
```

```
19380
            # Additional messages may also appear here depending on any configured debug and trace settings
            # By default Pacemaker will inherit the logfile specified in corosync.conf
19390
19400
            # PCMK logfile=/var/log/pacemaker.log
19410
            # Specify an alternate syslog target for NOTICE (and higher) messages
19420
            # Use 'none' to disable - not recommended
19430
            # The default value is 'daemon'
19440
19450
            # PCMK logfacility=none|daemon|user|local0|local1|local2|local3|local4|local5|local6|local7
19460
19470
            # Send all messages up-to-and-including the configured priority to syslog
            # A value of 'info' will be far too verbose for most installations and 'debug' is almost certain to send you blind
19480
            # The default value is 'notice'
19490
            # PCMK_logpriority=emerg|alert|crit|error|warning|notice|info|debug
19500
19510
19520
            # Log all messages from a comma-separated list of functions
            # PCMK_trace_functions=function1, function2, function3
19530
19540
19550
            # Log all messages from a comma-separated list of files (no path)
19560
            # Supports wildcards eg. PCMK_trace_files=prefix*.c
19570
            # PCMK trace files=file.c, other.h
19580
19590
            # Log all messages matching comma-separated list of formats
            # PCMK trace formats="Sent delete %d"
19600
19610
19620
            # Log all messages from a comma-separated list of tags
19630
            # PCMK trace tags=tag1, tag2
19640
19650
            # Dump the blackbox whenever the message at function and line is printed
            # eg. PCMK trace blackbox=te graph trigger:223, unpack clone:81
19660
19670
            # PCMK trace blackbox=fn:line, fn2:line2,...
19680
            # Enable blackbox logging globally or per-subsystem
19690
19700
            # The blackbox contains a rolling buffer of all logs (including info+debug+trace)
19710
            # and is written after a crash, assertion failure and/or when SIGTRAP is received
19720
19730
            # The blackbox recorder can also be enabled for Pacemaker daemons at runtime by
19740
             sending SIGUSR1 (or SIGTRAP), and disabled by sending SIGUSR2
19750
19760
            # Multiple subsystems may me listed separated by commas
19770
            # eg. PCMK blackbox=crmd, pengine
```

```
19780
            # PCMK blackbox=ves no crmd pengine cib stonith-ng attrd pacemakerd
19790
19800
            #==#==# Advanced use only
19810
19820
            # Enable this for compatibility with older corosync (prior to 2.0)
19830
            # based clusters which used the nodes uname as its uuid also
19840
            # PCMK uname is uuid=no
19850
19860
            # Specify an alternate location for RNG schemas and XSL transforms
            # Mostly only useful for developer testing
19870
19880
            # PCMK schema directory=/some/path
19890
            # Enable this for rebooting this machine at the time of process (subsystem) failure
19900
19910
            PCMK fail fast=yes
19920
19930
            #==#==# Pacemaker Remote
19940
            # Use a custom directory for finding the authkey.
19950
            # PCMK authkey location=/etc/pacemaker/authkey
19960
19970
            # Specify a custom port for Pacemaker Remote connections
19980
            # PCMK remote port=3121
19990
20000
            #==#==# IPC
20010
20020
            # Force use of a particular class of IPC connection
20030
            # PCMK ipc type=shared-mem | socket | posix | sysv
20040
20050
            # Specify an IPC buffer size in bytes
            # Useful when connecting to really big clusters that exceed the default 20k buffer
20060
20070
            # PCMK ipc buffer=20480
20080
            #==#==# Profiling and memory leak testing
20090
20100
20110
            # Variables for running child daemons under valgrind and/or checking for memory problems
            # G SLICE=always-malloc
20120
            # MALLOC_PERTURB_=221 # or 0
20130
            # MALLOC CHECK =3
20140
                                  # or 0, 1, 2
20150
            # PCMK valgrind enabled=yes
20160
            # PCMK valgrind enabled=cib, crmd
20170
            # PCMK callgrind enabled=ves
```

```
20180
           # PCMK callgrind enabled=cib, crmd
           # VALGRIND OPTS="--leak-check=full --trace-children=no --num-callers=25 --log-file=/var/lib/pacemaker/valgrind-%p
20190
            --suppressions=/usr/share/pacemaker/tests/valgrind-pcmk.suppressions --gen-suppressions=all"
20200
20210
20220
                ※ Pacemaker の内部プロセス障害をノード障害として扱うようにします。
20230
           Pacemaker のリソース設定スクリプトを作成します。
20240
20250
20260 a, s
           cat << 'EOF'
                        sudo tee /etc/ha.d/crm.sh
           #!/bin/bash
20270 a, s
20280 a, s
           pcs property set batch-limit=30
           pcs property set cluster-delay=60
20290 a, s
           pcs property set cluster-recheck-interval=15min
20300 a, s
20310 a, s
           pcs property set crmd-finalization-timeout=30min
20320 a, s
           pcs property set crmd-integration-timeout=3min
           pcs property set crmd-transition-delay=0s
20330 a, s
           pcs property set dc-deadtime=20s
20340 a, s
20350 a, s
           pcs property set default-action-timeout=20
20360 a, s
           pcs property set election-timeout=2min
           pcs property set enable-acl=true --force
20370 a.s
           pcs property set enable-startup-probes=true
20380 a, s
           pcs property set is-managed-default=true
20390 a, s
           pcs property set load-threshold=80%
20400 a.s
20410 a, s
           pcs property set maintenance-mode=false
           pcs property set migration-limit=-1
20420 a, s
20430 a. s
           pcs property set no-quorum-policy=ignore
20440 a, s
           pcs property set node-action-limit=0
           pcs property set node-health-green=0
20450 a, s
           pcs property set node-health-red=-INFINITY
20460 a.s
20470 a, s
           pcs property set node-health-strategy=none
           pcs property set node-health-vellow=0
20480 a, s
           pcs property set notification-agent=/dev/null
20490 a, s
20500 a, s
           pcs property set pe-error-series-max=100
20510 a, s
           pcs property set pe-input-series-max=100
           pcs property set pe-warn-series-max=100
20520 a.s
20530 a, s
           pcs property set placement-strategy=default
           pcs property set remove-after-stop=false
20540 a, s
           pcs property set shutdown-escalation=20min
20550 a. s
20560 a, s
           pcs property set start-failure-is-fatal=true
           pcs property set startup-fencing=true
20570 a, s
```

```
20580 a, s
            pcs property set stonith-action=reboot
20590 a, s
            pcs property set stonith-enabled=false
20600 a, s
            pcs property set stonith-timeout=60
            pcs property set stop-all-resources=false
20610 a, s
            pcs property set stop-orphan-actions=true
20620 a, s
20630 a, s
            pcs property set stop-orphan-resources=true
            pcs property set symmetric-cluster=true
20640 a, s
20650 a, s
            pcs resource defaults resource-stickiness=200 migration-threshold=2
20660 a, s
20670 a, s
20680 a, s
            pcs acl role create write-access description="Full access" write xpath /cib
            pcs acl role create read-only description="Read access to cluster" read xpath /cib
20690 a, s
20700 a, s
20710 a, s
            pcs acl user create admin write-access
20720 a, s
            pcs acl user create monitor read-only
20730 a, s
20740 a, s
            pcs resource create p_drbd_r0 ocf:linbit:drbd \u22a8
20750 a, s
              params drbd resource=r0 ¥
20760 a, s
                                                   timeout=240 ¥
              op start
              op monitor interval=10 role=Master timeout=20 ¥
20770 a.s
              op monitor interval=20 role=Slave timeout=20 ¥
20780 a, s
20790 a, s
              op notify
                                                   timeout=90 ¥
20800 a.s
                                                   timeout=100 ¥
              op stop
20810 a, s
                                                   timeout=90 ¥
              op promote
20820 a, s
                                                   timeout=90
              op demote
20830 a. s
20840 a, s
            pcs resource master ms_drbd_r0 p_drbd_r0 ¥
              meta master-max=1 master-node-max=1 clone-max=2 ¥
20850 a, s
              clone-node-max=1 notify=true target-role=Started ¥
20860 a.s
20870 a, s
              is-managed=true
20880 a, s
            pcs resource create p_lvm ocf:heartbeat:LVM ¥
20890 a, s
20900 a, s
              params volgrpname=vg1 ¥
                                      timeout=30 ¥
20910 a, s
              op start
20920 a. s
              op monitor interval=5 timeout=10 ¥
20930 a, s
                                      timeout=30
              op stop
20940 a, s
20950 a. s
            pcs resource create p_lio ocf:heartbeat:LIO \{\forall}
20960 a, s
              op start
                                     timeout=10 ¥
              op monitor interval=5 timeout=5 ¥
20970 a, s
```

```
20980 a, s
                                    timeout=10
              op stop
20990 a, s
21000 a, s
           pcs resource create p vip ocf:heartbeat:VIP ¥
             params ip=10.110.88.59 cidr_netmask=26 nic=bond0 iflabel=1 arp_interval=200 arp_count=5 \u2204
21010 a, s
21020 a, s
              op start
                                    timeout=20 ¥
21030 a, s
              op monitor interval=5 timeout=10 ¥
21040 a, s
              op stop
                                    timeout=20
21050 a, s
21060 a, s
           pcs resource group add g_tgt p_lvm p_lio p_vip
21070 a, s
21080 a, s
           pcs constraint location add lc_tgt g_tgt iscsitgt0la.example.com 100
21090 a, s
21100 a, s
           pcs constraint colocation add g_tgt \u21a4
             ms drbd_r0 INFINITY with-rsc-role=Master
21110 a, s
21120 a, s
           pcs constraint order promote ms_drbd_r0 then start p_lvm
21130 a, s
21140 a, s
           EOF
21150 a. s
           sudo chmod 755 /etc/ha.d/crm.sh
21160 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/ha. d/crm. sh
21170
           ※ ここからの作業は、Active 機と Stand-by 機が連動して動作していく前提の操作となります。
21180
21190
           Active 機と Stand-by 機の間の疎通を確認します。
21200
       21210
           ping -c 1 -M do -s 8972 10.110.88.57 | echo Error
21220 a, s
21230
           PING 10.110.88.57 (10.110.88.57) 8972(9000) bytes of data.
21240
            8980 bytes from 10.110.88.57: icmp seq=1 ttl=64 time=0.136 ms
21250
21260
           --- 10.110.88.57 ping statistics ---
21270
           1 packets transmitted, 1 received, 0% packet loss, time 0ms
21280
           rtt min/avg/max/mdev = 0.136/0.136/0.136/0.000 ms
21290
21300 a, s
           traceroute -F 10.110.88.57 8972
21310
           traceroute to 10.110.88.57 (10.110.88.57), 30 hops max, 8972 byte packets
            1 iscsitgt01a. example. com (10.110.88.57) 0.303 ms 0.265 ms 0.256 ms
21320
21330
           ping -c 1 -M do -s 8972 10.110.88.58 | echo Error
21340 a, s
21350 a. s
           traceroute -F 10.110.88.58 8972
21360
           ping -c 1 -M do -s 8972 192.168.1.2 || echo Error
21370 a, s
```

```
21380 a, s
           traceroute -F 192.168.1.2 8972
21390
           ping -c 1 -M do -s 8972 192.168.1.3 | echo Error
21400 a, s
           traceroute -F 192, 168, 1, 3, 8972
21410 a, s
21420
           Active 機で ssh 鍵を作成し、Stand-by 機にコピーします。
21430
       \bigcirc
21440
           ssh-keygen -q -f ~/.ssh/id_rsa -N ""
21450
21460
           my -f ~/. ssh/id rsa. pub ~/. ssh/authorized keys
           scp -pr .ssh/ iscsitgt01s:
21470
           The authenticity of host 'iscsitgt01s (10.110.88.58)' can't be established.
21480
           ECDSA key fingerprint is cf:3a:39:91:fc:c9:ac:5c:4e:16:38:72:97:88:28:b2.
21490
           Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
21500
21510
           Warning: Permanently added 'iscsitgt01s, 10.110.88.58' (ECDSA) to the list of known hosts.
21520
           admin@iscsitgt01s's password: ******
21530
           id rsa
                                                             100% 1679
                                                                           1.6KB/s
                                                                                    00:00
           authorized keys
                                                                                    00:00
21540
                                                             100% 411
                                                                           0.4KB/s
21550
           known hosts
                                                             100% 186
                                                                           0.2KB/s
                                                                                    00:00
21560
           Active 機と Stand-by 機で、ssh 鍵を root アカウント用にコピーします。
21570
21580
21590 a, s
           sudo cp -a .ssh//root/
21600 a.s
           sudo chown -R root:root /root/.ssh
21610
           Active 機と Stand-by 機でほぼ同時に DRBD サービスを起動します。
21620
21630
21640 a, s
           sudo systemctl start drbd. service
21650
           Stand-by 機で DRBD の状態をワッチします。
21660
21670
21680
          watch cat /proc/drbd
21690
           Every 2.0s: cat /proc/drbd
                                                                  Fri Nov 25 16:35:43 2016
21700
21710
           version: 8.4.5 (api:1/proto:86-101)
           srcversion: 1AEFF755B8BD61B81A0AF27
21720
21730
            0: cs:Connected ro:Secondary/Secondary ds:Inconsistent/Inconsistent C r----
21740
               ns:0 nr:0 dw:0 dr:0 al:0 bm:0 lo:0 pe:0 ua:0 ap:0 ep:1 wo:f oos:377459420
21750
           Active 機で DRBD の初期同期を開始します。
21760
21770
```

```
21780
          sudo drbdadm primary —force all
21790
           Stand-by 機で DRBD の状態を確認します。
21800
21810
21820
           Every 2.0s: cat /proc/drbd
                                                                Fri Nov 25 16:36:21 2016
21830
           version: 8.4.5 (api:1/proto:86-101)
21840
21850
           srcversion: 1AEFF755B8BD61B81A0AF27
21860
            0: cs:SyncTarget ro:Secondary/Primary ds:Inconsistent/UpToDate C r----
              ns:0 nr:0 dw:0 dr:355856 al:0 bm:0 lo:0 pe:0 ua:0 ap:0 ep:1 wo:f oos:377103564
21870
                  [>.....] sync'ed: 0.1% (368264/368612)M
21880
                  finish: 0:52:57 speed: 118.616 (118.616) want: 102.400 K/sec
21890
21900
           ※ この状態でも、Active 機側で作業を続行できます。今回は、初期同期の完了を待つことにします。
21910
21920
21930
           Every 2.0s: cat /proc/drbd
                                                                Fri Nov 25 17:44:37 2016
21940
21950
           version: 8.4.5 (api:1/proto:86-101)
21960
           srcversion: 1AEFF755B8BD61B81A0AF27
21970
            0: cs:Connected ro:Secondary/Primary ds:UpToDate/UpToDate C r----
              ns:0 nr:0 dw:0 dr:377459420 al:0 bm:0 lo:0 pe:0 ua:0 ap:0 ep:1 wo:f oos:0
21980
21990
               「自機/対向機」がともに「UpToDate/UpToDate」となっているのが正常な状態です。
22000
22010
           Active 機で DRBD デバイス上に LVM を構成します。
22020
22030
22040
           sudo pycreate /dev/drbd0
            Physical volume "/dev/drbd0" successfully created
22050
22060
22070
          sudo vgcreate -s 4M vg1 /dev/drbd0
             Volume group "vg1" successfully created
22080
22090
22100
          sudo lvcreate --name lv-lun0000 --extents 90%VG vgl
            Logical volume "lv-lun0000" created.
22110
22120
22130
          sudo lvcreate --name lv-lun0001 --extents 2%VG vgl
            Logical volume "lv-lun0001" created.
22140
22150
22160
          sudo lvcreate --name lv-lun0002 --extents 2%VG vgl
            Logical volume "lv-lun0002" created.
22170
```

```
22180
22190
        sudo lvcreate --name lv-lun0003 --extents 2%VG vg1
22200
         Logical volume "lv-lun0003" created.
22210
22220
        sudo pvs
22230
         PV
                 VG
                    Fmt Attr PSize
                                PFree
         /dev/drbd0 vg1 1vm2 a-- 359.97g 14.40g
22240
22250
         /dev/sdc1 vg0 lvm2 a-- 100.00g
         /dev/sdd1 vg0 1vm2 a-- 100.00g
22260
22270
         /dev/sde1 vg0 1vm2 a-- 100.00g
22280
         /dev/sdf1 vg0 1vm2 a-- 100.00g 40.00g
22290
22300
        sudo vgs
22310
         VG #PV #LV #SN Attr VSize VFree
22320
                    0 wz--n- 399.98g 40.00g
                    0 wz--n- 359.97g 14.40g
22330
              1 4
         vg1
22340
22350
        sudo lvs
22360
         LV
                            LSize
                                  Pool Origin Data% Meta% Move Log Cpy%Sync Convert
                    Attr
                 vg0 -wi-ao--- 359.98g
22370
         1v-drbd0
22380
         1v-1un0000 vg1 -wi-a---- 323.97g
22390
         1v-1un0001 vg1 -wi-a---- 7.20g
         1v-1un0002 vg1 -wi-a---- 7.20g
22400
22410
         1v-1un0003 vg1 -wi-a---- 7. 20g
22420
        Active 機で、targetcli から状態を確認します。
22430
22440
22450
        sudo targetcli ls /
        o- / ..... [...]
22460
22470
         o- block ...... [Storage Objects: 0]
22480
           o- fileio ...... [Storage Objects: 0]
22490
           22500
           o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
22510
22520
         22530
         o- loopback ...... [Targets: 0]
22540
22550
        Active 機で、IQN を定義します。
22560
22570
        sudo targetcli /iscsi create ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000
```

```
Created target iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000.
22580
22590
            Created TPG 1.
22600
22610
            sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1 set attribute default_cmdsn_depth = 128
            Parameter default cmdsn depth is now '128'.
22620
22630
           sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1 set parameter MaxConnections = 1
22640
22650
            Parameter MaxConnections is now '1'.
22660
22670
            sudo targetcli /iscsi create iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001
22680
            Created target iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001.
            Created TPG 1.
22690
22700
22710
           sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1 set attribute default_cmdsn_depth = 128
22720
            Parameter default cmdsn depth is now '128'.
22730
22740
           sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1 set parameter MaxConnections = 1
            Parameter MaxConnections is now '1'.
22750
22760
22770
           sudo targetcli /iscsi create iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0002
            Created target iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002.
22780
22790
            Created TPG 1.
22800
           sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1 set attribute default_cmdsn_depth = 128
22810
            Parameter default_cmdsn_depth is now '128'.
22820
22830
22840
           sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1 set parameter MaxConnections = 1
22850
            Parameter MaxConnections is now '1'.
22860
22870
           sudo targetcli /iscsi create iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003
22880
            Created target ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003.
22890
            Created TPG 1.
22900
22910
           sudo targetcli /iscsi/ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003/tpg1 set attribute default cmdsn depth = 128
            Parameter default cmdsn depth is now '128'.
22920
22930
            sudo targetcli /iscsi/ign, 2016-09, com, example:iscsitgt01-0003/tpg1 set parameter MaxConnections = 1
22940
22950
            Parameter MaxConnections is now '1'.
22960
22970
           sudo targetcli ls /
```

```
22980
   o- / ..... [...]
22990
   23000
    23010
    23020
    23030
   o- iscsi ...... [Targets: 4]
23040
    o- ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000 ..... [TPGs: 1]
23050
23060
    o- tpg1 ...... [no-gen-acls, no-auth]
     o- acls ...... [ACLs: 0]
23070
     23080
     o- portals ...... [Portals: 0]
23090
    o- ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001 ..... [TPGs: 1]
23100
    o- tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
23110
23120
     o- acls ...... [ACLs: 0]
23130
     23140
    23150
23160
    23170
     23180
     23190
    23200
    o- tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
23210
23220
     o- acls ..... [ACLs: 0]
23230
     23240
   o- loopback ...... [Targets: 0]
23250
23260
```

- 23270 〇 Active 機で、ACL(アクセス許可リスト)にイニシエータ名を登録します。必要に応じて CHAP 認証情報も紐付けします。
- 23290 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator01
 23300 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator01
- 23320 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth userid=iscsiuser01 23330 Parameter userid is now 'iscsiuser01'.
 - sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth password-user01' Parameter password is now 'password-user01'.

- 23380 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator01
 23390 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator01
 23400
- 23410 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth userid=iscsiuser01 23420 Parameter userid is now 'iscsiuser01'.

 23430
- 23440 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth password-user01' 23450 Parameter password is now 'password-user01'.
- 23470 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator01
 23480 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator01

23490

23520

23550

23580

23610

23640

23680

23710

23740

- 23500 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth userid=iscsiuser01 23510 Parameter userid is now 'iscsiuser01'.
- 23530 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth password='password-user01' 23540 Parameter password is now 'password-user01'.
- 23560 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator01
 23570 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator01
- 23590 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth userid=iscsiuser01 23600 Parameter userid is now 'iscsiuser01'.
- 23620 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth password='password-user01' 23630 Parameter password is now 'password-user01'.
- 23650
 23660 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator02
 23670 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator02
- 23690 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth userid=iscsiuser02 23700 Parameter userid is now 'iscsiuser02'.
- 23720 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth password='password-user02' Parameter password is now 'password-user02'.
- 23750 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator02
 23760 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator02

23780 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth userid=iscsiuser02 23790 Parameter userid is now 'iscsiuser02'.

23800

23830

23860

23890

23920

23950

23980

24010 24020 24030

24040

24110

24140

- 23810 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth password='password-user02' 23820 Parameter password is now 'password-user02'.
- 23840 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator02
 23850 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator02
- 23870 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth userid=iscsiuser02 23880 Parameter userid is now 'iscsiuser02'.
- 23900 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth password-user02' 23910 Parameter password is now 'password-user02'.
- 23930 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator02
 23940 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator02
- 23960 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth userid=iscsiuser02 23970 Parameter userid is now 'iscsiuser02'.
- 23990 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth password-user02' 24000 Parameter password is now 'password-user02'.
 - a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator03
 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator03
- 24050
 24060 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth userid=iscsiuser03
 24070 Parameter userid is now 'iscsiuser03'.
- 24080
 24090 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth password-user03'
 24100 Parameter password is now 'password-user03'.
- 24120 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator03
 24130 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator03
- 24150 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth userid=iscsiuser03 24160 Parameter userid is now 'iscsiuser03'.

- 24180 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth password-user03'
 24190 Parameter password is now 'password-user03'.
 24200
- 24210 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator03
 24220 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator03
- sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth userid=iscsiuser03 24250 Parameter userid is now 'iscsiuser03'.

24260

24290

24320

24350

2438024390

24400 24410

24420

24450

24480

24510

- 24270 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth password-user03' 24280 Parameter password is now 'password-user03'.
- 24300 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator03
 24310 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator03
- 24330 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth userid=iscsiuser03 24340 Parameter userid is now 'iscsiuser03'.
- 24360 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth password-user03' Parameter password is now 'password-user03'.
 - a sudo targetcli /iscsi/iqn.2016-09.com.example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls create iqn.2016-09.com.example:initiator04

 Created Node ACL for iqn.2016-09.com.example:initiator04
- 24430 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth userid=iscsiuser04 24440 Parameter userid is now 'iscsiuser04'.
- 24460 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth password='password-user04' 24470 Parameter password is now 'password-user04'.
- 24490 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator04
 24500 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator04
- sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth userid=iscsiuser04

 24530 Parameter userid is now 'iscsiuser04'.
- 24550 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth password-user04'
 24560 Parameter password is now 'password-user04'.
 24570

```
sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com, example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com, example:initiator04
24580
24590
        Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator04
24600
24610
         sudo targetcli /iscsi/iqn, 2016-09. com, example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn, 2016-09. com, example:initiator04 set auth userid=iscsiuser04
24620
        Parameter userid is now 'iscsiuser04'.
24630
         sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth password-user04'
24640
24650
        Parameter password is now 'password-user04'.
24660
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator04
24670
24680
        Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator04
24690
         sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth userid=iscsiuser04
24700
24710
        Parameter userid is now 'iscsiuser04'.
24720
         sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth password-user04'
24730
     а
24740
        Parameter password is now 'password-user04'.
24750
24760
        sudo targetcli ls /
        o- / ...... [...]
24770
24780
         24790
           o- fileio ...... [Storage Objects: 0]
24800
           24810
           o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
24820
24830
          o- iscsi ...... [Targets: 4]
           24840
            o- tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
24850
              o- acls ...... [ACLs: 4]
24860
               o- ign, 2016-09, com, example:initiator01 ...... [Mapped LUNs: 0]
24870
               o- ign. 2016-09. com, example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 0]
24880
               o- iqn. 2016-09. com. example:initiator03 ...... [Mapped LUNs: 0]
24890
               o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ...... [Mapped LUNs: 0]
24900
              24910
24920
              o- portals ..... [Portals: 0]
           24930
            o- tpg1 ...... [no-gen-acls, no-auth]
24940
24950
              o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 0]
24960
               o- ign. 2016-09. com. example:initiator02 ...... [Mapped LUNs: 0]
24970
```

```
24980
              o- ign. 2016-09. com. example: initiator 03 ...... [Mapped LUNs: 0]
              o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ...... [Mapped LUNs: 0]
24990
            25000
25010
            25020
           25030
25040
            o- acls ...... [ACLs: 4]
              o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 0]
25050
25060
              o- ign. 2016-09. com. example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 0]
              o- iqn. 2016-09. com. example:initiator03 ...... [Mapped LUNs: 0]
25070
              o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ...... [Mapped LUNs: 0]
25080
            25090
25100
            25110
25120
           25130
            o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 0]
25140
              o- iqn, 2016-09. com, example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 0]
25150
25160
              o- iqn. 2016-09. com. example:initiator03 ...... [Mapped LUNs: 0]
25170
              o- ign. 2016-09. com. example: initiator 04 ...... [Mapped LUNs: 0]
            25180
            o- portals . . . . . [Portals: 0]
25190
25200
        25210
       Active 機で、バックエンド・デバイスを指定し、IQN に紐付けます。
25220
25230
25240
       sudo targetcli /backstores/block create name=lun0000 dev=/dev/vg1/lv-lun0000
       Created block storage object lun0000 using /dev/vg1/lv-lun0000.
25250
25260
       sudo targetcli /iscsi/ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/luns create /backstores/block/lun0000
25270
25280
       Created LUN 0.
25290
       Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com. example: initiator04
25300
       Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator03
25310
       Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com. example:initiator02
       Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator01
25320
25330
25340
25350
       sudo targetcli /backstores/block create name=lun0001 dev=/dev/vg1/lv-lun0001
       Created block storage object lun0001 using /dev/vgl/lv-lun0001.
```

```
25380
         sudo targetcli /iscsi/ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0001/tpg1/luns create /backstores/block/lun0001
25390
         Created LUN O.
25400
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator04
25410
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator03
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator02
25420
25430
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator01
25440
25450
25460
         sudo targetcli /backstores/block create name=lun0002 dev=/dev/vg1/lv-lun0002
         Created block storage object lun0002 using /dev/vgl/lv-lun0002.
25470
25480
         sudo targetcli /iscsi/ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/luns create /backstores/block/lun0002
25490
25500
         Created LUN 0.
25510
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator04
25520
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator03
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator02
25530
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator01
25540
25550
25560
25570
         sudo targetcli /backstores/block create name=lun0003 dev=/dev/vg1/lv-lun0003
         Created block storage object lun0003 using /dev/vg1/lv-lun0003.
25580
25590
         sudo targetcli /iscsi/ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003/tpg1/luns create /backstores/block/lun0003
25600
25610
         Created LUN 0.
25620
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator04
25630
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator03
25640
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator02
         Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator01
25650
25660
25670
         sudo targetcli ls /
         o- / ..... [...]
25680
           25690
             25700
              o- lun0000 ...... [/dev/vg1/lv-lun0000 (324.0GiB) write-thru activated]
25710
              o- lun0001 ...... [/dev/vg1/lv-lun0001 (7.2GiB) write-thru activated]
25720
              o- lun0002 ...... [/dev/vg1/lv-lun0002 (7.2GiB) write-thru activated]
25730
              o- lun0003 ..... [/dev/vg1/lv-lun0003 (7.2GiB) write-thru activated]
25740
25750
             25760
25770
```

```
25780
25790
        25800
         o- tpg1 ...... [no-gen-acls, no-auth]
25810
          o- iqn. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 1]
25820
25830
            25840
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator 02 ..... [Mapped LUNs: 1]
25850
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0000 (rw)]
          o- iqn. 2016-09. com. example:initiator03 ...... [Mapped LUNs: 1]
25860
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0000 (rw)]
25870
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
25880
            25890
25900
          o- luns ...... [LUNs: 4]
           o- lun0 ...... [block/lun0000 (/dev/vg1/lv-lun0000)]
25910
25920
        o- tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
25930
          25940
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 1]
25950
25960
            o- mapped_lun0 ...... [lun0 block/lun0001 (rw)]
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
25970
            25980
           o-ign. 2016-09. com. example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
25990
            26000
           o- iqn. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
26010
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0001 (rw)]
26020
26030
          o- lun0 ...... [block/lun0001 (/dev/vg1/lv-lun0001)]
26040
26050
        o- tpgl ...... [no-gen-acls, no-auth]
26060
26070
          o- acls ...... [ACLs: 4]
           o- ign, 2016-09. com, example:initiator01 ...... [Mapped LUNs: 1]
26080
            o- mapped_lun0 ...... [lun0 block/lun0002 (rw)]
26090
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
26100
            26110
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
26120
            26130
           o- ign, 2016-09, com, example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
26140
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
26150
          26160
           26170
```

```
26180
           o- ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003 ...... [TPGs: 1]
            26190
              o- acls ..... [ACLs: 4]
26200
               o- iqn. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 1]
26210
                 o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
26220
               o- iqn. 2016-09. com. example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
26230
                 o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
26240
26250
               o- iqn. 2016-09. com. example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
                 o- mapped 1un0 ...... [1un0 block/1un0003 (rw)]
26260
               o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
26270
                 o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
26280
              o- luns ...... [LUNs: 1]
26290
               o- lun0 ...... [block/lun0003 (/dev/vg1/lv-lun0003)]
26300
26310
              26320
26330
        Active 機で、IQN に portal を作成します。
26340
26350
26360
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/portals create 10.110.88.59 3260
26370
        Using default IP port 3260
        Created network portal 10.110.88.59:3260.
26380
26390
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/portals create 10.110.88.59 3260
26400
        Using default IP port 3260
26410
26420
        Created network portal 10.110.88.59:3260.
26430
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/portals create 10.110.88.59 3260
26440
        Using default IP port 3260
26450
        Created network portal 10.110.88.59:3260.
26460
26470
        sudo targetcli /iscsi/ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003/tpg1/portals create 10.110.88.59 3260
26480
26490
        Using default IP port 3260
        Created network portal 10.110.88.59:3260.
26500
26510
        sudo targetcli ls /
26520
        o- / ..... [...]
26530
         26540
26550
           o- lun0000 ...... [/dev/vg1/lv-lun0000 (324.0GiB) write-thru activated]
26560
            o- lun0001 ..... [/dev/vg1/lv-lun0001 (7.2GiB) write-thru activated]
26570
```

```
26580
          o- lun0002 ..... [/dev/vg1/lv-lun0002 (7.2GiB) write-thru activated]
          o- lun0003 ...... [/dev/vg1/lv-lun0003 (7.2GiB) write-thru activated]
26590
         o- fileio ...... [Storage Objects: 0]
26600
26610
        o- pscsi ...... [Storage Objects: 0]
26620
        o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
       26630
26640
         o- tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
26650
26660
           o- ign. 2016-09. com, example: initiator 01 ................. [Mapped LUNs: 4]
26670
             o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0000 (rw)]
26680
            o- iqn. 2016-09. com. example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 1]
26690
26700
            o- iqn. 2016-09. com. example: initiator 03 ................. [Mapped LUNs: 1]
26710
26720
            o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0000 (rw)]
            o- iqn. 2016-09. com. example:initiator04 ...... [Mapped LUNs: 1]
26730
             o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0000 (rw)]
26740
26750
           o- luns ...... [LUNs: 1]
            o- lun0 ...... [block/lun0000 (/dev/vg1/lv-lun0000)]
26760
           26770
26780
            o- ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001 ..... [TPGs: 1]
26790
          o- tpg1 ...... [no-gen-acls, no-auth]
26800
26810
           o- acls ...... [ACLs: 4]
            o- ign. 2016-09. com. example: initiator 01 ................. [Mapped LUNs: 1]
26820
26830
             o- ign. 2016-09. com. example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 1]
26840
            o-mapped_lun0 ...... [lun0 block/lun0001 (rw)]
26850
            o- ign, 2016-09, com, example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
26860
26870
            o- ign, 2016-09. com, example:initiator04 ...... [Mapped LUNs: 1]
26880
             o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0001 (rw)]
26890
           26900
            o- lun0 ...... [block/lun0001 (/dev/vg1/lv-lun0001)]
26910
           o- portals . . . . . [Portals: 1]
26920
26930
            o- 10.110.88.59:3260 .....
        26940
26950
          o- tpg1 ...... [no-gen-acls, no-auth]
           26960
            o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 1]
26970
```

```
o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
26980
             o- ign. 2016-09. com. example: initiator 02 ................ [Mapped LUNs: 1]
26990
27000
              27010
             o- iqn. 2016-09. com. example: initiator 03 ...... [Mapped LUNs: 1]
              27020
              o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
27030
               o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
27040
27050
            o- lun0 ...... [block/lun0002 (/dev/vg1/lv-lun0002)]
27060
            27070
              27080
          o- iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003 ...... [TPGs: 1]
27090
           o- tng1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
27100
27110
            o- ign, 2016-09, com, example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 1]
27120
              o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
27130
             o- iqn. 2016-09. com. example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 1]
27140
              o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0003 (rw)]
27150
27160
              o- ign, 2016-09, com, example: initiator 03 ...... [Mapped LUNs: 1]
              o- mapped lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
27170
             o- ign. 2016-09. com, example: initiator 04 ................. [Mapped LUNs: 1]
27180
               o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
27190
27200
            o- lun0 ...... [block/lun0003 (/dev/vg1/lv-lun0003)]
27210
27220
            27230
              o- loopback ...... [Targets: 0]
27240
27250
27260
       ss -ant
             grep LISTEN. ¥*3260
27270
       LISTEN
                   256
                       10, 110, 88, 59:3260
                                                *:*
27280
       Active 機で、設定ファイルに設定を保存し、Stand-by 機にコピーします。
27290
27300
27310
       sudo targetcli saveconfig
       Last 10 configs saved in /etc/target/backup.
27320
27330
       Configuration saved to /etc/target/saveconfig. json
27340
27350
       sudo scp -p /etc/target/saveconfig. json iscsitgt01s:/etc/target/saveconfig. json
27360
                                         11KB 11.0KB/s
       saveconfig. json
                                                    00:00
27370
```

```
Active 機で、設定ファイルを確認します。
27380
27390
27400
            sudo cat /etc/target/saveconfig.json
27410
              "fabric modules": [],
27420
              "storage objects": [
27430
27440
27450
                   "attributes":
27460
                    "block size": 512,
                    "emulate_3pc": 1,
27470
                    "emulate caw": 1,
27480
                    "emulate dpo": 0,
27490
                    "emulate_fua_read": 0,
27500
                    "emulate fua write": 1,
27510
                    "emulate model alias": 1,
27520
27530
                    "emulate_rest_reord": 0,
                    "emulate tas": 1,
27540
                    "emulate tpu": 0,
27550
                    "emulate_tpws": 0,
27560
27570
                    "emulate ua intlck ctrl": 0,
                    "emulate write cache": 0,
27580
27590
                    "enforce_pr_isids": 1,
                    "force pr aptpl": 0,
27600
                    "is nonrot": 0,
27610
                     "max_unmap_block_desc_count": 1,
27620
                    "max unmap 1ba count": 8192,
27630
27640
                    "max write same len": 65535,
                    "optimal_sectors": 2048,
27650
                     "pi_prot_format": 0,
27660
                     "pi_prot_type": 0,
27670
                     queue_depth": 128,
27680
                     "unmap granularity": 2048,
27690
                    "unmap_granularity_alignment": 0
27700
27710
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0003",
27720
                   "name": "lun0003",
27730
                  "plugin": "block",
27740
27750
                  "readonly": false,
                  "write back": false,
27760
                  "wwn": "03880f22-4ca1-48e8-b6e5-cf303af79ade"
27770
```

```
27780
27790
                   "attributes": {
27800
                     "block_size": 512,
27810
27820
                     "emulate 3pc": 1,
                     "emulate caw": 1,
27830
                     "emulate_dpo": 0,
27840
27850
                     "emulate fua read": 0,
27860
                     "emulate fua write": 1,
27870
                     "emulate_model_alias": 1,
                     "emulate rest reord": 0,
27880
                     "emulate tas": 1,
27890
                     "emulate_tpu": 0,
27900
                     "emulate tpws": 0,
27910
27920
                     "emulate ua intlck ctrl": 0,
                     "emulate_write_cache": 0,
27930
                     "enforce pr isids": 1,
27940
                     "force pr aptpl": 0,
27950
                     "is nonrot": 0,
27960
27970
                     "max unmap block desc count": 1,
                     "max unmap 1ba count": 8192,
27980
                     "max_write_same_len": 65535,
27990
                     "optimal sectors": 2048,
28000
                     "pi prot format": 0,
28010
                     "pi_prot_type": 0,
28020
                     "queue_depth": 128,
28030
28040
                     "unmap granularity": 2048,
                     "unmap granularity alignment": 0
28050
28060
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0002",
28070
                   "name": "lun0002",
28080
                   "plugin": "block",
28090
28100
                   "readonly": false,
                   "write back": false,
28110
                   "wwn": "9c5e3ced-aea8-46d5-89a8-c5944a1d4cd3"
28120
28130
28140
28150
                   "attributes": {
                     "block size": 512,
28160
                     "emulate 3pc": 1,
28170
```

```
"emulate caw": 1.
28180
                     "emulate dpo": 0,
28190
                     "emulate fua read": 0,
28200
                     "emulate fua write": 1,
28210
28220
                     "emulate model alias": 1,
                     "emulate rest reord": 0,
28230
                     "emulate tas": 1,
28240
                     "emulate tpu": 0,
28250
28260
                     "emulate tpws": 0,
28270
                     "emulate_ua_intlck_ctrl": 0,
                     "emulate write cache": 0,
28280
28290
                     "enforce pr isids": 1,
                     "force_pr_aptp1": 0,
28300
                     "is nonrot": 0,
28310
28320
                     "max unmap block desc count": 1,
                     "max_unmap_lba_count": 8192,
28330
                     "max write same len": 65535,
28340
                     "optimal sectors": 2048,
28350
                     "pi_prot_format": 0,
28360
28370
                     "pi prot type": 0,
28380
                      queue depth": 128,
                     "unmap_granularity": 2048,
28390
                     "unmap granularity alignment": 0
28400
28410
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0001",
28420
28430
                   "name": "lun0001",
28440
                   "plugin": "block",
                   "readonly": false,
28450
                   "write back": false,
28460
                   "wwn": "5a7d4ce5-206e-40f2-a22f-b143637136ab"
28470
28480
28490
28500
                   "attributes": {
                     "block size": 512,
28510
                     "emulate 3pc": 1,
28520
                     "emulate_caw": 1,
28530
                     "emulate dpo": 0,
28540
28550
                     "emulate fua read": 0,
                     "emulate fua write": 1,
28560
                     "emulate_model_alias": 1,
28570
```

```
"emulate rest reord": 0,
28580
                     "emulate tas": 1,
28590
                     "emulate_tpu": 0,
28600
                     "emulate tpws": 0,
28610
                     "emulate_ua_intlck_ctrl": 0,
28620
                     "emulate write cache": 0,
28630
                     "enforce_pr_isids": 1,
28640
28650
                     "force pr aptpl": 0,
                     "is nonrot": 0,
28660
                     "max_unmap_block_desc_count": 1,
28670
                     "max unmap 1ba count": 8192,
28680
                     "max write same len": 65535,
28690
                     "optimal_sectors": 2048,
28700
                     "pi prot format": 0,
28710
                      pi_prot_type": 0,
28720
                      queue_depth": 128,
28730
                     "unmap granularity": 2048,
28740
                     "unmap granularity_alignment": 0
28750
28760
28770
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0000",
                   "name": "lun0000",
28780
28790
                   "plugin": "block",
                   "readonly": false,
28800
                   "write back": false,
28810
                   "wwn": "117473ae-68c7-44cd-b665-f7ad42bf1bd0"
28820
28830
             ],
"targets": [
28840
28850
28860
                   "fabric": "iscsi",
28870
28880
                   "tpgs": [
28890
                       "attributes":
28900
                         "authentication": 0,
28910
                         "cache_dynamic_acls": 0,
28920
                         "default_cmdsn_depth": 128,
28930
                         "default erl": 0,
28940
28950
                         "demo mode discovery": 1,
                         "demo mode write protect": 1,
28960
                         "fabric prot type": 0,
28970
```

```
"generate_node_acls": 0,
28980
                         "login timeout": 15,
28990
                         "netif timeout": 2,
29000
                         "prod_mode_write_protect": 0,
29010
                         "t10 pi": 0
29020
29030
                        'enable": true,
29040
                       "luns": [
29050
29060
                           "index": 0,
29070
                           "storage object": "/backstores/block/lun0003"
29080
29090
                      ],
"node_acls": [
29100
29110
29120
                           "attributes": {
29130
                             "dataout timeout": 3,
29140
                             "dataout_timeout_retries": 5,
29150
                             "default_erl": 0,
29160
29170
                             "nopin_response_timeout": 30,
                             "nopin_timeout": 15,
29180
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
29190
                             "random datain seg offsets": 0,
29200
                             "random r2t offsets": 0
29210
29220
                            chap_password": "password-user04",
29230
29240
                           "chap_userid": "iscsiuser04",
                           "mapped_luns": [
29250
29260
                                "index": 0,
29270
29280
                               "tpg lun": 0,
                               "write protect": false
29290
29300
29310
                           "node wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
29320
29330
29340
29350
                           "attributes": {
29360
                             "dataout timeout": 3,
                             "dataout timeout retries": 5,
29370
```

```
"default_erl": 0,
29380
                             "nopin response timeout": 30,
29390
                             "nopin timeout": 15,
29400
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
29410
29420
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
29430
29440
                           "chap_password": "password-user03",
29450
                           "chap_userid": "iscsiuser03",
29460
                           "mapped_luns": [
29470
29480
29490
                                "index": 0,
                                "tpg_lun": 0,
29500
                                "write protect": false
29510
29520
29530
                           "node wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator03"
29540
29550
29560
29570
                           "attributes": {
                             "dataout timeout": 3,
29580
29590
                             "dataout_timeout_retries": 5,
                             "default erl": 0.
29600
                             "nopin_response_timeout": 30,
29610
                             "nopin_timeout": 15,
29620
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
29630
29640
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
29650
29660
                            chap_password": "password-user02",
29670
29680
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
                           "mapped_luns": [
29690
29700
                                "index": 0,
29710
                                "tpg lun": 0,
29720
                                "write protect": false
29730
29740
29750
29760
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator02"
29770
```

```
29780
                           "attributes":
29790
                             "dataout timeout": 3,
29800
                             "dataout_timeout_retries": 5,
29810
29820
                             "default erl": 0,
                             "nopin response timeout": 30,
29830
                             "nopin_timeout": 15,
29840
                             "random datain pdu offsets": 0,
29850
29860
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
29870
29880
                            chap_password": "password-user01",
29890
                           "chap_userid": "iscsiuser01",
29900
                           "mapped_luns": [
29910
29920
                               "index": 0,
29930
                               "tpg lun": 0,
29940
                               "write protect": false
29950
29960
29970
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
29980
29990
30000
30010
                        parameters":
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
30020
30030
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
30040
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
30050
                         "DefaultTime2Retain": "20",
30060
                         "DefaultTime2Wait": "2",
30070
                         "ErrorRecovervLevel": "0".
30080
                         "FirstBurstLength": "65536",
30090
30100
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
30110
                         "IFMarker": "No",
30120
                         "ImmediateData": "Yes",
30130
                         "InitialR2T": "Yes",
30140
30150
                         "MaxBurstLength": "262144",
                         "MaxConnections": "1",
30160
                         "MaxOutstandingR2T": "1".
30170
```

```
30180
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
30190
                         "0FMarkInt": "2048~65535".
30200
                         "OFMarker": "No",
30210
30220
                         "TargetAlias": "LIO Target"
30230
                       },
"portals": [
30240
30250
30260
                           "ip_address": "10.110.88.59",
30270
                           "iser": false,
                           "port": 3260
30280
30290
30300
                       "tag": 1
30310
30320
30330
                   "wwn": "ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003"
30340
30350
30360
                   "fabric": "iscsi",
30370
                   "tpgs": [
30380
30390
                       "attributes":
30400
30410
                         "authentication": 0,
                         "cache_dynamic_acls": 0,
30420
30430
                         "default_cmdsn_depth": 128,
30440
                         "default erl": 0,
                         "demo_mode_discovery": 1,
30450
                         "demo mode write protect": 1,
30460
                         "fabric prot type": 0,
30470
                         "generate_node_acls": 0,
30480
                         "login timeout": 15,
30490
30500
                         "netif timeout": 2,
                         "prod_mode_write_protect": 0,
30510
                         "t10 pi": 0
30520
30530
30540
                        "enable": true,
                       "luns": [
30550
30560
                           "index": 0,
30570
```

```
"storage_object": "/backstores/block/lun0002"
30580
30590
30600
                      ],
"node_acls": [
30610
30620
                           "attributes":
30630
                             "dataout_timeout": 3,
30640
                             "dataout timeout retries": 5,
30650
                             "default erl": 0,
30660
30670
                             "nopin_response_timeout": 30,
                             "nopin timeout": 15,
30680
30690
                             "random datain pdu offsets": 0,
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
30700
                             "random_r2t_offsets": 0
30710
30720
                            "chap_password": "password-user04",
30730
                           "chap userid": "iscsiuser04",
30740
                           "mapped luns": [
30750
30760
30770
                               "index": 0,
                               "tpg_lun": 0.
30780
30790
                               "write protect": false
30800
30810
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator04"
30820
30830
30840
                           "attributes": {
30850
                             "dataout timeout": 3,
30860
                             "dataout timeout retries": 5,
30870
                             "default erl": 0,
30880
                             "nopin_response_timeout": 30,
30890
30900
                             "nopin timeout": 15,
                             "random datain pdu offsets": 0,
30910
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
30920
                             "random_r2t_offsets": 0
30930
30940
                            "chap_password": "password-user03",
30950
                           "chap userid": "iscsiuser03",
30960
                           "mapped luns": [
30970
```

```
30980
                               "index": 0,
30990
                               "tpg_lun": 0,
31000
                               "write protect": false
31010
31020
31030
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator03"
31040
31050
31060
                           "attributes":
31070
                             "dataout_timeout": 3,
31080
                             "dataout timeout retries": 5,
31090
                             "default_erl": 0,
31100
                             "nopin_response_timeout": 30,
31110
                             "nopin timeout": 15,
31120
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
31130
                             "random datain seg offsets": 0,
31140
                             "random r2t offsets": 0
31150
31160
31170
                            'chap_password": "password-user02",
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
31180
                           "mapped_luns": [
31190
31200
                               "index": 0,
31210
                               "tpg_lun": 0,
31220
                               "write protect": false
31230
31240
31250
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator02"
31260
31270
31280
                           "attributes":
31290
31300
                             "dataout_timeout": 3,
                             "dataout timeout retries": 5,
31310
                             "default erl": 0,
31320
                             "nopin_response_timeout": 30,
31330
                             "nopin timeout": 15,
31340
31350
                             "random datain pdu offsets": 0,
31360
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random_r2t offsets": 0
31370
```

```
31380
                            "chap password": "password-user01",
31390
                           "chap userid": "iscsiuser01",
31400
                           "mapped luns": [
31410
31420
                                "index": 0,
31430
                                "tpg_lun": 0,
31440
                               "write protect": false
31450
31460
31470
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
31480
31490
31500
                       "parameters":
31510
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
31520
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
31530
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
31540
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
31550
                         "DefaultTime2Retain": "20",
31560
31570
                         "DefaultTime2Wait": "2",
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
31580
                         "FirstBurstLength": "65536",
31590
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
31600
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
31610
                         "IFMarker": "No",
31620
                         "ImmediateData": "Yes",
31630
                         "InitialR2T": "Yes",
31640
                         "MaxBurstLength": "262144",
31650
                         "MaxConnections": "1",
31660
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
31670
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
31680
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
31690
31700
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
                         "OFMarker": "No",
31710
                         "TargetAlias": "LIO Target"
31720
31730
                       "portals": [
31740
31750
31760
                           "ip_address": "10.110.88.59",
                           "iser": false,
31770
```

```
"port": 3260
31780
31790
                     ],
"tag": 1
31800
31810
31820
31830
                          "iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0002"
31840
31850
31860
31870
                   "fabric": "iscsi",
31880
                   "tpgs": [
31890
                       "attributes":
31900
31910
                         "authentication": 0,
                         "cache_dynamic_acls": 0,
31920
31930
                         "default_cmdsn_depth": 128,
                         "default erl": 0,
31940
                         "demo_mode_discovery": 1,
31950
                         "demo_mode_write_protect": 1,
31960
31970
                         "fabric_prot_type": 0,
                         "generate_node_acls": 0,
31980
                         "login_timeout": 15,
31990
                         "netif timeout": 2.
32000
32010
                         "prod_mode_write_protect": 0,
                         "t10_pi": 0
32020
32030
                       "enable": true,
32040
                       "luns": [
32050
32060
32070
                           "index": 0,
32080
                           "storage object": "/backstores/block/lun0001"
32090
                       ],
"node_acls": [
32100
32110
32120
                           "attributes":
32130
                              "dataout_timeout": 3,
32140
32150
                             "dataout_timeout_retries": 5,
32160
                             "default erl": 0,
                             "nopin response timeout": 30,
32170
```

```
"nopin_timeout": 15,
32180
                             "random datain pdu offsets": 0,
32190
32200
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
32210
32220
                            chap_password": "password-user04",
32230
                           "chap_userid": "iscsiuser04",
32240
32250
                           "mapped luns": [
32260
32270
                               "index": 0,
32280
                               "tpg lun": 0,
                               "write protect": false
32290
32300
32310
                            "node wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator04"
32320
32330
32340
                           "attributes": {
32350
                             "dataout_timeout": 3,
32360
32370
                             "dataout_timeout_retries": 5,
32380
                             "default erl": 0,
32390
                             "nopin_response_timeout": 30,
                             "nopin timeout": 15,
32400
                             "random datain pdu offsets": 0,
32410
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
32420
                             "random r2t offsets": 0
32430
32440
                            chap_password": "password-user03",
32450
                           "chap userid": "iscsiuser03",
32460
                           "mapped_luns": [
32470
32480
                               "index": 0,
32490
32500
                               "tpg_lun": 0,
                               "write protect": false
32510
32520
32530
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator03"
32540
32550
32560
                           "attributes": {
32570
```

```
"dataout_timeout": 3,
32580
                             "dataout_timeout_retries": 5,
32590
                             "default_erl": 0,
32600
                             "nopin_response_timeout": 30,
32610
32620
                             "nopin_timeout": 15,
                             "random datain pdu offsets": 0,
32630
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
32640
                             "random r2t offsets": 0
32650
32660
                            chap_password": "password-user02",
32670
                           "chap userid": "iscsiuser02",
32680
32690
                           "mapped luns": [
32700
                               "index": 0,
32710
32720
                               "tpg lun": 0,
32730
                               "write_protect": false
32740
32750
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator02"
32760
32770
32780
32790
                           "attributes": {
32800
                             "dataout timeout": 3,
                             "dataout timeout retries": 5,
32810
                             "default_erl": 0,
32820
32830
                             "nopin response timeout": 30,
                             "nopin_timeout": 15,
32840
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
32850
                             "random datain seg offsets": 0,
32860
                             "random r2t offsets": 0
32870
32880
                           "chap_password": "password-user01",
32890
32900
                           "chap_userid": "iscsiuser01",
                           "mapped luns": [
32910
32920
                               "index": 0,
32930
32940
                               "tpg lun": 0,
32950
                               "write protect": false
32960
32970
                           ],
```

```
"node wwn": "ign. 2016-09. com. example: initiator01"
32980
32990
33000
                       "parameters":
33010
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
33020
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
33030
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
33040
33050
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
                         "DefaultTime2Retain": "20",
33060
                         "DefaultTime2Wait": "2",
33070
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
33080
                         "FirstBurstLength": "65536",
33090
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
33100
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
33110
                         "IFMarker": "No",
33120
                         "ImmediateData": "Yes",
33130
                         "InitialR2T": "Yes",
33140
                         "MaxBurstLength": "262144",
33150
                         "MaxConnections": "1",
33160
                         "MaxOutstandingR2T": "1".
33170
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
33180
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
33190
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
33200
                         "OFMarker": "No",
33210
                         "TargetAlias": "LIO Target"
33220
33230
                       },
"portals": [
33240
33250
                           "ip address": "10.110.88.59",
33260
                           "iser": false,
33270
33280
                           "port": 3260
33290
33300
                       "tag": 1
33310
33320
33330
                    wwn": "ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001"
33340
33350
33360
                   "fabric": "iscsi",
33370
```

```
"tpgs": [
33380
33390
                       "attributes": {
33400
33410
                         "authentication": 0,
33420
                         "cache_dynamic_acls": 0,
                         "default cmdsn depth": 128,
33430
                         "default_erl": 0,
33440
                         "demo mode discovery": 1,
33450
                         "demo_mode_write_protect": 1,
33460
33470
                         "fabric_prot_type": 0,
                         "generate node acls": 0,
33480
                         "login timeout": 15,
33490
                         "netif_timeout": 2,
33500
                         "prod_mode_write_protect": 0,
33510
                         "t10_pi": 0
33520
33530
                       "enable": true,
33540
                       "luns": [
33550
33560
                           "index": 0.
33570
33580
                           "storage object": "/backstores/block/lun0000"
33590
                      ],
"node_acls": [
33600
33610
33620
                            "attributes": {
33630
33640
                             "dataout timeout": 3,
                             "dataout_timeout_retries": 5,
33650
                             "default erl": 0,
33660
33670
                             "nopin_response_timeout": 30,
33680
                             "nopin_timeout": 15,
33690
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
33700
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
33710
33720
                            "chap_password": "password-user04",
33730
                           "chap_userid": "iscsiuser04",
33740
                           "mapped_luns": [
33750
33760
                               "index": 0,
33770
```

```
"tpg_lun": 0,
33780
                                "write_protect": false
33790
33800
33810
33820
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator04"
33830
33840
                            "attributes": {
33850
33860
                              "dataout timeout": 3,
                             "dataout_timeout_retries": 5,
33870
                             "default erl": 0,
33880
33890
                              "nopin response timeout": 30,
                              "nopin_timeout": 15,
33900
                              "random datain pdu offsets": 0,
33910
                              "random datain seg offsets": 0,
33920
                              "random r2t offsets": 0
33930
33940
                            chap_password": "password-user03",
33950
                           "chap_userid": "iscsiuser03",
33960
33970
                           "mapped luns": [
33980
                                "index": 0,
33990
34000
                                "tpg lun": 0,
                                "write protect": false
34010
34020
34030
34040
                            "node wwn": "ign. 2016-09. com. example: initiator03"
34050
34060
                            "attributes": {
34070
34080
                             "dataout_timeout": 3,
                             "dataout_timeout_retries": 5,
34090
34100
                             "default erl": 0,
                              "nopin_response_timeout": 30,
34110
                              "nopin timeout": 15,
34120
                              "random_datain_pdu_offsets": 0,
34130
                              "random_datain_seq_offsets": 0,
34140
                              "random_r2t_offsets": 0
34150
34160
                            "chap_password": "password-user02",
34170
```

```
"chap_userid": "iscsiuser02",
34180
                           "mapped luns": [
34190
34200
                                "index": 0,
34210
                                "tpg_lun": 0,
34220
                                "write protect": false
34230
34240
34250
                           "node wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator02"
34260
34270
34280
                           "attributes": {
34290
                             "dataout_timeout": 3,
34300
                             "dataout timeout retries": 5,
34310
                             "default erl": 0,
34320
                             "nopin_response_timeout": 30,
34330
                             "nopin timeout": 15,
34340
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
34350
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
34360
34370
                             "random r2t offsets": 0
34380
                            "chap_password": "password-user01",
34390
                           "chap userid": "iscsiuser01",
34400
                           "mapped luns": [
34410
34420
                                "index": 0,
34430
                               "tpg_lun": 0,
34440
                               "write_protect": false
34450
34460
34470
                           "node wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator01"
34480
34490
34500
                       "parameters":
34510
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
34520
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
34530
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
34540
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
34550
34560
                         "DefaultTime2Retain": "20",
                         "DefaultTime2Wait": "2",
34570
```

```
"ErrorRecoveryLevel": "0",
34580
                         "FirstBurstLength": "65536",
34590
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
34600
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
34610
                         "IFMarker": "No",
34620
                         "ImmediateData": "Yes",
34630
                         "InitialR2T": "Yes",
34640
                         "MaxBurstLength": "262144",
34650
                         "MaxConnections": "1",
34660
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
34670
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
34680
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
34690
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
34700
                         "OFMarker": "No",
34710
                         "TargetAlias": "LIO Target"
34720
                      },
"portals": [
34730
34740
34750
                            "ip_address": "10.110.88.59",
34760
34770
                            "iser": false,
34780
                            "port": 3260
34790
34800
                       "tag": 1
34810
34820
34830
34840
                    \text{wwn}'': "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0000"
34850
34860
34870
34890
34900
               "fabric_modules": [],
              "storage objects": [
34910
34920
                   "attributes": {
34930
                     "block_size": 512,
34940
                     "emulate_3pc": 1,
34950
34960
                     "emulate caw": 1,
                     "emulate dpo": 0,
34970
```

```
"emulate fua read": 0,
34980
                     "emulate fua write": 1,
34990
                     "emulate_model_alias": 1,
35000
                     "emulate rest reord": 0,
35010
                     "emulate tas": 1,
35020
                     "emulate tpu": 0,
35030
                     "emulate_tpws": 0,
35040
35050
                     "emulate ua intlck ctrl": 0,
35060
                     "emulate write cache": 0,
35070
                     "enforce_pr_isids": 1,
                     "force pr aptpl": 0,
35080
                     "is nonrot": 0.
35090
                     "max_unmap_block_desc_count": 1,
35100
                     "max_unmap_lba_count": 8192.
35110
                     "max write same len": 65535,
35120
                     "optimal_sectors": 2048,
35130
                     "pi_prot_format": 0,
35140
                     "pi_prot_type": 0,
35150
                      queue_depth": 128,
35160
35170
                     "unmap granularity": 2048,
                     "unmap granularity alignment": 0
35180
35190
35200
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0003",
                   "name": "lun0003",
35210
                   "plugin": "block",
35220
35230
                   "readonly": false,
                   "write back": false,
35240
                   "wwn": "1ade2d3a-db39-4880-8e80-59d51ca87c60"
35250
35260
35270
35280
                   ″attributes″:{
35290
                     "block size": 512,
35300
                     "emulate_3pc": 1,
                     "emulate caw": 1.
35310
35320
                     "emulate dpo": 0,
                     "emulate fua read": 0,
35330
                     "emulate fua write": 1,
35340
                     "emulate model alias": 1,
35350
35360
                     "emulate rest reord": 0,
                     "emulate tas": 1.
35370
```

```
"emulate tpu": 0,
35380
                     "emulate tpws": 0,
35390
                     "emulate ua intlck ctrl": 0,
35400
                     "emulate_write_cache": 0,
35410
35420
                     "enforce pr isids": 1,
                     "force pr aptpl": 0,
35430
                     "is nonrot": 0,
35440
                     "max unmap block desc count": 1,
35450
                     "max unmap 1ba count": 8192,
35460
35470
                     "max_write_same_len": 65535,
                     "optimal sectors": 2048,
35480
                     "pi prot format": 0,
35490
                     "pi_prot_type": 0,
35500
                     "aueue depth": 128,
35510
35520
                     "unmap granularity": 2048,
                     "unmap granularity_alignment": 0
35530
35540
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0002",
35550
                   "name": "lun0002",
35560
35570
                   "plugin": "block",
35580
                   "readonly": false,
35590
                   "write_back": false,
                   "wwn": "50907dc1-06ff-4e27-877a-b68ffe949fd7"
35600
35610
35620
35630
                   "attributes": {
35640
                     "block size": 512,
                     "emulate_3pc": 1,
35650
                     "emulate caw": 1.
35660
                     "emulate dpo": 0,
35670
                     "emulate fua read": 0,
35680
                     "emulate fua write": 1,
35690
35700
                     "emulate model alias": 1,
                     "emulate rest reord": 0,
35710
35720
                     "emulate tas": 1,
                     "emulate tpu": 0,
35730
                     "emulate tpws": 0,
35740
35750
                     "emulate ua intlck ctrl": 0,
                     "emulate write cache": 0,
35760
                     "enforce pr isids": 1,
35770
```

```
"force pr aptp1": 0,
35780
                     "is nonrot": 0,
35790
                     "max unmap block desc count": 1,
35800
                     "max unmap 1ba count": 8192,
35810
                     "max_write_same_len": 65535,
35820
                     "optimal sectors": 2048,
35830
                     "pi_prot_format": 0,
35840
                     "pi prot type": 0,
35850
35860
                      queue depth": 128,
35870
                     "unmap_granularity": 2048,
                     "unmap granularity alignment": 0
35880
35890
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0001",
35900
                   "name": "lun0001",
35910
35920
                   "plugin": "block",
                   "readonly": false,
35930
                   "write back": false,
35940
                   "wwn": "9a5889d7-4176-4e58-874e-46a15f47dc58"
35950
35960
35970
                   "attributes": {
35980
                     "block_size": 512,
35990
                     "emulate 3pc": 1,
36000
                     "emulate caw": 1,
36010
                     "emulate_dpo": 0,
36020
36030
                     "emulate fua read": 0,
36040
                     "emulate fua write": 1,
                     "emulate_model_alias": 1,
36050
                     "emulate rest reord": 0.
36060
                     "emulate_tas": 1,
36070
                     "emulate tpu": 0,
36080
                     "emulate tpws": 0,
36090
36100
                     "emulate_ua_intlck_ctrl": 0,
                     "emulate write cache": 0,
36110
                     "enforce pr isids": 1,
36120
                     "force_pr_aptpl": 0,
36130
                     "is_nonrot": 0,
36140
36150
                     "max_unmap_block_desc_count": 1,
                     "max_unmap_lba_count": 8192,
36160
                     "max write_same_len": 65535,
36170
```

```
"optimal_sectors": 2048,
36180
                     "pi_prot_format": 0,
36190
                     "pi_prot_type": 0,
36200
                      queue_depth": 128,
36210
36220
                     "unmap_granularity": 2048,
                     "unmap_granularity_alignment": 0
36230
36240
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0000",
36250
36260
                   "name": "lun0000",
36270
                   "plugin": "block",
                   "readonly": false,
36280
                   "write back": false,
36290
                   "wwn": "b77302c8-9db8-4889-8353-b0493cababe5"
36300
36310
             ],
"targets": [
36320
36330
36340
                   "fabric": "iscsi",
36350
                   "tpgs": [
36360
36370
                       "attributes":
36380
                         "authentication": 0,
36390
                         "cache dynamic acls": 0,
36400
                         "default_cmdsn_depth": 128,
36410
                         "default_erl": 0,
36420
                         "demo mode discovery": 1,
36430
                         "demo_mode_write_protect": 1,
36440
                         "fabric_prot_type": 0,
36450
                         "generate node acls": 0,
36460
                         "login_timeout": 15,
36470
                         "netif timeout": 2,
36480
                         "prod_mode_write_protect": 0,
36490
36500
                         "t10 pi": 0
36510
                       "enable": true,
36520
                       "luns": [
36530
36540
36550
                           "index": 0,
36560
                           "storage object": "/backstores/block/lun0003"
36570
```

```
],
"node_acls": [
36580
36590
36600
                           "attributes": {
36610
                             "dataout timeout": 3,
36620
                             "dataout timeout retries": 5,
36630
                             "default_erl": 0,
36640
                             "nopin_response_timeout": 30,
36650
                             "nopin timeout": 15,
36660
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
36670
                             "random datain seg offsets": 0,
36680
                             "random r2t offsets": 0
36690
36700
                           "chap password": "password-user04",
36710
36720
                           "chap userid": "iscsiuser04",
36730
                           "mapped_luns": [
36740
                               "index": 0,
36750
                                "tpg_lun": 0,
36760
36770
                               "write protect": false
36780
36790
                           "node wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator04"
36800
36810
36820
36830
                           "attributes": {
36840
                             "dataout timeout": 3,
                             "dataout_timeout_retries": 5,
36850
                             "default erl": 0,
36860
36870
                             "nopin_response_timeout": 30,
36880
                             "nopin_timeout": 15,
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
36890
36900
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
36910
36920
                           "mapped_luns": [
36930
36940
36950
                               "index": 0,
                                "tpg lun": 0,
36960
                               "write protect": false
36970
```

```
36980
36990
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator03"
37000
37010
37020
                            "attributes":
37030
                             "dataout_timeout": 3,
37040
                             "dataout timeout retries": 5,
37050
37060
                             "default erl": 0,
37070
                             "nopin_response_timeout": 30,
                             "nopin timeout": 15,
37080
37090
                             "random datain pdu offsets": 0,
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
37100
                             "random_r2t_offsets": 0
37110
37120
                            "chap_password": "password-user02",
37130
                           "chap userid": "iscsiuser02",
37140
                           "mapped_luns": [
37150
37160
37170
                                "index": 0,
                                "tpg_lun": 0.
37180
37190
                               "write protect": false
37200
37210
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator02"
37220
37230
37240
                            "attributes": {
37250
                             "dataout timeout": 3,
37260
                             "dataout timeout retries": 5,
37270
37280
                             "default erl": 0,
37290
                             "nopin_response_timeout": 30,
37300
                             "nopin timeout": 15,
                             "random datain pdu offsets": 0,
37310
37320
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
                             "random_r2t_offsets": 0
37330
37340
                            "chap_password": "password-user01",
37350
37360
                           "chap userid": "iscsiuser01",
                           "mapped luns": [
37370
```

```
37380
                                "index": 0,
37390
                                "tpg_lun": 0,
37400
                                "write protect": false
37410
37420
37430
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator01"
37440
37450
                       ],
"parameters":
37460
37470
37480
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
37490
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
37500
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
37510
37520
                         "DefaultTime2Retain": "20",
37530
                         "DefaultTime2Wait": "2",
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
37540
                         "FirstBurstLength": "65536",
37550
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
37560
37570
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
                         "IFMarker": "No",
37580
37590
                         "ImmediateData": "Yes",
                         "InitialR2T": "Yes",
37600
                         "MaxBurstLength": "262144",
37610
                         "MaxConnections": "1",
37620
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
37630
37640
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
37650
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
37660
                         "OFMarker": "No",
37670
                         "TargetAlias": "LIO Target"
37680
37690
                       },
"portals": [
37700
37710
37720
                            "ip_address": "10.110.88.59",
37730
                           "iser": false,
                           "port": 3260
37740
37750
37760
                     ],
"tag": 1
37770
```

```
37780
37790
                    wwn": "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003"
37800
37810
37820
                   "fabric": "iscsi",
37830
                   "tpgs": [
37840
37850
                       "attributes":
37860
37870
                         "authentication": 0,
                         "cache dynamic acls": 0,
37880
                         "default cmdsn depth": 128,
37890
                         "default_erl": 0,
37900
                         "demo mode discovery": 1,
37910
                         "demo mode write protect": 1,
37920
37930
                         "fabric_prot_type": 0,
                         "generate node acls": 0,
37940
                         "login_timeout": 15,
37950
                         "netif_timeout": 2,
37960
37970
                         "prod_mode_write_protect": 0,
                         "t10_pi": 0
37980
37990
                       "enable": true,
38000
38010
                       "1uns": 「
38020
                            "index": 0.
38030
38040
                            "storage object": "/backstores/block/lun0002"
38050
                      ],
"node_acls": [
38060
38070
38080
38090
                            "attributes":
38100
                              "dataout_timeout": 3,
                             "dataout_timeout_retries": 5,
38110
                             "default erl": 0,
38120
                              "nopin_response_timeout": 30,
38130
                              "nopin timeout": 15,
38140
38150
                              "random_datain_pdu_offsets": 0,
38160
                              "random datain seg offsets": 0,
                              "random_r2t offsets": 0
38170
```

```
38180
                            "chap_password": "password-user04",
38190
                           "chap_userid": "iscsiuser04",
38200
                           "mapped luns": [
38210
38220
                                "index": 0,
38230
                               "tpg_lun": 0,
38240
                               "write_protect": false
38250
38260
38270
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator04"
38280
38290
38300
                           "attributes": {
38310
38320
                              "dataout timeout": 3,
                             "dataout_timeout_retries": 5,
38330
                             "default erl": 0,
38340
                             "nopin_response_timeout": 30,
38350
                             "nopin_timeout": 15,
38360
38370
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
38380
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
38390
                             "random_r2t_offsets": 0
38400
                           "mapped_luns": [
38410
38420
38430
                                "index": 0,
                                "tpg_lun": 0,
38440
                               "write_protect": false
38450
38460
38470
38480
                           "node wwn": "ign. 2016-09. com. example: initiator03"
38490
38500
                           "attributes": {
38510
                             "dataout timeout": 3,
38520
                             "dataout_timeout_retries": 5,
38530
                             "default erl": 0,
38540
38550
                             "nopin_response_timeout": 30,
38560
                             "nopin timeout": 15,
                             "random datain pdu offsets": 0,
38570
```

```
"random_datain_seq_offsets": 0,
38580
                             "random r2t offsets": 0
38590
38600
                            chap_password": "password-user02",
38610
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
38620
                           "mapped luns": [
38630
38640
38650
                                "index": 0,
38660
                                "tpg lun": 0,
                               "write_protect": false
38670
38680
38690
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator02"
38700
38710
38720
                           "attributes": {
38730
                             "dataout timeout": 3,
38740
                             "dataout timeout retries": 5,
38750
                             "default_erl": 0,
38760
38770
                             "nopin_response_timeout": 30,
38780
                             "nopin_timeout": 15,
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
38790
                             "random datain seg offsets": 0,
38800
                             "random r2t offsets": 0
38810
38820
                            chap_password": "password-user01",
38830
38840
                           "chap userid": "iscsiuser01",
                           "mapped_luns": [
38850
38860
                                "index": 0,
38870
38880
                               "tpg lun": 0,
                               "write protect": false
38890
38900
38910
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator01"
38920
38930
38940
38950
                        parameters":
38960
                          "AuthMethod": "CHAP, None",
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
38970
```

```
"DataPDUInOrder": "Yes",
38980
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
38990
                         "DefaultTime2Retain": "20",
39000
                         "DefaultTime2Wait": "2",
39010
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
39020
                         "FirstBurstLength": "65536",
39030
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
39040
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
39050
                         "IFMarker": "No",
39060
                         "ImmediateData": "Yes",
39070
39080
                         "InitialR2T": "Yes",
                         "MaxBurstLength": "262144",
39090
                         "MaxConnections": "1",
39100
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
39110
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
39120
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
39130
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
39140
                         "OFMarker": "No",
39150
                         "TargetAlias": "LIO Target"
39160
39170
                       },
"portals": [
39180
39190
39200
                           "ip address": "10.110.88.59",
                           "iser": false,
39210
                           "port": 3260
39220
39230
39240
                       "tag": 1
39250
39260
39270
39280
                    "wwn": "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0002"
39290
39300
                   "fabric": "iscsi",
39310
                   "tpgs": [
39320
39330
                       "attributes":
39340
39350
                         "authentication": 0,
39360
                         "cache dynamic acls": 0,
                         "default cmdsn depth": 128,
39370
```

```
"default erl": 0,
39380
                         "demo mode discovery": 1,
39390
                         "demo mode write protect": 1,
39400
                         "fabric_prot_type": 0,
39410
                         "generate_node_acls": 0,
39420
                         "login_timeout": 15,
39430
                         "netif timeout": 2,
39440
                         "prod mode write protect": 0,
39450
                         "t10 pi": 0
39460
39470
                        "enable": true,
39480
39490
                       "luns": [
39500
                           "index": 0,
39510
                           "storage object": "/backstores/block/lun0001"
39520
39530
                       ],
"node_acls": [
39540
39550
39560
39570
                           "attributes": {
                             "dataout timeout": 3,
39580
39590
                             "dataout_timeout_retries": 5,
                             "default erl": 0,
39600
                             "nopin_response_timeout": 30,
39610
                             "nopin_timeout": 15,
39620
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
39630
                             "random datain seg offsets": 0,
39640
                             "random_r2t_offsets": 0
39650
39660
                            chap_password": "password-user04",
39670
39680
                           "chap_userid": "iscsiuser04",
                           "mapped_luns": [
39690
39700
                                "index": 0,
39710
                                "tpg lun": 0,
39720
                                "write protect": false
39730
39740
39750
39760
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator04"
39770
```

```
39780
                           "attributes":
39790
                             "dataout timeout": 3,
39800
                             "dataout_timeout_retries": 5,
39810
39820
                             "default erl": 0,
                             "nopin response timeout": 30,
39830
                             "nopin_timeout": 15,
39840
                             "random datain pdu offsets": 0,
39850
39860
                             "random datain seg offsets": 0,
39870
                             "random r2t offsets": 0
39880
                            chap_password": "password-user03",
39890
                           "chap_userid": "iscsiuser03",
39900
                           "mapped luns": [
39910
39920
                               "index": 0,
39930
                               "tpg_lun": 0.
39940
                               "write protect": false
39950
39960
39970
                           "node wwn": "ign. 2016-09. com. example: initiator03"
39980
39990
40000
                            "attributes": {
40010
                             "dataout_timeout": 3,
40020
40030
                             "dataout timeout retries": 5,
40040
                             "default erl": 0,
                             "nopin_response_timeout": 30,
40050
                             "nopin timeout": 15,
40060
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
40070
40080
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
40090
40100
                            "chap_password": "password-user02",
40110
                           "chap userid": "iscsiuser02",
40120
                           "mapped luns": [
40130
40140
40150
                               "index": 0,
                               "tpg lun": 0,
40160
                               "write protect": false
40170
```

```
40180
40190
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator02"
40200
40210
40220
                            "attributes":
40230
                             "dataout_timeout": 3,
40240
                             "dataout timeout retries": 5,
40250
40260
                             "default erl": 0,
40270
                             "nopin_response_timeout": 30,
                             "nopin timeout": 15,
40280
40290
                             "random datain pdu offsets": 0,
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
40300
                             "random_r2t_offsets": 0
40310
40320
                            chap_password": "password-user01",
40330
                           "chap userid": "iscsiuser01",
40340
                           "mapped luns": [
40350
40360
40370
                               "index": 0,
                               "tpg_lun": 0.
40380
40390
                               "write protect": false
40400
40410
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
40420
40430
40440
                       "parameters":
40450
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
40460
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
40470
40480
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
40490
40500
                         "DefaultTime2Retain": "20",
                         "DefaultTime2Wait": "2",
40510
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
40520
                         "FirstBurstLength": "65536",
40530
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
40540
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
40550
                         "IFMarker": "No",
40560
                         "ImmediateData": "Yes",
40570
```

```
"InitialR2T": "Yes",
40580
                         "MaxBurstLength": "262144",
40590
                         "MaxConnections": "1",
40600
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
40610
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
40620
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
40630
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
40640
                         "OFMarker": "No",
40650
                         "TargetAlias": "LIO Target"
40660
40670
                       },
"portals": [
40680
40690
                            "ip_address": "10.110.88.59",
40700
40710
                           "iser": false,
                           "port": 3260
40720
40730
                     ],
"tag": 1
40740
40750
40760
40770
                   "wwn": "iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001"
40780
40790
40800
                   "fabric": "iscsi",
40810
                   "tpgs": [
40820
40830
                       "attributes": {
40840
                          "authentication": 0,
40850
                         "cache_dynamic_acls": 0,
40860
                         "default cmdsn depth": 128,
40870
                         "default_erl": 0,
40880
                         "demo mode discovery": 1,
40890
40900
                         "demo_mode_write_protect": 1,
                         "fabric prot type": 0,
40910
                         "generate node acls": 0,
40920
                         "login_timeout": 15,
40930
                         "netif timeout": 2.
40940
40950
                         "prod_mode_write_protect": 0,
                         "t10_pi": 0
40960
40970
```

```
"enable": true,
40980
                       "luns": [
40990
41000
                           "index": 0,
41010
                           "storage object": "/backstores/block/lun0000"
41020
41030
                      ],
"node_acls": [
41040
41050
41060
                           "attributes":
41070
                             "dataout timeout": 3,
41080
                             "dataout timeout retries": 5,
41090
                             "default_erl": 0,
41100
                             "nopin_response_timeout": 30,
41110
                             "nopin timeout": 15,
41120
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
41130
                             "random datain seg offsets": 0,
41140
                             "random r2t offsets": 0
41150
41160
                            "chap_password": "password-user04",
41170
                           "chap_userid": "iscsiuser04",
41180
                           "mapped_luns": [
41190
41200
                                "index": 0,
41210
                                "tpg_lun": 0,
41220
41230
                               "write protect": false
41240
41250
                            'node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
41260
41270
41280
                           "attributes":
41290
41300
                             "dataout_timeout": 3,
                             "dataout timeout retries": 5,
41310
                             "default erl": 0,
41320
                             "nopin_response_timeout": 30,
41330
                             "nopin timeout": 15,
41340
41350
                             "random datain pdu offsets": 0,
41360
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random_r2t offsets": 0
41370
```

```
41380
                            "chap password": "password-user03",
41390
                           "chap userid": "iscsiuser03",
41400
                           "mapped luns": [
41410
41420
                                "index": 0,
41430
                                "tpg_lun": 0,
41440
                                "write protect": false
41450
41460
41470
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator03"
41480
41490
41500
                           "attributes": {
41510
                              "dataout timeout": 3,
41520
                             "dataout_timeout_retries": 5,
41530
                             "default erl": 0,
41540
                             "nopin_response_timeout": 30,
41550
                              "nopin_timeout": 15,
41560
41570
                              "random datain pdu offsets": 0,
                              "random_datain_seq_offsets": 0,
41580
                              "random_r2t_offsets": 0
41590
41600
                            'chap_password": "password-user02",
41610
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
41620
                           "mapped luns": [
41630
41640
                                "index": 0,
41650
                                "tpg lun": 0,
41660
                                "write protect": false
41670
41680
41690
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator02"
41700
41710
41720
                           "attributes": {
41730
                              "dataout_timeout": 3,
41740
41750
                             "dataout timeout retries": 5,
41760
                             "default erl": 0,
                              "nopin_response_timeout": 30,
41770
```

```
"nopin timeout": 15,
41780
                             "random datain pdu offsets": 0,
41790
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
41800
                             "random r2t offsets": 0
41810
41820
                            chap_password": "password-user01",
41830
                           "chap_userid": "iscsiuser01",
41840
41850
                           "mapped luns": [
41860
                               "index": 0,
41870
                               "tpg lun": 0,
41880
                               "write protect": false
41890
41900
41910
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
41920
41930
41940
                        parameters":
41950
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
41960
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
41970
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
41980
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
41990
                         "DefaultTime2Retain": "20",
42000
                         "DefaultTime2Wait": "2",
42010
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
42020
                         "FirstBurstLength": "65536",
42030
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
42040
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
42050
                         "IFMarker": "No",
42060
                         "ImmediateData": "Yes",
42070
42080
                         "InitialR2T": "Yes",
                         "MaxBurstLength": "262144",
42090
                         "MaxConnections": "1",
42100
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
42110
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
42120
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
42130
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
42140
                         "OFMarker": "No",
42150
                         "TargetAlias": "LIO Target"
42160
42170
```

```
"portals": [
42180
42190
              "ip address": "10.110.88.59",
42200
              "iser": false.
42210
              "port": 3260
42220
42230
42240
            "tag": 1
42250
42260
42270
              "iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0000"
42280
42290
42300
42310
42320
      Active 機で、LIO の設定をクリアします。
42330
42340
      sudo targetctl clear
42350
42360
42370
      sudo targetcli ls /
      0- / .....
42380
       42390
         42400
         42410
         42420
42430
        o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
       42440
42450
       42460
      Active 機で、DRBD 上の LVM ボリュームグループを非活性化します。
42470
42480
42490
      sudo vgchange -a n vg1
42500
       O logical volume(s) in volume group "vg1" now active
42510
42520
      sudo lvs
                          Pool Origin Data% Meta% Move Log Cpy%Sync Convert
42530
       LV
             VG
               Attr
                      LSize
42540
       lv-drbd0 vg0 -wi-ao--- 359.98g
42550
       1v-1un0 vg1 -wi---- 323.97g
42560
       1v-1un1 vg1
               -wi----- 7. 20g
42570
       1v-1un2 vg1 -wi--
                      7. 20g
```

```
42580
             1v-1un3 vg1 -wi---- 7.20g
42590
           Active 機で、DRBD リソースを secondary 化 (デモート) します。
42600
42610
42620
           sudo drbdadm secondary all
42630
           Stand-by 機で、DRBD の状態を確認し、「Ctrl + C」を押下してワッチを停止します。
42640
42650
42660
                                                                     Fri Nov 25 22:23:08 2016
           Every 2.0s: cat /proc/drbd
42670
42680
           version: 8.4.5 (api:1/proto:86-101)
           srcversion: 1AEFF755B8BD61B81A0AF27
42690
            0: cs:Connected ro:Secondary/Secondary ds:UpToDate/UpToDate C r----
42700
42710
               ns:0 nr:228 dw:228 dr:377459420 al:0 bm:0 lo:0 pe:0 ua:0 ap:0 ep:1 wo:f oos:0
42720
           Active 機と Stand-by 機で、drbd. service を停止します。
42730
42740
42750 a, s
           sudo systemctl stop drbd. service
42760
42770 a, s
           cat /proc/drbd
           cat: /proc/drbd: No such file or directory
42780
42790
           Active 機で、Corosync の認証を設定し、起動します。
42800
       42810
42820
           sudo pcs cluster auth iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com 10.110.88.57 10.110.88.58 ¥
           192.168.1.2 192.168.1.3 -u hacluster -p 'password' --force
42830
42840
           iscsitgt01s.example.com: Authorized
42850
           iscsitgt01a.example.com: Authorized
42860
           10.110.88.58: Authorized
42870
           192. 168. 1. 2: Authorized
42880
           192.168.1.3: Authorized
42890
           10.110.88.57: Authorized
42900
42910
           sudo cat /var/lib/pcsd/tokens
42920
             "format version": 2,
42930
             "data version": 4,
42940
42950
             "tokens": {
               "10.110.88.57": "77189e9e-3be0-40ce-b81e-3e5e6525e885",
42960
               "10.110.88.58": "9e3f4ae9-b15e-49c9-b6ee-eb8c1b91783a".
42970
```

```
"192. 168. 1. 2": "53da862f-ad22-445b-8887-add50d385736",
42980
                "192. 168. 1. 3": "4f78d9c6-34a4-4486-8ba1-e69f0d4e1257",
42990
                "iscsitgt01a.example.com": "002cd1c0-2ab2-4a4c-a1a7-4bf14b61b822",
43000
                "iscsitgt01s.example.com": "1a9981a9-04e6-461b-b904-c5df8b4c9815"
43010
43020
43030
43040
43050
            sudo pcs cluster setup --name iscsitgt01 10.110.88.57, 192.168.1.2 10.110.88.58, 192.168.1.3 \(\prec{\psi}{2}\)
             --transport=udp --rrpmode=passive -u hacluster -p 'password' --force
43060
            Shutting down pacemaker/corosync services...
43070
43080
            Redirecting to /bin/systemctl stop pacemaker.service
43090
            Redirecting to /bin/systemctl stop corosync.service
            Killing any remaining services...
43100
43110
            Removing all cluster configuration files...
43120
            10. 110. 88. 57: Succeeded
43130
            10. 110. 88. 58: Succeeded
43140
            Synchronizing pcsd certificates on nodes 10.110.88.57, 10.110.88.58...
43150
            10. 110. 88. 57: Success
43160
            10.110.88.58: Success
43170
43180
            Restaring pcsd on the nodes in order to reload the certificates...
43190
            10. 110. 88. 57: Success
43200
            10. 110. 88. 58: Success
43210
43220
            cat /etc/corosync/corosync.conf
43230
            totem {
43240
                version: 2
43250
                secauth: off
43260
                cluster name: iscsitgt01
43270
                transport: udp
43280
                rrp mode: passive
43290
43300
43310
            nodelist {
43320
                node
43330
                     ring0 addr: 10.110.88.57
43340
                    ring1 addr: 192.168.1.2
43350
                    nodeid: 1
43360
43370
```

```
43380
                node {
43390
                     ring0 addr: 10.110.88.58
43400
                    ring1 addr: 192.168.1.3
43410
                    nodeid: 2
43420
43430
43440
43450
            quorum {
43460
                provider: corosync votequorum
43470
                two node: 1
43480
43490
43500
            logging {
43510
                to logfile: yes
43520
                logfile: /var/log/cluster/corosync.log
43530
                to_syslog: yes
43540
43550
43560
            sudo pcs cluster start --all
43570
            10.110.88.57: Starting Cluster...
43580
            10.110.88.58: Starting Cluster...
43590
43600
            sudo pcs status corosync
43610
            Membership information
43620
43630
                Nodeid
                             Votes Name
43640
                                 1 10.110.88.57 (local)
                      1
                      2
43650
                                 1 10, 110, 88, 58
43660
43670
            sudo pcs status
            Cluster name: iscsitgt01
43680
            WARNING: no stonith devices and stonith-enabled is not false
43690
43700
            WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
            Stack: corosync
43710
            Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.e17-e174ec8) - partition with quorum
43720
            Last updated: Fri Nov 25 22:26:31 2016
                                                         Last change: Fri Nov 25 22:26:26 2016 by hacluster via crmd on iscsitgt01a, example.com
43730
43740
43750
            2 nodes and 0 resources configured
43760
43770
            Online: [ iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com ]
```

```
43780
43790
           No resources
43800
43810
           Daemon Status:
43820
            corosync: active/disabled
43830
            pacemaker: active/disabled
43840
            pcsd: active/enabled
43850
43860
                   「Current DC」が表示されるまで、何回か実行します。20秒以上かかるものと思われます。
                   「Current DC」については、どちらが選ばれていてもあまり意味のある情報ではないので気にしないでください。
43870
                   「WARNING」について、前者は後で対応します。後者は pcs のバグ (RRP mode 未対応) なので無視してください。
43880
43890
          Active 機と Stand-by 機で、Corosync の状態とプロセスを確認します。
43900
43910
43920
          sudo corosync-cfgtool -s
43930
           Printing ring status.
43940
           Local node ID 1
43950
           RING ID 0
43960
                  id
                          = 10, 110, 88, 57
43970
                  status = ring 0 active with no faults
43980
           RING ID 1
43990
                  id
                         = 192, 168, 1, 2
44000
                  status = ring 1 active with no faults
44010
44020
          sudo corosync-cfgtool -s
44030
           Printing ring status.
44040
           Local node ID 2
44050
           RING ID 0
44060
                  id
                         = 10, 110, 88, 58
44070
                  status = ring 0 active with no faults
44080
           RING ID 1
44090
                          = 192, 168, 1, 3
44100
                  status = ring 1 active with no faults
44110
                   egrep '[c]orosync|[p]acemaker'
44120 a, s
           ps -ef
44130
           root
                    27483
                              1 0 22:26 ?
                                                 00:00:02 corosync
                              1 0 22:26 ?
                                                 00:00:00 /usr/sbin/pacemakerd -f
44140
           root
                    27499
44150
                          27499 0 22:26 ?
                                                 00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/cib
           haclust+
                    27500
                         27499 0 22:26 ?
                                                 00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/stonithd
44160
           root
                    27501
                          27499 0 22:26 ?
                                                 00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/lrmd
44170
                    27502
           root
```

```
00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/attrd
44180
           haclust+ 27503 27499
                                   0 22:26 ?
                                                    00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/pengine
44190
           haclust+
                     27504
                            27499
                                   0 22:26 ?
44200
           haclust+ 27505
                            27499 0 22:26 ?
                                                    00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/crmd
44210
           Active 機で、クラスタにリソースを登録します。
44220
44230
44240
           sudo /etc/ha.d/crm.sh
44250
           Adding ms drbd r0 p lvm (kind: Mandatory) (Options: first-action=promote then-action=start)
44260
           Active 機で、状態を確認します。
44270
44280
44290
           sudo pcs status
44300
           Cluster name: iscsitgt01
           WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
44310
44320
44330
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
           Last updated: Fri Nov 25 22:31:49 2016
                                                       Last change: Fri Nov 25 22:31:30 2016 by root via cibadmin on iscsitgt01s.example.com
44340
44350
44360
           2 nodes and 5 resources configured
44370
44380
           Online: [iscsitgt01a, example, com iscsitgt01s, example, com]
44390
           Full list of resources:
44400
44410
44420
            Master/Slave Set: ms_drbd_r0 [p_drbd_r0]
44430
                p drbd r0 (ocf::linbit:drbd):
                                                    FAILED iscsitgt01a. example. com (unmanaged)
                p drbd r0 (ocf::linbit:drbd):
44440
                                                    FAILED iscsitgt01s.example.com (unmanaged)
44450
             Resource Group: g_tgt
44460
                p 1vm
                            (ocf::heartbeat:LVM):
                                                    Stopped
44470
                p lio
                            (ocf::heartbeat:LIO):
                                                    Stopped
44480
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                g vip
                                                   Stopped
44490
44500
           Failed Actions:
           * p drbd r0 stop 0 on iscsitgt01a, example, com 'not configured' (6): call=6, status=complete, exitreason='none',
44510
               last-rc-change='Sat Oct 29 18:33:24 2016', queued=0ms, exec=24ms
44520
           * p_lvm_start_0 on iscsitgt01a.example.com 'unknown error' (1): call=11, status=complete, exitreason='Volume group
44530
             [vg1] does not exist or contains error! Volume group "vg1" not found',
44540
               last-rc-change='Sat Oct 29 18:33:24 2016', queued=0ms, exec=101ms
44550
           * p drbd r0 stop 0 on iscsitgt01s. example. com 'not configured' (6): call=6, status=complete, exitreason='none',
44560
               last-rc-change='Sat Oct 29 18:33:24 2016', queued=0ms, exec=23ms
44570
```

```
* p_lvm_start_0 on iscsitgt01s.example.com 'unknown error' (1): call=15, status=complete, exitreason='Volume group
44580
             [vg1] does not exist or contains error! Volume group "vg1" not found',
44590
                last-rc-change='Tue Oct 29 18:33:24 2016', queued=0ms, exec=190ms
44600
44610
44620
            Daemon Status:
44630
              corosync: active/disabled
44640
              pacemaker: active/disabled
44650
              pcsd: active/enabled
44660
           Active 機で、リソースのエラー情報をクリアします。
44670
44680
44690
           sudo pcs resource cleanup
44700
           Waiting for 1 replies from the CRMd. OK
44710
44720
       \bigcirc
           Active 機で、状態を確認します。
44730
44740
           sudo pcs status
44750
           Cluster name: iscsitgt01
44760
           WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
44770
           Stack: corosync
44780
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
           Last updated: Fri Nov 25 22:35:07 2016
                                                       Last change: Fri Nov 25 22:31:30 2016 by hacluster via crmd on iscsitgt01s, example, com
44790
44800
44810
           2 nodes and 5 resources configured
44820
44830
           Online: [iscsitgt01a.example.com iscsitgt01s.example.com]
44840
44850
           Full list of resources:
44860
44870
             Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
                 Masters: [ iscsitgt01a.example.com ]
44880
                 Slaves: [ iscsitgt01s.example.com ]
44890
44900
             Resource Group: g tgt
44910
                 p lvm
                            (ocf::heartbeat:LVM):
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
                            (ocf::heartbeat:LIO):
44920
                 p lio
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
44930
                 p_vip
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
44940
44950
           Daemon Status:
              corosync: active/disabled
44960
44970
              pacemaker: active/disabled
```

```
44980
              pcsd: active/enabled
44990
           Active 機と Stand-by 機で、設定情報を保存します。
45000
45010
45020 a, s
            sudo pcs config | sudo tee /etc/ha.d/crm.conf
45030
            Cluster Name: iscsitgt01
45040
            Corosync Nodes:
45050
             10, 110, 88, 57, 10, 110, 88, 58
45060
            Pacemaker Nodes:
45070
             iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com
45080
45090
            Resources:
             Master: ms_drbd_r0
45100
45110
              Meta Attrs: master-node-max=1 clone-max=2 clone-node-max=1 master-max=1 notify=true target-role=Started is-managed=true
45120
              Resource: p drbd r0 (class=ocf provider=linbit type=drbd)
45130
               Attributes: drbd resource=r0
               Operations: start interval=0s timeout=240 (p drbd r0-start-interval-0s)
45140
45150
                           monitor interval=10 role=Master timeout=20 (p drbd r0-monitor-interval-10)
45160
                           monitor interval=20 role=Slave timeout=20 (p_drbd_r0-monitor-interval-20)
45170
                           notify interval=0s timeout=90 (p drbd r0-notify-interval-0s)
                           stop interval=0s timeout=100 (p drbd r0-stop-interval-0s)
45180
                           promote interval=0s timeout=90 (p_drbd_r0-promote-interval-0s)
45190
45200
                           demote interval=0s timeout=90 (p drbd r0-demote-interval-0s)
45210
             Group: g tgt
45220
              Resource: p_lvm (class=ocf provider=heartbeat type=LVM)
               Attributes: volgrpname=vgl
45230
45240
               Operations: start interval=0s timeout=30 (p lvm-start-interval-0s)
                           monitor interval=5 timeout=10 (p_lvm-monitor-interval-5)
45250
45260
                           stop interval=0s timeout=30 (p lvm-stop-interval-0s)
45270
              Resource: p lio (class=ocf provider=heartbeat type=LIO)
45280
               Operations: start interval=0s timeout=10 (p lio-start-interval-0s)
                           monitor interval=5 timeout=5 (p lio-monitor-interval-5)
45290
                           stop interval=0s timeout=10 (p lio-stop-interval-0s)
45300
45310
              Resource: p vip (class=ocf provider=heartbeat type=VIP)
45320
               Attributes: ip=10.110.88.59 cidr netmask=26 nic=bond0 iflabel=1 arp interval=200 arp count=5
45330
               Operations: start interval=0s timeout=20 (p vip-start-interval=0s)
45340
                           monitor interval=5 timeout=10 (p vip-monitor-interval-5)
45350
                           stop interval=0s timeout=20 (p vip-stop-interval-0s)
45360
45370
            Stonith Devices:
```

```
45380
            Fencing Levels:
45390
45400
            Location Constraints:
45410
              Resource: g_tgt
45420
                Enabled on: iscsitgt01a.example.com (score:100) (id:1c tgt)
45430
            Ordering Constraints:
              promote ms_drbd_r0 then start p_lvm (kind:Mandatory) (id:order-ms_drbd_r0-p_lvm-mandatory)
45440
45450
            Colocation Constraints:
45460
              g tgt with ms drbd r0 (score:INFINITY) (with-rsc-role:Master) (id:colocation-g tgt-ms drbd r0-INFINITY)
45470
            Ticket Constraints:
45480
45490
            Alerts:
45500
             No alerts defined
45510
45520
            Resources Defaults:
45530
             resource-stickiness: 200
45540
             migration-threshold: 2
45550
            Operations Defaults:
45560
             No defaults set
45570
45580
            Cluster Properties:
45590
             batch-limit: 30
45600
             cluster-delay: 60
45610
             cluster-infrastructure: corosync
45620
             cluster-name: iscsitgt01
45630
             cluster-recheck-interval: 15min
45640
             crmd-finalization-timeout: 30min
45650
             crmd-integration-timeout: 3min
45660
             crmd-transition-delay: 0s
45670
             dc-deadtime: 20s
45680
             dc-version: 1.1.15-11.el7-e174ec8
45690
             default-action-timeout: 20
45700
             election-timeout: 2min
45710
             enable-acl: true
             enable-startup-probes: true
45720
45730
             have-watchdog: false
45740
             is-managed-default: true
45750
             load-threshold: 80%
45760
             maintenance-mode: false
45770
             migration-limit: -1
```

```
45780
             no-quorum-policy: ignore
45790
             node-action-limit: 0
45800
             node-health-green: 0
45810
             node-health-red: -INFINITY
45820
             node-health-strategy: none
45830
             node-health-yellow: 0
            notification-agent: /dev/null
45840
45850
             pe-error-series-max: 100
45860
             pe-input-series-max: 100
45870
             pe-warn-series-max: 100
45880
             placement-strategy: default
45890
             remove-after-stop: false
45900
             shutdown-escalation: 20min
45910
             start-failure-is-fatal: true
45920
             startup-fencing: true
45930
             stonith-action: reboot
45940
             stonith-enabled: false
45950
             stonith-timeout: 60
45960
             stop-all-resources: false
45970
            stop-orphan-actions: true
45980
             stop-orphan-resources: true
45990
             symmetric-cluster: true
46000
46010
            Quorum:
46020
              Options:
46030
46040 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/ha. d/crm. conf
46050
           Active 機で、スイッチオーバ(手動フェイルオーバ)させます。
46060
46070
46080
           sudo pcs resource move g_tgt
46090
           Warning: Creating location constraint cli-ban-g tgt-on-iscsitgt01a.example.com with a score of -INFINITY for resource g tgt on
46100
             node iscsitgt01a. example. com.
46110
           This will prevent g_tgt from running on iscsitgt01a. example. com until the constraint is removed. This will be the case even if
            iscsitgt01a.example.com is the last node in the cluster.
46120
46130
           Active 機で、状態を確認します。
46140
       \bigcirc
46150
46160
           sudo pcs status
46170
           Cluster name: iscsitgt01
```

```
46180
           WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
46190
           Stack: corosync
46200
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
46210
           Last updated: Fri Nov 25 22:45:12 2016
                                                     Last change: Fri Nov 25 22:44:04 2016 by root via crm resource on iscsitgt01a, example, com
46220
46230
           2 nodes and 5 resources configured
46240
46250
           Online: [iscsitgt01a.example.com iscsitgt01s.example.com]
46260
46270
           Full list of resources:
46280
46290
            Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
                Masters: [ iscsitgt01s.example.com ]
46300
46310
                Slaves: [ iscsitgt01a.example.com ]
46320
            Resource Group: g tgt
46330
                p lvm
                           (ocf::heartbeat:LVM):
                                                  Started iscsitgt01s.example.com
                           (ocf::heartbeat:LIO):
46340
                p lio
                                                  Started iscsitgt01s. example. com
46350
                p vip
                           (ocf::heartbeat:VIP):
                                                  Started iscsitgt01s. example. com
46360
46370
           Daemon Status:
46380
             corosync: active/disabled
46390
             pacemaker: active/disabled
46400
             pcsd: active/enabled
46410
                    「p vip」のノードが変わるまで、何回か実行します。
46420
46430
           Active 機で、設定変更を確認します。
46440
46450
          diff <(grep -v last-lrm-refresh /etc/ha.d/crm.conf) <(sudo pcs config | grep -v last-lrm-refresh)
46460
46470
           40a41
                 Disabled on: iscsitgt01a.example.com (score:-INFINITY) (role: Started) (id:cli-ban-g tgt-on-iscsitgt01a.example.com)
46480
46490
           Active 機で、設定変更を元に戻します。
46500
46510
46520
           sudo pcs resource clear g_tgt
          diff <(grep -v last-lrm-refresh /etc/ha.d/crm.conf) <(sudo pcs config | grep -v last-lrm-refresh)
46530
46540
           Active 機でリソースが起動した状態でない場合のみ、スイッチバック(フェイルバック)させます。
46550
46560
46570
           sudo pcs resource move g tgt; sleep 5; sudo pcs resource clear g tgt
```

```
Warning: Creating location constraint cli-ban-g_tgt-on-iscsitgt01s.example.com with a score of -INFINITY for resource g_tgt on
46580
46590
             node iscsitgt01s. example. com.
46600
           This will prevent g tgt from running on iscsitgt01s.example.com until the constraint is removed. This will be the case even if
46610
            iscsitgt01s.example.com is the last node in the cluster.
46620
           Active 機で、状態を確認します。
46630
46640
46650
           sudo pcs status
46660
           Cluster name: iscsitgt01
46670
           WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
46680
           Stack: corosync
46690
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
           Last updated: Fri Nov 25 22:48:03 2016
                                                        Last change: Fri Nov 25 22:47:34 2016 by root via crm resource on iscsitgt01a, example, com
46700
46710
46720
           2 nodes and 5 resources configured
46730
46740
           Online: [ iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com ]
46750
46760
           Full list of resources:
46770
46780
            Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
                Masters: [ iscsitgt01a.example.com ]
46790
                 Slaves: [ iscsitgt01s.example.com ]
46800
46810
             Resource Group: g tgt
46820
                 p lvm
                            (ocf::heartbeat:LVM):
                                                    Started iscsitgt01a.example.com
46830
                 p lio
                            (ocf::heartbeat:LIO):
                                                    Started iscsitgt01a, example, com
46840
                p_vip
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
46850
46860
           Daemon Status:
46870
             corosync: active/disabled
46880
             pacemaker: active/disabled
46890
             pcsd: active/enabled
46900
           Active 機で、設定変更を確認します。
46910
46920
           diff <(grep -v last-lrm-refresh /etc/ha.d/crm.conf) <(sudo pcs config | grep -v last-lrm-refresh)
46930
46940
46950
           Active 機と Stand-by 機で、状態を記録します。
46960
           sudo pcs status | sudo tee /etc/ha.d/crm.status
46970 a, s
```

```
46980
           Cluster name: iscsitgt01
46990
            WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
47000
           Stack: corosync
47010
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
47020
           Last updated: Fri Nov 25 22:49:57 2016
                                                       Last change: Fri Nov 25 22:47:34 2016 by root via crm resource on iscsitgt01a.example.com
47030
47040
           2 nodes and 5 resources configured
47050
47060
           Online: [iscsitgt01a, example, com iscsitgt01s, example, com]
47070
47080
           Full list of resources:
47090
            Master/Slave Set: ms_drbd_r0 [p_drbd_r0]
47100
47110
                 Masters: [ iscsitgt01a.example.com
47120
                 Slaves: [ iscsitgt01s.example.com ]
47130
             Resource Group: g_tgt
                            (ocf::heartbeat:LVM):
47140
                 p 1vm
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
47150
                 p lio
                            (ocf::heartbeat:LIO):
                                                    Started iscsitgt01a.example.com
47160
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
                 p_vip
47170
47180
            Daemon Status:
47190
              corosync: active/disabled
47200
              pacemaker: active/disabled
47210
              pcsd: active/enabled
47220
           sudo cp -a /etc{, ~}/ha. d/crm. status
47230 a, s
47240
           Active 機で、クラスタを停止します。
47250
47260
47270
           sudo pcs cluster stop --all
47280
           10.110.88.57: Stopping Cluster (pacemaker)...
           10.110.88.58: Stopping Cluster (pacemaker)...
47290
47300
           10.110.88.58: Stopping Cluster (corosync)...
47310
           10.110.88.57: Stopping Cluster (corosync)...
47320
           Active 機と Stand-by 機で、再起動します。
47330
47340
47350 a, s
           sudo reboot
47360
           Active 機と Stand-by 機へ、管理者用一般ユーザにて、ssh でログインします。
47370
```

```
47380
47390
           ssh admin@10.110.88.57
           admin@10.110.88.57's password: ******
47400
47410
47420
           ssh admin@10.110.88.58
           admin@10.110.88.58's password: ******
47430
47440
           Active 機で、クラスタを起動します。
47450
47460
47470
           sudo pcs cluster start --all
47480
           10.110.88.57: Starting Cluster...
47490
           10.110.88.58: Starting Cluster...
47500
           Active 機で、状態を確認します。
47510
47520
47530
           sudo pcs status
47540
           Cluster name: iscsitgt01
47550
           WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
47560
           Stack: corosync
           Current DC: iscsitgt01s.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
47570
47580
           Last updated: Fri Nov 25 23:06:32 2016
                                                        Last change: Fri Nov 25 23:06:30 2016 by root via crm resource on iscsitgt01s.example.com
47590
47600
           2 nodes and 5 resources configured
47610
47620
           Online: [iscsitgt01a.example.com iscsitgt01s.example.com]
47630
47640
           Full list of resources:
47650
            Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
47660
47670
                 Masters: [iscsitgt01a.example.com]
                 Slaves: [ iscsitgt01s.example.com ]
47680
47690
             Resource Group: g tgt
47700
                 p 1vm
                            (ocf::heartbeat:LVM):
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
47710
                 p lio
                            (ocf::heartbeat:LIO):
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
47720
                             (ocf::heartbeat:VIP):
                 p_vip
                                                     Started iscsitgt01a. example. com
47730
47740
           Daemon Status:
47750
              corosync: active/disabled
47760
              pacemaker: active/disabled
47770
              pcsd: active/enabled
```

```
【Munin のインストールと初期設定】
47790
        \bigcirc
47800
             以下のインストーラを DVD ドライブにセットします。
47810
47820
47830 a, s
             # V834394-01. iso (Oracle Linux 7.3)
47840
             インストーラをマウントします。
47850
47860
47870 a, s
             sudo mount /dev/cdrom /mnt
47880
             mount: /dev/sr0 is write-protected, mounting read-only
47890
             インターネットと接続可能な端末で以下のコマンドを実行する等して、必要なパッケージを収集します。
47900
        \bigcirc
47910
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/OracleLinux/OL7/optional/latest/x86_64/getPackage/perl-Crypt-DES-2.05-20.e17.x86_64.rpm
47920
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/OracleLinux/0L7/optional/latest/x86_64/getPackage/perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.el7.noarch.rpm
47930
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/0racleLinux/0L7/optional/latest/x86_64/getPackage/perl-Taint-Runtime-0.03-19.e17.x86_64.rpm
47940
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/OracleLinux/OL7/optional/latest/x86_64/getPackage/perl-XML-DOM-1.44-19.e17.noarch.rpm
47950
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/0racleLinux/0L7/optional/latest/x86_64/getPackage/perl-XML-RegExp-0.04-2.el7.noarch.rpm
47960
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/0racleLinux/0L7/optional/latest/x86_64/getPackage/rrdtool-perl-1.4.8-9.el7.x86_64.rpm
47970
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/m/munin-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
47980
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/m/munin-common-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
47990
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/m/munin-node-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
48000
         0
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86 64/p/perl-Cache-Cache-1.06-12.el7.noarch.rpm
48010
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7.noarch.rpm
48020
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-HTML-Template-2.95-1.el7.noarch.rpm
48030
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86 64/p/perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7.noarch.rpm
48040
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-IPC-ShareLite-0.17-12.el7.x86_64.rpm
48050
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1.noarch.rpm
48060
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86 64/p/perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7.noarch.rpm
48070
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Log-Log4perl-1.42-2.el7.noarch.rpm
48080
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-MIME-Lite-3.030-1.el7.noarch.rpm
48090
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-MIME-Types-1.38-2.el7.noarch.rpm
48100
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Mail-Sender-0.8.23-1.el7.noarch.rpm
48110
         O
48120
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7.noarch.rpm
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Net-CIDR-0.18-1.el7.noarch.rpm
48130
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Net-SNMP-6.0.1-7.el7.noarch.rpm
48140
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Net-Server-2.007-2.el7.noarch.rpm
48150
48160
             収集したパッケージをホームディレクトリにコピーし、確認します。
48170
```

48180

```
scp xxxx@vvv:drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86 64.rpm .
48190 a, s
           scp xxxx@yyy:per1-Crypt-DES-2.05-20.e17.x86_64.rpm .
48200 a.s
48210 a, s
           scp xxxx@vvv:perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.el7.noarch.rpm.
48220 a, s
           scp xxxx@yyy:perl-Taint-Runtime-0.03-19.e17.x86_64.rpm .
48230 a, s
           scp xxxx@yyy:perl-XML-DOM-1.44-19.el7.noarch.rpm.
48240 a, s
           scp xxxx@yyy:per1-XML-RegExp-0.04-2.e17.noarch.rpm.
           scp xxxx@yyy:rrdtool-perl-1.4.8-9.el7.x86_64.rpm .
48250 a, s
48260 a, s
           scp xxxx@yyy:munin-2.0.25-11.el7.noarch.rpm.
           scp xxxx@vyv:munin-common-2.0.25-11.e17.noarch.rpm.
48270 a, s
           scp xxxx@yyy:munin-node-2.0.25-11.e17.noarch.rpm.
48280 a, s
48290 a, s
           scp xxxx@yyy:perl-Cache-Cache-1.06-12.e17.noarch.rpm .
48300 a. s
            scp xxxx@vvy:perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7.noarch.rpm .
           scp xxxx@yyy:perl-HTML-Template-2.95-1.el7.noarch.rpm .
48310 a, s
48320 a, s
           scp xxxx@yyy:perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7.noarch.rpm.
48330 a.s
           scp xxxx@vyy:perl-IPC-ShareLite-0.17-12.e17.x86 64.rpm .
           scp xxxx@yyy:perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1.noarch.rpm .
48340 a, s
           scp xxxx@yyy:perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7.noarch.rpm .
48350 a, s
48360 a. s
           scp xxxx@vyv:per1-Log-Log4per1-1.42-2.e17.noarch.rpm.
           scp xxxx@vvv:per1-MIME-Lite-3.030-1.e17.noarch.rpm .
48370 a, s
48380 a, s
           scp xxxx@yyy:perl-MIME-Types-1.38-2.e17.noarch.rpm.
48390 a, s
           scp xxxx@vyy:perl-Mail-Sender-0.8.23-1.el7.noarch.rpm.
           scp xxxx@yyy:perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7.noarch.rpm .
48400 a, s
            scp xxxx@vvv:per1-Net-CIDR-0.18-1.e17.noarch.rpm .
48410 a. s
           scp xxxx@vyy:perl-Net-SNMP-6.0.1-7.e17.noarch.rpm .
48420 a. s
           scp xxxx@yyy:perl-Net-Server-2.007-2.el7.noarch.rpm .
48430 a, s
48440
48450 a, s
           1s -1 *.rpm
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 410308 Nov 25 16:10 drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86 64.rpm
48460
48470
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 204328 Nov 25 23:11 munin-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
48480
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 93672 Nov 25 23:12 munin-common-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 408204 Nov 25 23:12 munin-node-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
48490
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 93340 Nov 25 23:12 perl-Cache-Cache-1.06-12.el7.noarch.rpm
48500
48510
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 19920 Nov 25 23:11 perl-Crypt-DES-2.05-20.el7.x86 64.rpm
48520
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 17524 Nov 25 23:12 perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7.noarch.rpm
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 23164 Nov 25 23:11 perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.el7.noarch.rpm
48530
48540
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 77780 Nov 25 23:12 perl-HTML-Template-2.95-1.el7.noarch.rpm
48550
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 25616 Nov 25 23:12 perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7.noarch.rpm
48560
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 31004 Nov 25 23:12 perl-IPC-ShareLite-0.17-12.el7.x86 64.rpm
48570
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 84300 Nov 25 23:12 perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1.noarch.rpm
48580
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 25232 Nov 25 23:12 perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7.noarch.rpm
```

```
48590
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 433560 Nov 25 23:12 perl-Log-Log4perl-1.42-2.el7.noarch.rpm
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 60212 Nov 25 23:12 perl-Mail-Sender-0.8.23-1.el7.noarch.rpm
48600
48610
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 29540 Nov 25 23:12 perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7.noarch.rpm
48620
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 98316 Nov 25 23:12 perl-MIME-Lite-3.030-1.el7.noarch.rpm
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 39184 Nov 25 23:12 perl-MIME-Types-1.38-2.el7.noarch.rpm
48630
48640
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 19640 Nov 25 23:12 perl-Net-CIDR-0.18-1.el7.noarch.rpm
48650
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 213136 Nov 25 23:12 perl-Net-Server-2.007-2.el7.noarch.rpm
48660
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 105348 Nov 25 23:12 perl-Net-SNMP-6.0.1-7.el7.noarch.rpm
48670
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 22496 Nov 25 23:11 perl-Taint-Runtime-0.03-19.el7.x86 64.rpm
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 141504 Nov 25 23:11 perl-XML-DOM-1.44-19.el7.noarch.rpm
48680
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 10628 Nov 25 23:11 perl-XML-RegExp-0.04-2.e17.noarch.rpm
48690
48700
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 42864 Nov 25 23:11 rrdtool-perl-1.4.8-9.el7.x86 64.rpm
48710
48720 a, s
            file *.rpm
48730
           drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86 64.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin i386/x86 64 drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo
48740
            munin-2. 0. 25-11. e17. noarch. rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch munin-2.0.25-11.e17
48750
            munin-common-2.0.25-11.e17.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch munin-common-2.0.25-11.e17
48760
                                                                 RPM v3.0 bin noarch munin-node-2.0.25-11.e17
            munin-node-2. 0. 25-11. e17. noarch. rpm:
48770
            perl-Cache-Cache-1.06-12.e17.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Cache-Cache-1.06-12.e17
48780
           per1-Crypt-DES-2.05-20.e17.x86 64.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin i386/x86 64 perl-Crypt-DES-2.05-20.e17
           perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7
48790
48800
            perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.e17
48810
            perl-HTML-Template-2.95-1.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-HTML-Template-2.95-1.e17
48820
            perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-IO-Multiplex-1.13-6.e17
           perl-IPC-ShareLite-0.17-12.e17.x86_64.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin i386/x86_64 perl-IPC-ShareLite-0.17-12.e17
48830
48840
            perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1
48850
           perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7.noarch.rpm: RPM v3.0 bin noarch perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7
48860
            perl-Log-Log4perl-1. 42-2. el7. noarch. rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Log-Log4perl-1.42-2.e17
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Mail-Sender-0.8.23-1.e17
48870
            per1-Mail-Sender-0.8.23-1.e17.noarch.rpm:
48880
            perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7
           perl-MIME-Lite-3.030-1.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-MIME-Lite-3.030-1.e17
48890
           perl-MIME-Types-1.38-2.e17.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-MIME-Types-1.38-2.e17
48900
48910
            perl-Net-CIDR-0.18-1.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Net-CIDR-0.18-1.el7
48920
            perl-Net-Server-2.007-2.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Net-Server-2.007-2.e17
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-Net-SNMP-6.0.1-7.e17
48930
            perl-Net-SNMP-6.0.1-7.e17.noarch.rpm:
48940
            perl-Taint-Runtime-0.03-19.e17.x86 64.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin i386/x86 64 perl-Taint-Runtime-0.03-19.e17
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-XML-DOM-1.44-19.e17
48950
            perl-XML-DOM-1.44-19.el7.noarch.rpm:
48960
           perl-XML-RegExp-0.04-2.el7.noarch.rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin noarch perl-XML-RegExp-0.04-2.e17
48970
            rrdtool-perl-1. 4. 8-9. el7. x86 64. rpm:
                                                                 RPM v3.0 bin i386/x86 64 rrdtool-perl-1.4.8-9.e17
48980
```

```
Munin をインストールします。Oracle 社サポート外のパッケージです。
48990
49000
           sudo yum -y --disablerepo=\frac{\pmathbf{Y}}{\pmathbf{Y}} --enablerepo=\text{media install httpd}
49010 a, s
           sudo vum -v --disablerepo=\frac{4}{2} --enablerepo=media localinstall perl-\frac{1}{2}.rpm rrdtool-perl-\frac{1}{2}.rpm munin-\frac{1}{2}.rpm
49020 a, s
49030
           インストーラをアンマウントします。
49040
49050
49060 a, s
           sudo umount /mnt
49070
           インストーラをDVDドライブから外します。
49080
49090
49100 a, s
           # Eject DVD
49110
           追加インストールしたパッケージの設定をバックアップします。
49120
49130
           sudo cp -a /etc{, ~}/cron. d/munin
49140 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/fonts
49150 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/httpd
49160 a.s
49170 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/httpd
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/munin
49180 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/munin-node
49190 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/munin
49200 a, s
           sudo cp -a /etc{,~}/sysconfig/htcacheclean
49210 a.s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/httpd
49220 a, s
           sudo cp -a /etc/passwd /etc~/passwd_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
49230 a, s
           sudo cp -a /etc/passwd- /etc~/passwd-_$(date +%Y\m\d_\%H\\M\\S)
49240 a.s
           sudo cp -a /etc/shadow
                                   /etc~/shadow_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
49250 a, s
           sudo cp -a /etc/shadow- /etc~/shadow-_$(date +%Y\m\%d_\%H\\M\%S)
49260 a, s
                                   /etc~/group_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
49270 a, s
           sudo cp -a /etc/group
           sudo cp -a /etc/group- /etc~/group-_$(date +\%Y\\m\%d_\%H\\M\\%S)
49280 a, s
           sudo cp -a /etc/gshadow /etc~/gshadow_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
49290 a, s
           sudo cp -a /etc/gshadow- /etc~/gshadow-_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
49300 a, s
49310
           DRBD、LIO に関するプラグインを作成します。
49320
49330
           cat << 'EOF' | sudo tee /usr/share/munin/plugins/drbd
49340 a. s
           #!/usr/bin/perl
49350 a, s
           #%# family=auto
49360 a, s
           #%# capabilities=autoconf
49370 a, s
           # http://www.drbd.org/en/doc/users-guide-84/ch-admin#s-performance-indicators
49380 a, s
```

```
49390 a, s
49400 a, s
                            use strict;
                           my $file="/proc/drbd";
49410 a, s
                           my $store = {};
49420 a, s
                            my $rid;
49430 a, s
49440 a, s
49450 a, s
                            &crunch;
49460 a, s
                            &display;
49470 a, s
49480 a, s
                            sub display {
                                if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "config") {
49490 a, s
                                     print "graph_title DRBD\n";
49500 a, s
49510 a, s
                                     print "graph_category DRBD\n";
49520 a, s
                                     print "graph_info Graph DRBD\n";
49530 a, s
                                     print "graph_vlabel Graph DRBD (Bytes/sec)\fmathbf{Y}n";
                                     print "graph_scale yes\n";
49540 a, s
                                     print "graph_args --base 1024 --lower-limit 0\fm";
49550 a, s
                                     print "graph_period second\u00e4n";
49560 a, s
49570 a, s
                                     print "graph_height 200\formats";
                                     print "graph_width 400\formats";
49580 a, s
                                     print "graph_printf %7.21f\fmathbf{Y}n";
49590 a, s
                                     foreach my $key ( keys %$store ) {
49600 a, s
                                          my $drbdname = 'drbd'. $key;
49610 a.s
                                          print $drbdname. "dr. label $drbdname Disk Read\n";
49620 a, s
                                          print $drbdname. "dw. label $drbdname Disk Write\n";
49630 a, s
                                          print $drbdname. "ns. label $drbdname Network Send¥n";
49640 a.s
                                          print $drbdname. "nr. label $drbdname Network Receive\n"
49650 a, s
                                          print $drbdname. "os. label $drbdname Out of Sync\formation";
49660 a, s
                                          print $drbdname. "dr. cdef ". $drbdname. "dr, 1024, *\footnote 1024, *\foo
49670 a.s
                                          print $drbdname. "dw. cdef
                                                                                                       ". $drbdname. "dw, 1024, *\footnote{\text{m}}";
49680 a, s
                                          print $drbdname. "ns. cdef
                                                                                                       ". $drbdname. "ns, 1024, *\footnote{\text{y}}n";
49690 a, s
                                          print $drbdname. "nr. cdef
                                                                                                      ". $drbdname. "nr, 1024, *\footnote{\text{y}}n";
49700 a, s
                                          print $drbdname. "os. cdef ". $drbdname. "os, 1024, *\footnote n";
49710 a, s
                                          print $drbdname. "dr. min 0\fm";
49720 a, s
                                          print $drbdname. "dw. min 0\formation";
49730 a. s
                                          print $drbdname. "ns. min 0\fm";
49740 a, s
                                          print $drbdname. "nr. min 0\fm";
49750 a, s
                                          print $drbdname. "os. min 0\formation";
49760 a. s
                                          print $drbdname. "dr. type DERIVE\u00e4n";
49770 a, s
                                          print $drbdname. "dw. type DERIVE\u00e4n";
49780 a, s
```

```
print $drbdname. "ns. type DERIVE\u00e4n";
49790 a, s
                  print $drbdname. "nr. type DERIVE\u00e4n";
49800 a, s
                  print $drbdname. "os. type DERIVE¥n";
49810 a, s
49820 a, s
49830 a, s
                exit 0;
49840 a, s
              foreach my $key ( keys %$store ) {
49850 a, s
49860 a, s
                my $drbdname = 'drbd'. $key;
                print $drbdname. "dw. value ". $store-> {$key}-> {' dw' }. "\fm";
49870 a, s
                print $drbdname. "dr. value ". $store-> {$key}-> {'dr'}. "\n";
49880 a, s
                print $drbdname. "ns. value ". $store->{$key}->{'ns'}. "\n"
49890 a, s
                print $drbdname. "nr. value ". $store-> {$key}-> {'nr'}. "\n";
49900 a, s
                print $drbdname. "os. value ". $store-> {$key}-> {'os'}. "\n";
49910 a, s
49920 a, s
49930 a, s
49940 a, s
49950 a, s
            sub crunch{
              open (IN, $file) | die "Could not open $file for reading: $!";
49960 a, s
49970 a, s
              if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "autoconf") {
                close (IN);
49980 a, s
                print "yes\n";
49990 a, s
50000 a, s
                exit 0;
50010 a.s
50020 a, s
              while (<IN>) {
                next if /version: |GIT-hash:/;
50030 a, s
50040 a. s
                chomp;
                50050 a, s
                rid = drbd if drbd = /Yd/;
50060 a, s
                my (sns) = = ^{\sim} /ns:(yd*)/; store > { srid } -> { 'ns' } = sns if $ns ne undef;
50070 a.s
                my ($nr) = $_=^{n} /nr: (Yd*)/;
                                                store \rightarrow { rid } \rightarrow { nr' } = nr if ns ne undef;
50080 a, s
                mv (\$dw) = \$ = ^{\sim} /dw : (¥d*)/;
                                                store \rightarrow { rid } \rightarrow { dw' } = dw if dw ne undef;
50090 a, s
                mv (\$dr) = \$_=^{\prime} / dr : (\$d*)/;
                                                store \rightarrow { rid } \rightarrow { dr' } = dr if dr ne undef;
50100 a, s
                50110 a, s
50120 a, s
              close (IN);
50130 a, s
50140 a, s
50150 a, s
50160 a, s
            exit 0;
50170 a, s
            EOF
            sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/drbd
50180 a, s
```

```
50190 a, s
             cat << 'EOF' | sudo tee /usr/share/munin/plugins/drbd_al
50200 a, s
             #!/usr/bin/perl
50210 a, s
             #%# family=auto
50220 a, s
             #%# capabilities=autoconf
50230 a, s
             # http://www.drbd.org/en/doc/users-guide-84/ch-admin#s-performance-indicators
50240 a, s
50250 a, s
50260 a, s
             use strict;
             my $file="/proc/drbd";
50270 a, s
             my $store = {};
50280 a, s
50290 a, s
             my $rid;
50300 a, s
50310 a, s
             &crunch;
50320 a, s
             &display;
50330 a, s
50340 a, s
             sub display{
               if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "config") {
50350 a, s
                 print "graph_title DRBD (Activity Log)\formatter{\text{Y}}n";
50360 a, s
50370 a, s
                 print "graph_category DRBD\n";
                 print "graph_info Graph DRBD (Activity Log)\formatsn";
50380 a, s
                 print "graph_vlabel Graph DRBD (Activity Log)\formatter{\text{Yn''}};
50390 a, s
                 print "graph_scale yes\n";
50400 a, s
                 print "graph_args --base 1024 --lower-limit 0\formation";
50410 a. s
                 print "graph_period second\u00e4n";
50420 a, s
                 print "graph_height 200\formats";
50430 a, s
                 print "graph_width 400\formats";
50440 a, s
                 print "graph_printf %7.21f\fmathbf{Y}n";
50450 a, s
                 foreach my $key ( keys %$store ) {
50460 a, s
                   my $drbdname = 'drbd'.$key;
50470 a. s
                   print $drbdname. "al. label $drbdname Activity log\n";
50480 a, s
                   print $drbdname. "al.min 0\fm";
50490 a, s
                     print $drbdname. "al. type DERIVE\u00e4n";
50500 a, s
50510 a, s
50520 a, s
                 exit 0;
50530 a, s
               foreach my $key ( keys %$store ) {
50540 a, s
                 my $drbdname = 'drbd'. $key;
50550 a, s
                 print $drbdname. "al. value ". $store-> {$key}-> {'al'}. "\n";
50560 a. s
50570 a, s
50580 a, s
```

```
50590 a, s
50600 a, s
            sub crunch {
              open (IN, $file ) | | die "Could not open $file for reading: $!";
50610 a, s
              if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "autoconf") {
50620 a, s
                 close (IN);
50630 a, s
                 print "yes\n";
50640 a, s
50650 a, s
                 exit 0;
50660 a, s
              while (<IN>) {
50670 a, s
                next if /version: |GIT-hash:/;
50680 a, s
50690 a, s
                 chomp;
                 my (\$drbd) = \$_= ^{\sim} /^{\$}_{S} + (\$d) :/;
50700 a, s
                 $rid = $drbd if $drbd = \(^{\text{Yd}}\);
50710 a, s
                 my (al) = a = al: (al); al = al if al ne undef;
50720 a, s
50730 a, s
              close (IN);
50740 a, s
50750 a, s
50760 a, s
50770 a, s
            exit 0;
50780 a, s
            EOF
            sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/drbd_al
50790 a, s
50800 a, s
            cat << 'EOF' | sudo tee /usr/share/munin/plugins/drbd_ext
50810 a. s
            #!/usr/bin/perl
50820 a, s
            #%# family=auto
50830 a, s
50840 a, s
            #%# capabilities=autoconf
            # http://www.drbd.org/en/doc/users-guide-84/ch-admin#s-performance-indicators
50850 a, s
50860 a, s
50870 a, s
            use strict;
            my $file="/proc/drbd";
50880 a, s
            mv $store = {};
50890 a, s
            my $rid;
50900 a, s
50910 a, s
50920 a, s
            &crunch;
50930 a, s
            &display;
50940 a, s
50950 a, s
            sub display{
              if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "config") {
50960 a, s
                 print "graph title DRBD (Ext)\fmmath{\text{Yn}}";
50970 a, s
                print "graph category DRBD\n";
50980 a, s
```

```
print "graph_info Graph DRBD (Ext)\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\formalfont\form
50990 a, s
                                                   "graph_vlabel Graph DRBD (Ext)\forall \text{Yn";
51000 a, s
51010 a, s
                                     print "graph scale yes\n";
                                     print "graph_args --base 1024 --lower-limit 0\fm";
51020 a, s
                                     print "graph_period second\n";
51030 a, s
                                     print "graph_height 200\formats";
51040 a, s
                                     print "graph_width 400\fm";
51050 a, s
                                     print "graph_printf %7.21f\forall f\forall n";
51060 a, s
                                     foreach my $key ( keys %$store ) {
51070 a, s
                                         my $drbdname = 'drbd'. $key;
51080 a, s
                                         print $drbdname. "bm. label $drbdname Bit Map\n";
51090 a, s
                                         print $drbdname. "lo. label $drbdname Local count\n";
51100 a, s
                                         print $drbdname. "pe. label $drbdname Pending\n";
51110 a, s
                                         print $drbdname. "ua. label $drbdname UnAcknowledged\n";
51120 a, s
                                         print $drbdname. "ap. label $drbdname Application Pending\n";
51130 a, s
                                         print $drbdname. "ep. label $drbdname Epochs\n";
51140 a, s
51150 a, s
51160 a, s
                                     exit 0;
51170 a, s
                                foreach my $key ( keys %$store ) {
51180 a.s
                                     my $drbdname = 'drbd'.$key;
51190 a, s
                                     print $drbdname. "bm. value ". $store->{$key}->{'bm'}. "\n";
51200 a, s
                                     print $drbdname. "lo. value ". $store->{$key}->{' lo'}. "\n";
51210 a. s
                                     print $drbdname. "pe. value ". $store-> {$key}-> {'pe'}. "\n"
51220 a, s
                                     print $drbdname. "ua. value ". $store-> {$key}-> {'ua'}. "\n";
51230 a, s
                                     print $drbdname. "ap. value ". $store-> {$key}-> {'ap'}. "\n";
51240 a, s
                                    print $drbdname. "ep. value ". $store-> {$key}-> {'ep'}. "\n";
51250 a, s
51260 a, s
51270 a, s
51280 a, s
51290 a, s
                           sub crunch{
                                open (IN, $file) | die "Could not open $file for reading: $!";
51300 a, s
                                if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "autoconf") {
51310 a, s
51320 a, s
                                     close (IN);
                                    print "yes\formalfont";
51330 a, s
51340 a, s
                                     exit 0;
51350 a, s
51360 a, s
                                while (<IN>) {
                                    next if /version:|GIT-hash:/;
51370 a, s
51380 a, s
                                     chomp;
```

```
my (\$drbd) = \$_ = ^/ Y_s + (Y_d) :/;
 51390 a, s
                                                                   $rid = $drbd if $drbd = \(^{\text{Yd}}\);
51400 a, s
                                                                   my (bm) = - /bm: (Yd*)/; store->{ m'} = m'} = m'} = m'} = m'} = m'
 51410 a, s
                                                                   my (10) = -7 /10: (10) /; 10 /; 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10
51420 a, s
                                                                  my ($pe) = \frac{1}{2} = \frac{1}{pe} \cdot \frac{\text{Yd}}{\text{Store}} \cdot \frac{\text{Store}}{\text{Srid}} - \frac{1}{pe} \cdot \frac{1}{pe} \cdot
 51430 a, s
                                                                  my (\frac{1}{2}ua) = \frac{1}{2} - \frac{1}{2} /ua: (\frac{1}{2}d*)/; \frac{1}{2}store->{ $rid }->{'ua'} = $ua if $ua ne undef;
51440 a, s
                                                                  my (ap) = ap: (yd*)/; store > { srid } -> { ap if } ap ne undef;
 51450 a, s
                                                                  my ($ep) = \frac{1}{2} = \frac{1}{2} / ep: (\forall d*)/; \forall store->{ \forall rid }->{'ep'} = \forall ep if \forall ep ne undef;
 51460 a, s
 51470 a, s
                                                          close (IN);
 51480 a, s
51490 a, s
 51500 a, s
51510 a, s
                                                  exit 0;
51520 a, s
                                                  EOF
51530 a, s
                                                  sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/drbd_ext
 51540 a, s
                                                  cat << 'EOF' | sudo tee /usr/share/munin/plugins/lio_read
 51550 a, s
 51560 a, s
                                                  #!/bin/sh
 51570 a, s
                                                  #%# family=auto
                                                  #%# capabilities=autoconf
 51580 a, s
 51590 a, s
                                                  if [ "$1" = "autoconf" ]; then
51600 a, s
                                                         if [ -d /sys/kernel/config/target/iscsi/ign.*/tpgt_1 ]; then
 51610 a.s
51620 a, s
                                                                   echo ves
 51630 a, s
                                                           else
                                                                   echo 'no (no iscsi target)'
51640 a, s
 51650 a, s
                                                          fi
                                                          exit 0
 51660 a, s
 51670 a, s
                                                  fi
                                                  if [ "$1" = "config" ]; then
 51680 a, s
                                                          echo 'graph_title LIO (Read)
 51690 a, s
                                                          echo 'graph_category LIO'
 51700 a, s
                                                                                   'graph_info Graph LIO (Read)'
 51710 a, s
                                                          echo
                                                                                'graph_vlabel Graph LIO (Bytes/sec)'
51720 a, s
                                                          echo
                                                          echo 'graph_scale yes'
51730 a, s
                                                                               'graph_args --base 1024 --lower-limit 0'
51740 a, s
                                                           echo
                                                          echo 'graph_period second'
51750 a, s
                                                                                   'graph_height 200'
 51760 a, s
                                                  # echo
                                                  # echo 'graph width 400'
51770 a, s
                                                          echo 'graph printf %7.21f'
51780 a, s
```

```
51790 a, s
51800 a, s
              TGT_=
51810 a, s
              INI =
              for i in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1/acls/iqn.*/*/statistics/scsi_auth_intr/read_mbytes | LANG=C sort)
51820 a, s
51830 a, s
                 TGT=$(echo $i
51840 a, s
                                  cut -d/-f7
                INI=$(echo $i
51850 a, s
                                  cut -d/-f10
51860 a, s
                LUN=$(echo $i
                                 cut -d/ -f11)
                if [ "$TGT_" = "$TGT" ]; then
51870 a, s
                   if [ "$INI_" = "$INI" ]; then
51880 a, s
51890 a, s
                   else
51900 a, s
51910 a, s
                     INI =$INI
                     INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
51920 a, s
51930 a, s
                   fi
                 else
51940 a, s
51950 a, s
                    TGT_=$TGT
                    TGT_F=$(echo $TGT | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
51960 a, s
51970 a, s
                    INI =$INI
                    INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
51980 a, s
                    for j in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/$TGT/tpgt_1/lun/*/statistics/scsi_tgt_port/read_mbytes | LANG=C sort)
51990 a, s
52000 a, s
                    do
                      LUN_{=}(echo \ \ j \mid cut -d/ -f10)
52010 a.s
                      echo ${TGT_F}$LUN_.label $(echo $TGT | cut -d: -f2) ¥($LUN_¥) Read
52020 a, s
                      echo ${TGT_F}$LUN_.cdef ${TGT_F}$LUN_, 1048576, \frac{\pmathbf{4}}{*}
52030 a, s
52040 a. s
                      echo ${TGT_F}$LUN_.min 0
                      echo ${TGT_F}$LUN_.type DERIVE
52050 a, s
52060 a, s
                    done
52070 a, s
                 fi
                echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN. label $(echo $TGT | cut -d: -f2) - $(echo $INI | cut -d: -f2) ¥($LUN¥) Read
52080 a, s
                echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN.cdef ${TGT_F}${INI_F}$LUN, 1048576, \**
52090 a, s
                echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN.min 0
52100 a, s
                echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN. type DERIVE
52110 a, s
52120 a, s
              done
52130 a, s
              exit 0
52140 a, s
            fi
52150 a, s
52160 a. s
            TGT_{=}
52170 a, s
            INI =
            for i in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1/acls/iqn.*/*/statistics/scsi_auth_intr/read_mbytes | LANG=C sort)
52180 a, s
```

```
52190 a, s
52200 a, s
              TGT=\$(echo \$i \mid cut -d/-f7)
              INI=\$(echo \$i \mid cut -d/-f10)
52210 a, s
52220 a, s
              LUN=(echo i cut -d/ -f11)
              if [ "$TGT_" = "$TGT" ]; then
52230 a, s
                if [ "$INI " = "$INI" ]; then
52240 a, s
52250 a, s
                   :
52260 a, s
                 else
52270 a, s
                   INI =$INI
                   INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52280 a, s
52290 a, s
                 fi
52300 a, s
              else
52310 a, s
                  TGT = TGT
                  TGT_F=$(echo $TGT | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52320 a, s
52330 a, s
                  INI_=$INI
                  INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52340 a, s
                  for j in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/$TGT/tpgt_1/lun/*/statistics/scsi_tgt_port/read_mbytes | LANG=C sort)
52350 a, s
52360 a, s
52370 a, s
                    LUN_{=}(echo \ \ j \ \ cut \ -d/ -f10)
                    echo -n "$ {TGT_F} $LUN_. value
52380 a, s
                    cat $i
52390 a, s
52400 a, s
                  done
52410 a. s
              fi
              echo -n "${TGT_F}${INI_F}$LUN. value "
52420 a, s
52430 a, s
              cat $i
52440 a, s
            done
52450 a, s
52460 a, s
            exit 0;
52470 a, s
            EOF
52480 a, s
            sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/lio_read
52490 a, s
            cat << 'EOF' | sudo tee /usr/share/munin/plugins/lio_write
52500 a, s
52510 a, s
            #!/bin/sh
52520 a, s
            #%# family=auto
52530 a, s
            #%# capabilities=autoconf
52540 a, s
            if [ "$1" = "autoconf" ]; then
52550 a, s
              if [ -d /sys/kernel/config/target/iscsi/ign.*/tpgt_1 ]; then
52560 a. s
52570 a, s
                 echo ves
52580 a, s
              else
```

```
echo 'no (no iscsi target)'
52590 a, s
52600 a, s
              fi
52610 a, s
              exit 0
52620 a, s
            fi
            if [ "$1" = "config" ]; then
52630 a, s
              echo 'graph_title LIO (Write)'
52640 a, s
              echo 'graph_category LIO'
52650 a, s
              echo 'graph_info Graph LIO (Write)'
52660 a, s
                    'graph_vlabel Graph LIO (Bytes/sec)'
52670 a, s
              echo
              echo 'graph_scale yes'
52680 a, s
52690 a, s
              echo 'graph_args --base 1024 --lower-limit 0'
              echo 'graph_period second'
52700 a, s
                     'graph_height 200'
52710 a, s
            # echo
            # echo 'graph_width 400'
52720 a, s
52730 a, s
              echo 'graph printf %7.21f'
52740 a, s
52750 a, s
              TGT_{=}
52760 a, s
              INI =
52770 a, s
              for i in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1/acls/iqn.*/*/statistics/scsi_auth_intr/write_mbytes | LANG=C sort)
52780 a, s
                TGT=$(echo $i |
                                 cut -d/-f7
52790 a, s
                                 cut -d/-f10)
52800 a, s
                INI=$(echo $i
                LUN=(echo i | cut -d/ -f11)
52810 a.s
                if [ "$TGT " = "$TGT" ]; then
52820 a, s
                   if [ "$INI " = "$INI" ]; then
52830 a, s
52840 a. s
52850 a, s
                   else
52860 a, s
                     INI =$INI
                     INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9 ]!!g')
52870 a, s
52880 a, s
                   fi
                else
52890 a, s
52900 a, s
                    TGT = TGT
                    TGT_F=$(echo $TGT | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52910 a, s
                    INI =$INI
52920 a, s
                    INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52930 a, s
                    for j in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/$TGT/tpgt_1/lun/*/statistics/scsi_tgt_port/write_mbytes | LANG=C sort)
52940 a, s
52950 a, s
52960 a, s
                      LUN_=$(echo $j | cut -d/ -f10)
                      echo ${TGT F}$LUN .label $(echo $TGT | cut -d: -f2) ¥($LUN ¥) Write
52970 a, s
                      echo ${TGT_F}$LUN_.cdef ${TGT_F}$LUN_, 1048576, \frac{\pmathbf{4}}{*}
52980 a, s
```

```
echo ${TGT F}$LUN .min 0
52990 a, s
                                                 echo ${TGT_F}$LUN_. type DERIVE
53000 a, s
53010 a, s
                                             done
                                     fi
53020 a, s
                                     echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN. label $(echo $TGT | cut -d: -f2) - $(echo $INI | cut -d: -f2) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(
53030 a, s
                                     echo ${TGT F}${INI F}$LUN.cdef ${TGT F}${INI F}$LUN,1048576,\#*
53040 a, s
                                     echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN.min 0
53050 a, s
53060 a, s
                                     echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN. type DERIVE
53070 a, s
                                done
53080 a, s
                                exit 0
53090 a, s
                           fi
53100 a, s
53110 a, s
                           TGT_=
53120 a, s
                            INI =
53130 a, s
                            for i in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1/acls/iqn.*/*/statistics/scsi_auth_intr/write_mbytes | LANG=C sort)
53140 a, s
                                 TGT=\$(echo \$i \mid cut -d/-f7)
53150 a, s
53160 a, s
                                INI=\$(echo \$i \mid cut -d/ -f10)
53170 a, s
                               LUN=(echo i | cut -d/ -f11)
53180 a, s
                                if [ "$TGT_" = "$TGT" ]; then
                                     if [ "$INI " = "$INI" ]; then
53190 a, s
53200 a, s
53210 a. s
                                     else
53220 a, s
                                          INI =$INI
                                          INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
53230 a, s
53240 a, s
                                     fi
53250 a, s
                                 else
                                        TGT = TGT
53260 a, s
                                        TGT_F=$(echo $TGT | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9 ]!!g')
53270 a, s
53280 a, s
                                        INI =$INI
                                        INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
53290 a, s
                                        for j in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/$TGT/tpgt_1/lun/*/statistics/scsi_tgt_port/write_mbytes | LANG=C sort)
53300 a, s
53310 a, s
                                        do
                                            LUN_{=}(echo \ \ j \ \ cut \ -d/ -f10)
53320 a, s
                                             echo -n "$ {TGT_F} $LUN_. value '
53330 a, s
53340 a, s
                                             cat $j
53350 a, s
                                        done
53360 a. s
                                fi
                                echo -n "${TGT F}${INI F}$LUN. value "
53370 a, s
53380 a, s
                                cat $i
```

```
53390 a, s
            done
53400 a, s
53410 a, s
            exit 0;
53420 a, s
            EOF
           sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/lio_write
53430 a, s
53440 a, s
           有効化されている不要なプラグインを無効化します。
53450
53460
53470 a, s
           sudo rm /etc/munin/plugins/postfix_mail*
53480 a, s
           sudo rm /etc/munin/plugins/fw_packets
53490
53500
           Munin の稼働状況をグラフ化するプラグインを有効化します。
       \bigcirc
53510
           cat << 'EOF' | sudo tee -a /etc/munin/plugin-conf.d/munin-node
53520 a, s
53530 a, s
53540 a, s
            [munin_*]
53550 a, s
            user munin
53560 a, s
53570 a, s
            cat << 'EOF'
                        sudo tee -a /etc/munin/plugin-conf.d/munin-node
53580 a, s
           [http_loadtime]
53590 a, s
           env. target http://127.0.0.1/server-status
53600 a, s
           env. requisites true
53610 a.s
53620 a, s
            EOF
           cat << 'EOF' | sudo tee /etc/httpd/conf. d/status. conf
53630 a, s
53640 a.s
           <IfModule mod_status.c>
53650 a, s
                ExtendedStatus On
53660 a, s
                <Location /server-status>
                    SetHandler server-status
53670 a.s
53680 a, s
                    Order deny, allow
53690 a, s
                    Denv from all
53700 a.s
                    Allow from 127.0.0.1
                </Location>
53710 a, s
53720 a, s
           </IfModule>
53730 a, s
            EOF
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/apache_accesses' '/etc/munin/plugins/apache_accesses'
53740 a, s
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/apache_processes' '/etc/munin/plugins/apache_processes'
53750 a, s
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/apache_volume' '/etc/munin/plugins/apache_volume'
53760 a. s
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/http loadtime' '/etc/munin/plugins/http loadtime'
53770 a, s
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/munin stats' '/etc/munin/plugins/munin stats'
53780 a, s
```

```
sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/munin update' '/etc/munin/plugins/munin update'
53790 a, s
53800
           DRBD の稼働状況をグラフ化するプラグインを有効化します。
53810
      \bigcirc
53820
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/drbd' '/etc/munin/plugins/drbd'
53830 a, s
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/drbd_al' '/etc/munin/plugins/drbd_al'
53840 a, s
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/drbd_ext' '/etc/munin/plugins/drbd_ext'
53850 a, s
53860
53870
           Munin にホスト名を登録します。
53880
           sudo sed -i -e "s/host_name .*\foots\foots/host_name \$(uname -n)/" /etc/munin/munin-node.conf
53890 a, s
           sudo sed -i -e "s/\frac{1}{2} [localhost/[\frac{1}{2} (uname -n)/" /etc/munin/munin.conf
53900 a, s
53910
53920
           PrivateTmp 機能を無効化します。
53930
           sudo sed -i -e 's/PrivateTmp=.*$/PrivateTmp=false/' /usr/lib/systemd/system/munin-node.service
53940 a, s
           sudo systemctl daemon-reload
53950 a, s
53960
53970
      \bigcirc
           ベーシック認証設定を行います。
53980
           sudo htpasswd -c -b /etc/munin/munin-htpasswd munin 'password'
53990 a, s
           sudo htpasswd -b /etc/munin/munin-htpasswd admin 'password'
54000 a, s
           sudo htpasswd -b /etc/munin/munin-htpasswd monitor 'password'
54010 a. s
54020
           LIO の稼働状況をグラフ化するプラグインを有効化します。
54030
54040
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/lio_read' '/etc/munin/plugins/lio_read'
54050 a. s
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/lio_write' '/etc/munin/plugins/lio_write'
54060 a, s
54070
           Active 機で、Munin 関連サービスを自動起動するように変更し、起動します。
54080
54090
54100
           sudo systemctl enable munin-node. service
           sudo systemctl enable httpd. service
54110
54120
           sudo systemctl start munin-node. service
           sudo systemctl start httpd. service
54130
54140
           数十分待ってから、ブラウザでアクセスし、動作を確認します。
54150
54160
54170
          # http://10.110.88.57/munin
54180
```

```
リソースをスイッチオーバします。
54190
54200
54210
          sudo pcs resource move g_tgt; sleep 5; sudo pcs resource clear g_tgt
       a
54220
          Stand-by 機で、Munin 関連サービスを自動起動するように変更し、起動します。
54230
54240
54250
          sudo systemctl enable munin-node.service
54260
          sudo systemctl enable httpd. service
54270
          sudo systemctl start munin-node. service
54280
          sudo systemctl start httpd. service
54290
          数十分待ってから、ブラウザでアクセスし、動作を確認します。
54300
54310
54320
          # http://10.110.88.58/munin
54330
          リソースをスイッチバックします。
54340
54350
54360
          sudo pcs resource move g_tgt; sleep 5; sudo pcs resource clear g_tgt
54370
          LIO の統計情報を定期保存する設定を行います。
54380
54390
54400 a, s
          sudo mkdir -p /etc/lio
          sudo mkdir -p /var/log/lio/
54410 a. s
54420 a, s
54430 a, s
          cat << 'EOF'
                      | sudo tee /etc/lio/save
54440 a, s
          #!/bin/sh
          FILE=/dev/shm/lio-$(date +%Y%m%d%H%M)
54450 a, s
          for i in $(find /sys/kernel/config/target ! -type d | LANG=C sort)
54460 a, s
           do echo [$i]; cat $i; echo; done > $FILE 2> /dev/null
54470 a, s
54480 a, s
          gzip $FILE
          mv $FILE.gz /var/log/lio/
54490 a, s
54500 a, s
54510 a, s
          sudo chmod 755 /etc/lio/save
54520 a, s
          cat << 'EOF'
                        sudo tee /etc/lio/statistics
54530 a, s
54540 a, s
          #!/bin/sh
54550 a, s
          FILE=/dev/shm/lio-statistics-$(date +%Y%m%d%H%M)
          54560 a. s
          for i in $(for k in /sys/kernel/config/target/{core/*/*, iscsi/*/{fabric_, tpgt_1/{acls/*/{fabric_, */}}, lun/*/}}}statistics; do echo $k; done | LANG=C sort)
54570 a, s
           do for i in $(find $i ! -tvpe d | LANG=C sort); do echo [$i]; cat $i; echo; done; done > $FILE 2> /dev/null
54580 a, s
```

```
54590 a, s
            gzip $FILE
            mkdir -p /var/log/lio/$YYYYMMDD/
54600 a, s
            mv $FILE.gz /var/log/lio/$YYYYMMDD/
54610 a, s
54620 a, s
            EOF
            sudo chmod 755 /etc/lio/statistics
54630 a, s
54640 a, s
            cat << 'EOF' | sudo tee /etc/cron.d/lio
54650 a, s
            59 * * * * root nice -n 19 /etc/lio/save
54660 a, s
            * * * * * root nice -n 19 /etc/lio/statistics
54670 a, s
            58 23 * * * root nice -n 19 /bin/find /var/log/lio -mtime +365 -print0 | xargs -0 rm -rfv 2> /dev/null
54680 a, s
54690 a, s
```

当文書で紹介した構成で初期構築をご希望の方は、メール(mailto: si@pc-office.net)にてお問い合わせください。
リモートアクセスによる構築サービスを、弊社提示のヒアリング事項(当文書の緑色で記載した部分)以外のカスタマイズはなしとの前提で、サーバ1台あたり10万円(税別)という超特価にてご提供中です。
1号機と2号機(Active 機と Stand-by 機)サーバの物理構成は同一構成との前提です。
カスタマイズやドキュメントの提供、個別訪問等は、別途ご相談となります。
クラスタの起動停止、スイッチオーバ(手動フェイルオーバ)以外の動作確認、結合試験、障害試験、性能試験等は、別途ご相談となります。
インストールメディアからインストールできない環境やコンソールにリモートアクセスできない環境でのインストールも別途ご相談となります。
監視設定(障害監視、リソース監視、セキュリティ監視等)については、別途ご相談となります。
UEFI 対応、ハードウェア固有のドライバや管理ソフト等のインストールについては、別途ご相談となります。
当該サーバには、消失したら困るデータは存在していない前提での作業となります。
既に動いている CentOS を置き換えるインストールの場合、ヒアリング事項を弊社で調査して提示することも可能です。
例えば、IBM Bluemix(SoftLayer)のベアメタルサーバの場合、CentOS7をあらかじめインストールした状態で弊社へお引き渡し頂ければ、お客様の手間を省くことができます。

弊社での正式サポートは、お客様が当該サーバ用の Oracle Linux サブスクリプションを契約中か NRI OpenStandia に相談窓口をお持ちで、 代理で問い合わせを行うという前提を取らさせていただくことになります。費用はご相談ください。

サーバの調達・CE作業費用、OS 等のライセンス費用、サブスクリプション費用等はすべて別料金となります。

OS を Oracle Linux (UEK カーネル) に置き換えずに、RHEL・CentOS で構築することも可能ですが、制限事項についてご相談ください。

MySQL や PostgreSQL、Oracle の冗長構成構築サービスも鋭意開発中です。商品開発に関するリクエストがあればお知らせください。 検討させていただきます。

貴社のアプリケーション、サービス等を冗長化する共同開発も承ります。